

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査
報告書

2023年3月

公益社団法人日本看護協会

はじめに

近年、少子化に伴う分娩取扱施設の減少等出産環境の変化に伴い、助産師には、分娩時のケアをはじめ、多様な母子支援や女性の健康支援等、一層の専門性の発揮が求められています。

しかし、出産の減少等により実践能力の向上が図りにくい、地域での活躍体制が十分整っていない等様々な課題があります。

今後、出産や女性の健康支援のさらなる充実に向けて、助産師の専門性発揮に係る現状や課題を把握し、本会の支援内容や政策提言などに役立てることを目的として本調査を実施しました。

会員各位および各方面の方々におかれましては、本報告書を今後の助産師の専門性発揮のあり方について検討する際の基礎資料としてご活用いただくとともに、率直なご意見・ご要望をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

最後に、調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

2023年3月

公益社団法人日本看護協会
会長 福井 トシ子

目次

<調査の概要>	1
<回答者の基本属性>	3
<調査結果のまとめ>	4
I. 助産師の役割発揮からみたタスク・シフト／シェアの課題	4
1. 現在の主な業務	4
2. 産婦人科以外の診療科も含む産科混合病棟の現状	4
3. 産科混合病棟における助産師業務	6
4. 院内助産の推進に向けた課題	9
5. 産科混合病棟における安全な正常分娩の実施に向けた看護管理者の意識	14
6. 助産師の役割発揮に向けた看護管理者の意識	15
II. 助産師に求められている役割発揮の課題	16
1. 地域の出産ニーズや多様な母子支援への関わりの強化に向けた課題	16
2. ウィメンズヘルスへの関わり強化に向けた課題	23
III. 助産師の専門性発揮に資する教育に関する課題	27
1. 助産師に特化した教育・研修の現状	27
2. 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー；CLoCMiP®）の現状	28
3. 助産に関するガイドラインの活用状況	29
IV. 助産師の専門性に見合った処遇	32
1. 助産師の専門性に配慮した手当の現状	32
2. 助産師の労働環境	33
3. 助産師の安心な働き方を支える体制	35
V. 分娩を取り巻く状況と助産師の確保について	38
1. 分娩取扱いの現状	38
2. 助産師採用意向	41
3. 助産師就業継続意向	42
<参考資料>	
I. 単純集計結果	
1. 助産師個人調査	43
2. 病院看護管理者調査	65
3. 分娩取扱診療所調査	85
II. 調査票	
1. 助産師個人調査	95
2. 病院看護管理者調査	111
3. 分娩取扱診療所調査	135

<調査の概要>

1. 調査の目的

近年、少子化に伴う分娩取扱施設の減少等出産環境の変化に伴い、助産師には、多様な母子支援、ウイメンズヘルスへの対応の充実等の役割が求められている。

しかし、現状では、周産期領域以外で働く助産師も一定程度存在し、実践能力の向上が図りにくい、地域での活躍が十分とはいえない等、様々な課題がある。

今後、出産や女性の健康支援のさらなる充実に向けて、助産師の専門性発揮に係る現状や課題を把握し、本会の支援内容や政策提言などに役立てることを目的として実施した。

2. 調査対象

1) 本会助産師会員個人：27,206名

会員名簿より助産師として登録している27,206名(2022年7月26日時点)

2) 分娩取扱診療所：968施設(看護職員代表者宛)

厚生労働省公式webサイトに公表されている「病床機能報告制度」(最新が令和2年度分)の有床診療所リストのうち、分娩取扱件数が1以上である981診療所。2022年度に健康政策部助産師課から冊子送付時等に把握した分娩取扱中止情報等を反映させ最終的に968施設とした。

3) 病院看護管理者：8,165病院

全国のすべての病院(8,165件)の看護管理者

3. 調査方法

1) 本会助産師会員個人・分娩取扱診療所(看護職員代表者宛)

①Web調査

②事前に調査協力依頼(ID・パスワード含む)を送付

③回答者が調査専用サイトにアクセスし、事前に郵送したID・パスワードを入力のうえ回答。〆切前に督促(兼 協力お礼)ハガキを送付する。

2) 病院看護管理者

①本会が毎年実施する「病院看護実態調査」の一環として実施

②Excel調査票の入力・返信による調査とし、事前に調査協力依頼(ID・パスワード含む)を送付のうえ、〆切前に督促(兼 協力お礼)ハガキを送付した。

③回答にあたっては、調査専用サイトより、Excel形式の調査票をダウンロードし、記入後、事前に郵送したID・パスワードを入力のうえ送信(アップロード)し、回答を行う。

4. 調査期間

- 1) 本会助産師会員個人・分娩取扱診療所
2022年9月1日（木）～9月30日（金）
- 2) 病院看護管理者
2022年10月1日（土）～11月10日（木）

5. 回収状況

- 1) 本会助産師会員個人

対象数	27,206
郵便不達	1,346
有効回答数	6,035
有効回収率	23.3%

※回収率の算出にあたっては、郵便不達数を母数(対象数)から差し引いている

※有効回答数には「非同意」を含まない

- 2) 分娩取扱診療所

対象数	968
郵便不達	6
有効回答数	174
有効回収率	18.1%

※回収率の算出にあたっては、郵便不達数を母数(対象数)から差し引いている

※有効回答数には「非同意」を含まない

- 3) 病院看護管理者

対象数	8,165
有効回答数	2,964
有効回収率	36.3%

※参考：「令和2年度医療施設調査」（令和2年10月1日現在）における分娩取扱病院は963

※助産関連の設問対象である病院数は、「分娩取扱施設であるかどうか」に「はい」と回答した病院595病院

※「2022年病院看護・助産実態調査」については、日本看護協会公式webサイトに報告書全文を掲載。
「2022年病院看護・助産実態調査」の一環として実施したため、助産に係る項目の集計結果は本報告書と重複している。

<https://www.nurse.or.jp/home/publication/research/index.html>

<本書内の表記について>

- ・回答率（各回答の百分比）は、小数点第2位を四捨五入した。このため、回答率の合算が100にならない場合がある。
- ・平均値は「無回答・不明」を除いて算出している。
- ・本文、表、統計表等で用いた記号は主に以下の通りである。
 - n：その質問に対する回答者数であり、比率算出の基数である。
 - 統計表中の「-」：計数がない（回答者がいない）ことを示す。
 - 統計表中の「0」「0.0」：計数はあるが、四捨五入により0である場合を示す。

<回答者の基本属性>

1)助産師個人

勤務先または現住の都道府県	47 すべての都道府県に勤務または現住の助産師から回答を得た。「東京都」が最も多く 7.3%、続いて「大阪府」7.0%、「愛知県」5.7%等
看護職としての通算経験年数	平均 18.1 年
助産師として働いた経験年数	平均 14.4 年
助産実践能力習熟段階(クリニカルリーダー；CLoCMiP®)	「レベルⅢ」が最も多く 33.5%、続いて「レベルⅣ」13.4%が多かった
年代	「40代」が最も多く 26.8%、続いて「50代」25.3%が多かった
職位	「スタッフ(相当)」が最も多く 73.8%、続いて「副看護師長・主任(相当)」17.3%が多かった
雇用形態	「正規雇用」は病院勤務者で 9 割、「分娩取扱診療所」で 8 割程度、「助産所」「その他」では 6 割程度
2021 年度の分娩取扱件数(直接介助)	平均 27.1 件

2)分娩取扱診療所

診療所の開設者	「医療法人」が 79.9%
昨年度の診療所の分娩取扱件数	平均 442.1 件
病床数	「15～19 床」が最も多く 55.2%、続いて「10～14 床」33.9%が多かった
看護要員数	看護要員数：平均 21.5 人 産科関連業務を行う助産師数：9.7 人 看護要員数に占める助産師の割合：45.2% ※n=124
産科医師数	平均 3.5 人
アドバンス助産師の認証者数	平均 2.1 人
外来と病棟の助産師配置	「一元管理である」が 81.6%
産科医療補償制度・再発防止報告書の活用	「活用している」が 89.1%

3)助産関連の設問対象病院の概要

分娩取扱い施設かどうか	病院看護・助産実態調査に回答した 2,964 病院のうち、「はい」595 病院(20.1%)、「いいえ」2,228 病院(75.2%)
病床規模	分娩取扱い施設である 595 病院について、 500 床未満 377 病院(63.4%)、500～700 床未満 136 病院(22.9%) 700～900 床未満 41 病院(6.9%)、900 床以上 38 病院(6.4%)
周産期に係る病院機能	総合周産期母子医療センター14.3%、地域周産期母子医療センター33.3%、その他の病院 46.7%
周産期に係る加算の算定状況	ハイリスク妊娠管理加算 79.8%、ハイリスク分娩等管理加算 72.4%、乳腺炎重症化予防ケア・指導料 62.5%、入退院支援加算 62.2%等
NICU における助産師配置	「している」86.7%、「していない」13.3%
2021 年度分娩取扱い件数	平均 443.5 件

＜調査結果のまとめ＞

I. 助産師の役割発揮からみたタスク・シフト／シェアの課題

助産師が混合病棟において、産婦のケアの中断があることが明らかになった。

また、院内助産を実施していると助産師が認識している割合は高くないものの、正常分娩における裁量と判断の実態からみると、実際には院内助産の定義*に沿った助産師主導ケアは提供されていることがわかる。そのため、改めて院内助産の定義や、安全な出産のための助産師による継続ケアの重要性の周知、助産師の役割発揮ができる体制整備が必要である。

*院内助産とは、緊急時の対応が可能な医療機関において、助産師が妊産褥婦とその家族の意向を尊重しながら、妊娠から産褥1か月頃まで、正常・異常の判断を行い、助産ケアを提供する体制をいう。（「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」（日本看護協会））

1. 現在の主な業務

助産師個人調査において、保有している看護の資格のうち、現在どの免許を使用した業務を行っているのかについてみると、「看護師」と回答した人が21.9%を占めた(表1)。

※助産師個人調査結果については、特に注がない限り「離職中」「育児・介護休業取得中」を除く「就業中」の回答者の結果を示している。

表1 現在の主な業務(助産師個人調査)

	件数	割合
保健師	25	0.4%
助産師	4,689	77.7%
看護師	1,320	21.9%
准看護師	1	0.0%
無回答・不明	0	0.0%
計	6,035	100.0%

2. 産婦人科以外の診療科も含む産科混合病棟の現状

病院看護管理者調査で産科混合病棟の現状についてみると、「産科単科病棟」23.7%、「産科と婦人科のみの混合病棟」17.3%、「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」60.5%となった(表2)。

産婦人科以外の診療科も含む産科混合病棟における産科と他科患者の受け持ちについてみると、「同時に受け持つ」が34.7%と最も多くを占める(図1)。同様に、産科区域の特定状況について「している」57.8%、「していない」42.2%(図2)、看取りが「ある」が83.3%となった(図3)。

周産期に係る病院機能別にみて大きな差異はなく、総合周産期母子医療センターでも看取りは81.3%が「ある」としている(表 3)。

※病院看護管理者調査・産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の状況に関する設問について、複数の病棟がある場合には、最も産科の入院者数の多い病棟について回答している

表 2 産科関連病棟の状況(複数回答)(病院看護管理者調査)

	件数	割合
産科単科病棟	141	23.7%
産科と婦人科のみの混合病棟	103	17.3%
産婦人科以外の診療科も含む混合病棟	360	60.5%
無回答・不明	2	0.3%
計	595	100.0%

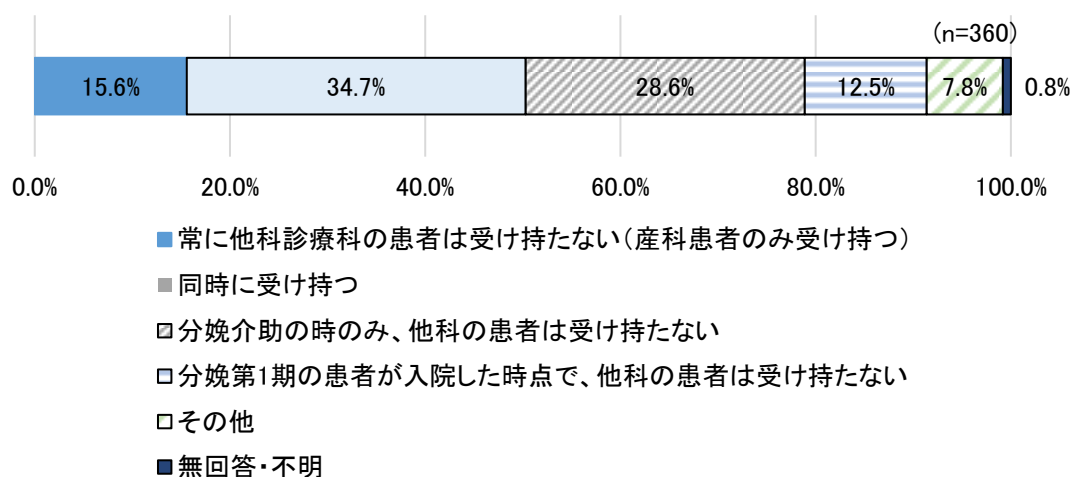


図 1 産科と他科患者の受け持ち

(「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合)(病院看護管理者調査)

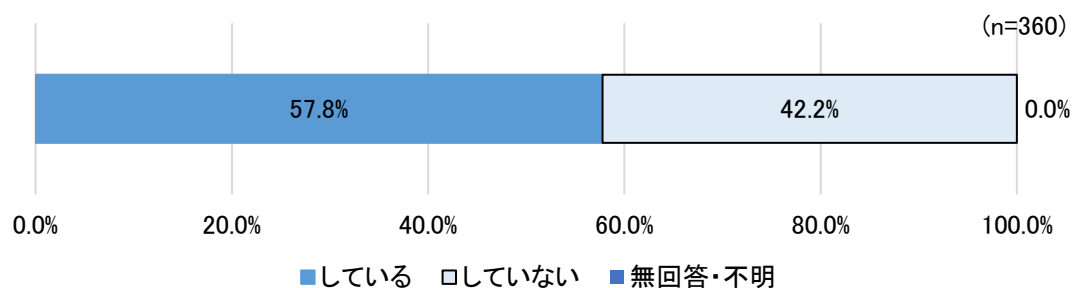


図 2 産科区域特定の有無

(「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合)(病院看護管理者調査)

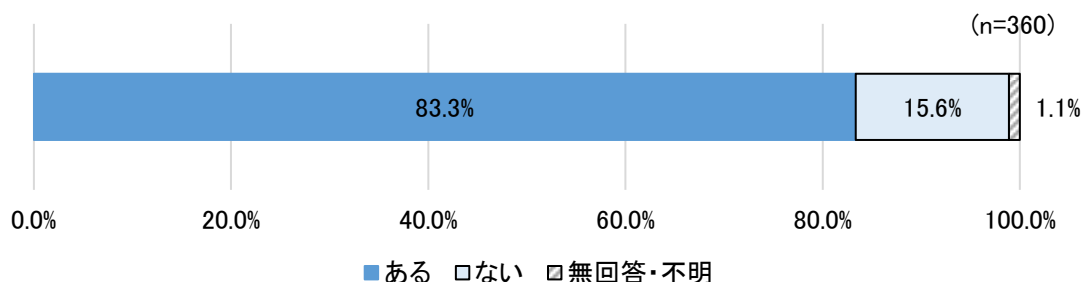


図 3 病棟での看取りの実施 (「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合)

表 3 病棟での看取りの実施

(「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合) (周産期に係る病院機能別)

	ある	ない	無回答・不明	計
総合周産期母子医療センター	13 (81.3)	3 (18.8)	-	16 (100.0)
地域周産期母子医療センター	96 (82.8)	20 (17.2)	-	116 (100.0)
その他の病院	175 (83.3)	32 (15.2)	3 (1.4)	210 (100.0)
無回答・不明	16 (88.9)	1 (5.6)	1 (5.6)	18 (100.0)
計	300 (83.3)	56 (15.6)	4 (1.1)	360 (100.0)

3. 産科混合病棟における助産師業務

助産師個人調査で、産婦人科以外の診療科も含む産科混合病棟に勤務する助産師に、正常分娩のケア中、産科以外の患者のケア(ナースコール、看取り等)に対応するために産婦のケアを中断(その場を離れる等)したことがあるかどうかを尋ねたところ、「いつもある」との回答が、分娩第1期で61.3%を占めた(図4)。

「産婦人科診療ガイドライン—産科編2020」(公益社団法人日本産科婦人科学会 公益社団法人日本産婦人科医会)において、連続モニタリング(p.223 6.1)や5分間隔での胎児心拍数確認(p.224 8.2)が推奨されている分娩第2期でも、中断が「いつもある」が16.2%みられる(図4)。

周産期に係る病院機能別にみると、常時観察が必要なハイリスク産婦が多い総合周産期母子医療センターでも、分娩第2期の中断が「いつもある」が16.3%みられる(表4)。

1 勤務帯別の助産師配置人数別に中断の有無をみると(分娩第2期、深夜帯)、「常に1人いる」「助産師が病棟に不在の場合がある」で、中断が「いつもある」「時々ある」が1割程度みられ、分娩第2期に病棟に助産師が不在になる場合もあることがわかる(表5)。

産科区域特定有無別の中断の有無(分娩第2期)をみると、区域特定を「していない」場合に「いつもある」が17.6%、「時々ある」が19.9%みられ、区域特定をしていない場合の方が中断がやや多い(表6)。

産婦人科以外の診療科も含む混合病棟に勤務する助産師の割合が、平成24年調査と比較すると10ポイント以上増加している(表7)。

※平成24年度「助産師の出向システムと助産実習の受け入れ可能性等に関する調査」「助産出向システムと助産師就業継続意思に関する調査」報告書(日本看護協会)

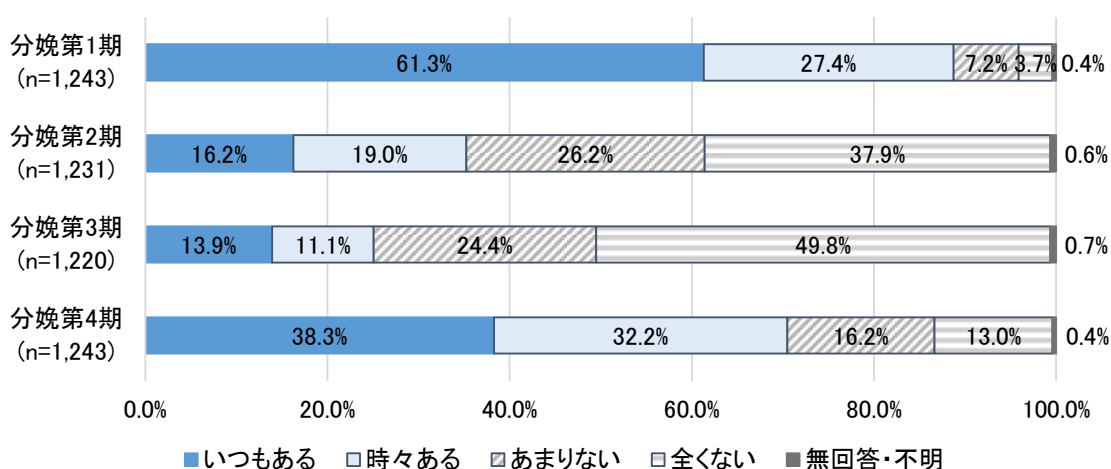


図4 正常分娩での産婦のケア中断の有無 (「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合) (昨年度、正常分娩に「携わった」と回答した場合)

表4 正常分娩での産婦のケア中断の有無 (「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合) (昨年度、正常分娩に「携わった」と回答した場合) (分娩第2期) (周産期に係る病院機能別)

	いつもある	時々ある	あまりない	全くない	無回答・不明	計
総合周産期母子医療センター	14 (16.3)	22 (25.6)	14 (16.3)	36 (41.9)	- (-)	86 (100.0)
地域周産期母子医療センター	98 (18.7)	98 (18.7)	136 (26.0)	184 (35.2)	7 (1.3)	523 (100.0)
総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センター以外の病院	85 (14.0)	113 (18.6)	165 (27.2)	242 (39.9)	1 (0.2)	606 (100.0)
無回答・不明	3 (18.8)	1 (6.3)	7 (43.8)	5 (31.3)	- (-)	16 (100.0)
計	200 (16.2)	234 (19.0)	322 (26.2)	467 (37.9)	8 (0.6)	1,231 (100.0)

表 5 正常分娩での産婦のケア中断の有無（「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合）（昨年度、正常分娩に「携わった」と回答した場合）（分娩第2期、深夜帯）（1勤務帯の助産師配置人数別）

	いつもあ る	時々ある	あまりな い	全くない	無回答・ 不明	計
常に2人以上配置	88 (15.3)	136 (23.7)	145 (25.2)	201 (35.0)	5 (0.9)	575 (100.0)
常に1人いる	102 (17.6)	90 (15.5)	161 (27.7)	225 (38.7)	3 (0.5)	581 (100.0)
助産師が病棟に不在 の場合がある(オンコ ール体制含む)	10 (13.5)	8 (10.8)	15 (20.3)	41 (55.4)	0 (0.0)	74 (100.0)
無回答・不明	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
計	200 (16.2)	234 (19.0)	322 (26.2)	467 (37.9)	8 (0.6)	1,231 (100.0)

表 6 正常分娩での産婦のケア中断の有無（「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合）（昨年度、正常分娩に「携わった」と回答した場合）（分娩第2期）（産科区域特定有無別）

	いつもあ る	時々ある	あまりな い	全くない	無回答・ 不明	計
している	75 (14.3)	95 (18.1)	141 (26.9)	210 (40.1)	3 (0.6)	524 (100.0)
していない	123 (17.6)	139 (19.9)	178 (25.5)	254 (36.4)	4 (0.6)	698 (100.0)
無回答・不明	2 (22.2)	0 (0.0)	3 (33.3)	3 (33.3)	1 (11.1)	9 (100.0)
計	200 (16.2)	234 (19.0)	322 (26.2)	467 (37.9)	8 (0.6)	1,231 (100.0)

表 7 助産師が勤務する産科関連病棟（「病院（産科関連病棟）」勤務者）

	今回調査		(参考)平成24年調査	
	件数	割合	件数	割合
産科単科病棟	778	29.5%	1,863	34.5%
産科と婦人科のみの混合病棟	437	16.6%	1,117	20.7%
産婦人科以外の診療科も含む混合病棟	1,423	53.9%	2,347	43.4%
無回答・不明	-	-	76	1.4%
計	2,638	100.0%	5,403	100.0%

4. 院内助産の推進に向けた課題

1) 院内助産の実施状況

助産師個人調査では、昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)に院内助産に「携わったことはない」と回答した助産師が87.8%を占める(図5)。

病院看護管理者調査では、院内助産の実施状況について、「患者に明示した上で実施している」が14.1%にとどまる(図6)。

※ここで言う患者とは妊産婦を指す

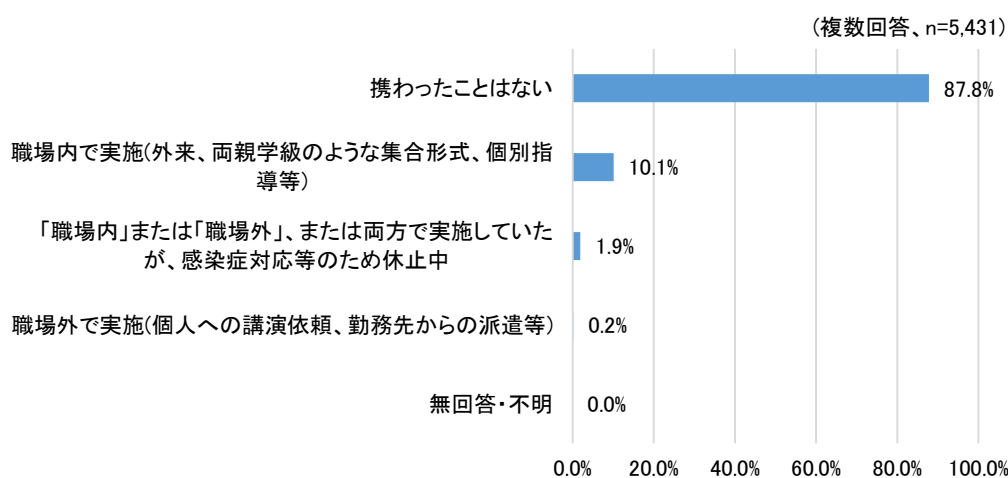


図5 院内助産の実施状況(助産所勤務者を除く)(助産師個人調査)(複数回答)

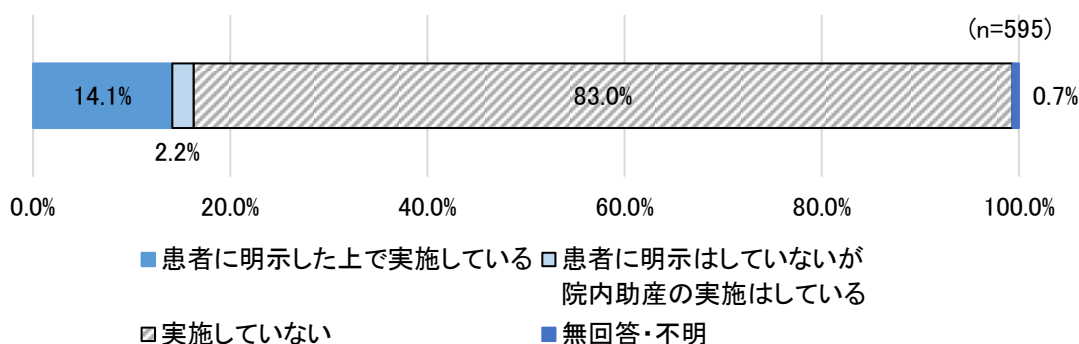


図6 院内助産の実施状況(病院看護管理者調査)

2) 正常分娩に関する助産診断の対応者

助産師個人調査結果で正常分娩に関する助産診断の対応者をみると、分娩第4期「②産道裂傷の評価」のみ「産科医」が対応する割合が90.1%を占める他は、全ての項目で「助産師」が対応するという回答が8割～9割を占めた(表8)。

また、同様に助産師個人調査で正常分娩に関する助産診断における助産師の裁量と判断の現状をみると、分娩第1期から第4期までの全17項目のうち、16項目で、「正常経過のため、助産師の裁量と判断で実施」「正常経過であっても、あらかじめ連絡相談内容やタイミングを医師と相談の上で、助産師の裁量と判断で実施」があわせて8割以上を占める(表9)。これらのことから、正常分娩にあたって助産師主導ケアは提供されているといえる。

表8 正常分娩に関する助産診断の対応者（複数回答）

（「分娩取扱診療所（産科関連病棟）」、「病院（産科関連病棟）」、「病院(MFICU)」と回答した場合）

		産科医		助産師		無回答・不明		計
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	
分娩 第1期	①産婦の全身状態の評価	1,491	43.0%	3,321	95.7%	68	2.0%	3,469
	②分娩開始の診断	612	17.6%	3,378	97.4%	70	2.0%	3,469
	③破水の診断	1,587	45.7%	3,137	90.4%	74	2.1%	3,469
	④分娩経過の診断	1,436	41.4%	3,362	96.9%	70	2.0%	3,469
	⑤胎児の健康状態の診断	1,839	53.0%	3,271	94.3%	69	2.0%	3,469
	⑥内診・内診所見の判断	1,704	49.1%	3,363	96.9%	69	2.0%	3,469
	⑦CTG モニターの装着・評価	1,550	44.7%	3,374	97.3%	64	1.8%	3,469
分娩 第2期	①産婦の全身状態の評価	1,624	46.8%	3,346	96.5%	68	2.0%	3,469
	②分娩経過の診断	1,688	48.7%	3,344	96.4%	72	2.1%	3,469
	③胎児の健康状態の診断	1,922	55.4%	3,294	95.0%	71	2.0%	3,469
	④分娩介助	775	22.3%	3,386	97.6%	71	2.0%	3,469
分娩 第3期	①産婦の全身状態の評価	1,694	48.8%	3,304	95.2%	72	2.1%	3,469
	②胎盤娩出	1,209	34.9%	3,032	87.4%	71	2.0%	3,469
	③新生児の全身状態の評価	1,320	38.1%	3,317	95.6%	70	2.0%	3,469
分娩 第4期	①産婦の全身状態の評価	1,407	40.6%	3,341	96.3%	70	2.0%	3,469
	②産道裂傷の評価	3,126	90.1%	1,141	32.9%	85	2.5%	3,469
	③新生児の全身状態の評価	1,207	34.8%	3,309	95.4%	69	2.0%	3,469

表 9 正常分娩に関する助産診断における助産師の裁量と判断（複数回答）（「分娩取扱診療所（産科関連病棟）」、「病院（産科関連病棟）」、「病院(MFICU)」と回答した場合）

	正常経過のため、助産師の裁量と判断で実施	正常結果であっても、あらかじめ連絡相談内容やタイミングを医師と相談の上で、助産師の裁量と判断で実施	決まっていない	無回答・不明	計
分娩第1期 産婦の全身状態の評価	1,708 (49.2)	1,546 (44.6)	142 (4.1)	73 (2.1)	3,469 (100.0)
分娩第1期 分娩開始の診断	2,414 (69.6)	892 (25.7)	95 (2.7)	68 (2.0)	3,469 (100.0)
分娩第1期 破水の診断	1,697 (48.9)	1,551 (44.7)	145 (4.2)	76 (2.2)	3,469 (100.0)
分娩第1期 分娩経過の診断	1,639 (47.2)	1,631 (47.0)	125 (3.6)	74 (2.1)	3,469 (100.0)
分娩第1期 胎児の健康状態の診断	1,435 (41.4)	1,840 (53.0)	125 (3.6)	69 (2.0)	3,469 (100.0)
分娩第1期 内診・内診所見の判断	1,877 (54.1)	1,410 (40.6)	110 (3.2)	72 (2.1)	3,469 (100.0)
分娩第1期 CTG モニターの装着・評価	1,614 (46.5)	1,688 (48.7)	99 (2.9)	68 (2.0)	3,469 (100.0)
分娩第2期 産婦の全身状態の評価	1,616 (46.6)	1,644 (47.4)	130 (3.7)	79 (2.3)	3,469 (100.0)
分娩第2期 分娩経過の診断	1,522 (43.9)	1,752 (50.5)	119 (3.4)	76 (2.2)	3,469 (100.0)
分娩第2期 胎児の健康状態の診断	1,365 (39.3)	1,904 (54.9)	124 (3.6)	76 (2.2)	3,469 (100.0)
分娩第2期 分娩介助	1,779 (51.3)	1,525 (44.0)	88 (2.5)	77 (2.2)	3,469 (100.0)
分娩第3期 産婦の全身状態の評価	1,511 (43.6)	1,738 (50.1)	136 (3.9)	84 (2.4)	3,469 (100.0)
分娩第3期 胎盤娩出	1,727 (49.8)	1,445 (41.7)	209 (6.0)	88 (2.5)	3,469 (100.0)
分娩第3期 新生児の全身状態の評価	1,667 (48.1)	1,594 (45.9)	127 (3.7)	81 (2.3)	3,469 (100.0)
分娩第4期 産婦の全身状態の評価	1,605 (46.3)	1,663 (47.9)	119 (3.4)	82 (2.4)	3,469 (100.0)
分娩第4期 産道裂傷の評価	313 (9.0)	2,384 (68.7)	658 (19.0)	114 (3.3)	3,469 (100.0)
分娩第4期 新生児の全身状態の評価	1,724 (49.7)	1,526 (44.0)	138 (4.0)	81 (2.3)	3,469 (100.0)

3) 院内助産の実施意向

助産師個人調査で、院内助産に「携わったことはない」と回答した場合の今後の希望を尋ねたところ、「希望がある」が40.6%を占めた(図7)。希望しない理由については「業務上の余裕がない」が44.4%と最も多くを占める(図8)。

病院看護管理者調査で、院内助産を実施していない場合の今後の実施予定を尋ねたところ、「実施の予定はない」が77.3%を占め(図9)、その理由としては「助産師数が不足しているため」が47.1%と最も多い(図10)。

令和2年度厚生労働省 看護職員確保対策特別事業「母子のための地域包括ケアシステム推進に向けた院内助産・助産師外来の促進に関する調査事業」(日本看護協会)で得られた結果と同様に、今回の調査でも院内助産の定義の周知の必要性が明らかになった。

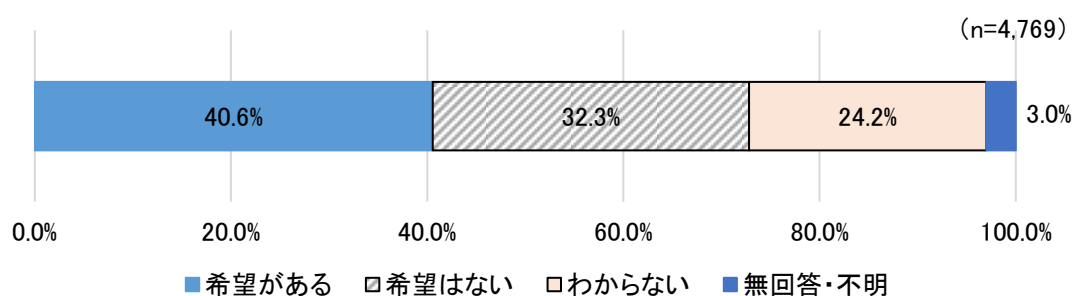


図7 院内助産の今後の希望（「携わったことはない」と回答した場合）
(助産所勤務者除く)(助産師個人調査)

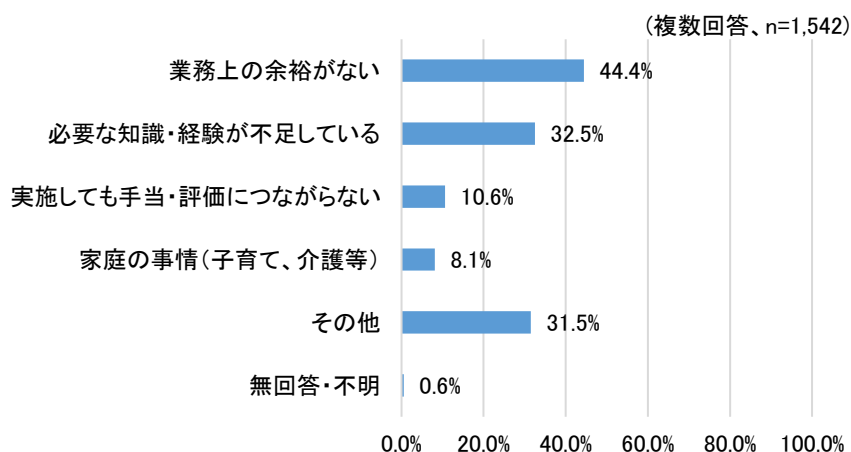


図8 院内助産への関わりを希望しない理由（「希望はない」と回答した場合）(複数回答)
(助産所勤務者除く)(助産師個人調査)

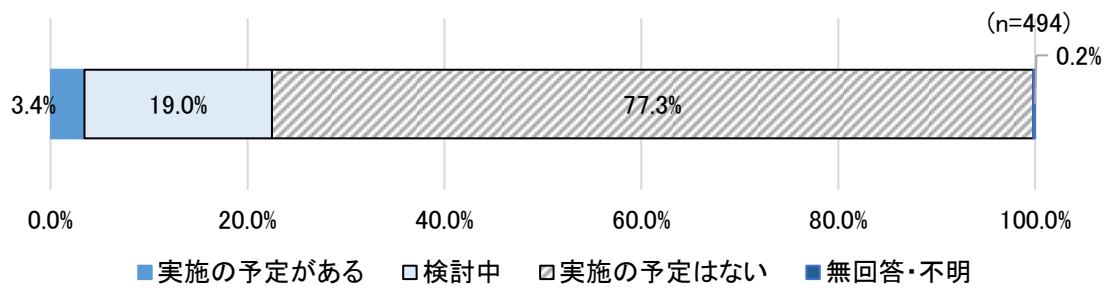


図 9 院内助産の今後の実施予定（「実施していない」と回答した場合）
（病院看護管理者調査）

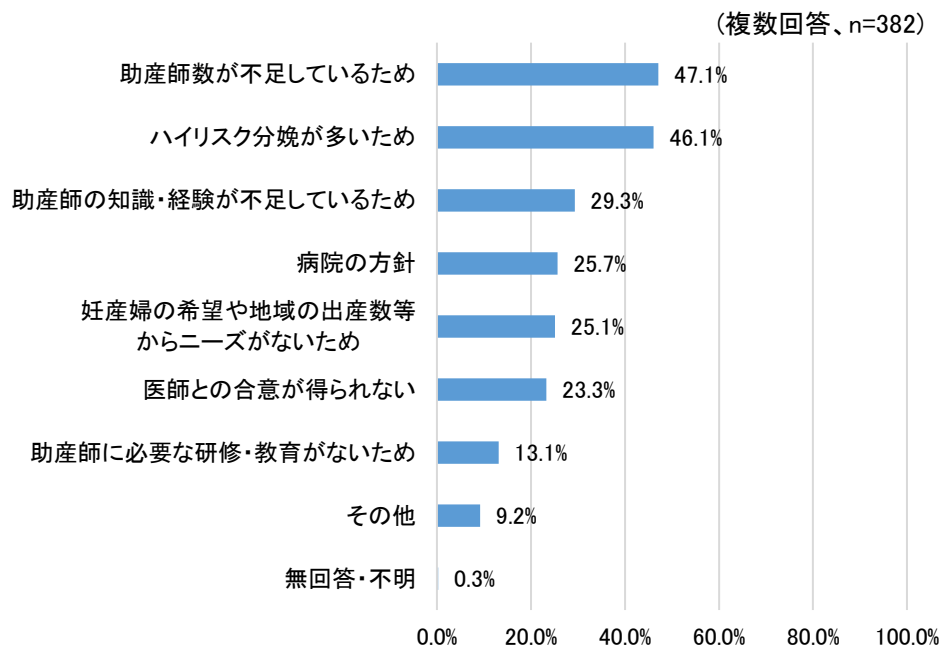


図 10 院内助産を実施する予定がない理由（「実施の予定はない」と回答した場合）（病院看護管理者調査）

5. 産科混合病棟における安全な正常分娩の実施に向けた看護管理者の意識

病院看護管理者調査で産科混合病棟における正常分娩の安全な実施に向け工夫していることをみると、「分娩対応時の助産師と看護師の役割分担をあらかじめ定めている」83.6%、「助産師が分娩対応に入る際の分娩室と病棟の連絡方法や内容を定めている」78.6%となった（図 11）。

産科ユニット管理者の職種別に大きな差異はないが、「病棟師長や主任、夜勤のリーダーに混合病棟におけるケアの注意点や助産師の役割について教育している」については、管理者が「看護師」である場合に比較して「助産師」である場合の方が10ポイント以上高い（表 10）。

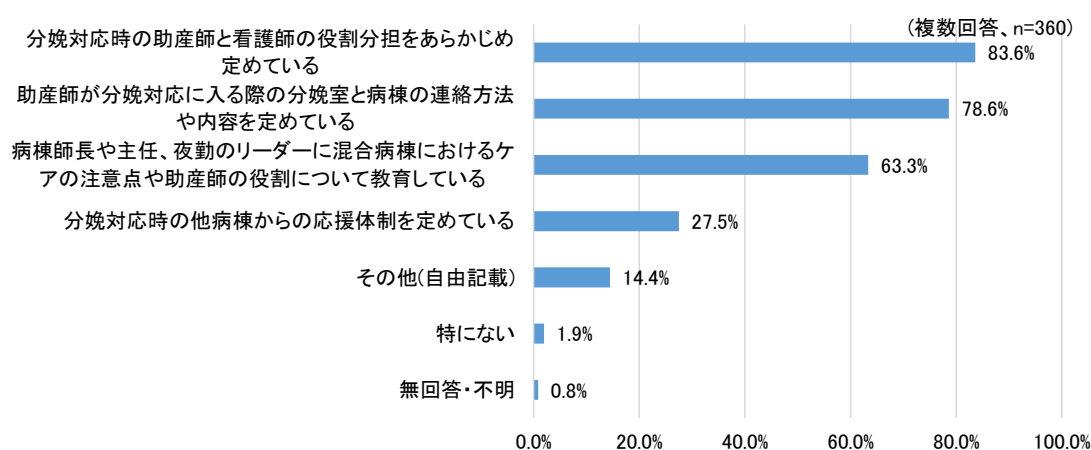


図 11 正常分娩の安全な実施に向けた工夫 (複数回答) (「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合) (病院看護管理者調査)

表 10 正常分娩の安全な実施に向けた工夫 (複数回答) (「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合) (産科ユニット管理者の職種別) (病院看護管理者調査)

	分娩対応時の助産師と看護師の役割分担をあらかじめ定めている	助産師が分娩対応に入る際の分娩室と病棟の連絡方法や内容を定めている	病棟師長や主任、夜勤のリーダーに混合病棟におけるケアの注意点や助産師の役割について教育している	分娩対応時の他病棟からの応援体制を定めている	その他	特にない	無回答・不明	計
看護師	130 (84.4)	122 (79.2)	90 (58.4)	44 (28.6)	22 (14.3)	3 (1.9)	3 (1.9)	154 (100.0)
助産師	166 (82.6)	156 (77.6)	136 (67.7)	54 (26.9)	30 (14.9)	4 (2.0)	-	201 (100.0)
無回答・不明	5 (100.0)	5 (100.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	-	-	-	5 (100.0)
計	301 (83.6)	283 (78.6)	228 (63.3)	99 (27.5)	52 (14.4)	7 (1.9)	3 (0.8)	360 (100.0)

6. 助産師の役割発揮に向けた看護管理者の意識

病院看護管理者調査で助産師の役割発揮に向けた看護管理者の意識をみると、「保健師助産師看護師法における看護師と助産師の資格や業の違いを踏まえ、助産師の業務を看護師と区分・役割分担している」は「実施している」が84.2%、「助産師と看護師の役割と責任を明文化している」は「実施している」が58.0%と、助産師の専門性への配慮の工夫は多くの看護管理者が実施している(図 12)。

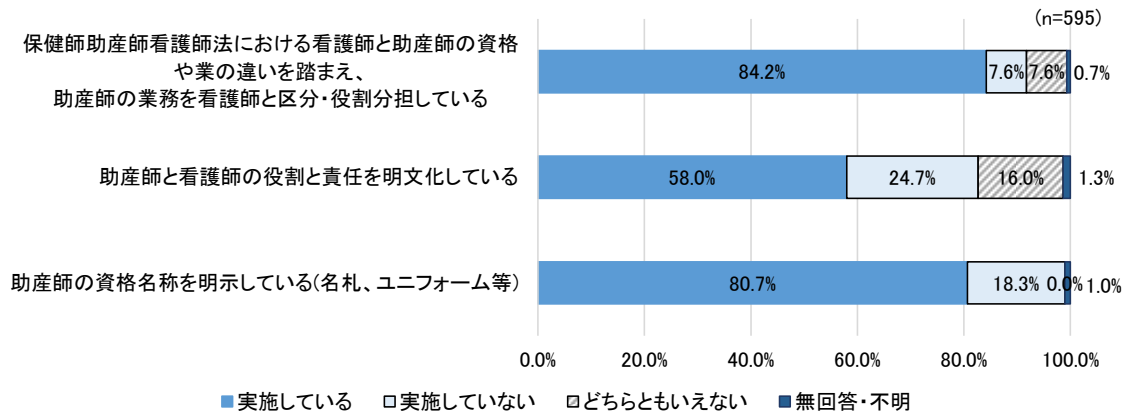


図 12 助産師の業務分担の明確化等に関する看護管理者の意識(病院看護管理者調査)

II. 助産師に求められている役割発揮の課題

多様な母子支援として助産師の役割発揮が求められている業務のうち、半数以上の助産師が実施していると回答したのは、「その他」を除く 11 項目中 4 項目にとどまる。また、日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMiP®)」に掲げるウィメンズヘルス関連業務(女性の健康支援等)では、「その他」を除く 11 項目のうち 3 項目にとどまった。

助産師としては、多様な母子支援やウィメンズヘルス業務に携わりたいという希望はあるが、医療機関側の今後の実施意向は高いとはいえ、助産師の関わり強化の方策を検討する必要がある。

1. 地域の出産ニーズや多様な母子支援への関わりの強化に向けた課題

1) 地域の出産ニーズや多様な母子支援への関わりの現状(助産師個人調査)

助産師個人調査では、地域の出産ニーズや多様な母子支援への関わりについて「母乳・育児に関する電話相談」の実施割合が最も多く、「母乳外来」「2 週間健診(母児含む)」「産婦健診」が続く。それ以外では「その他」を除く 11 項目中、8 項目で「携わったことはない」が最も多くを占める(表 11)。

実施している場合でも、「職場内で実施(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)」が多くを占め、職場外での実施は少ない。

一方で、「携わったことはない」場合でも、今後の実施の希望は 4 割以上みられる(表 12)。

表 11 昨年度（2021年4月1日～2022年3月31日）に携わったことのある業務
（複数回答）（助産師個人調査）

	職場内で実施 （外来、 両親学級 のような 集合形 式、個別 指導等）	職場外で 実施 （個人へ の講演依 頼、勤務 先からの 派遣等）	「職場内」 または「職 場外」、ま たは両方 で実施して いたが、感 染症対応等 のため休止中	携わっ たこと はない	無回答 ・不明	計
助産師外来 ※勤務先が「助産所」 の人は除く	2,127 (39.2)	31 (0.6)	159 (2.9)	3,130 (57.6)	1 (0.0)	5,431 (100.0)
院内助産 ※勤務先が「助産所」 の人は除く	550 (10.1)	13 (0.2)	101 (1.9)	4,769 (87.8)	1 (0.0)	5,431 (100.0)
疾病がある等療養支援 が必要な母児に対す る、助産師が参加した 退院支援	2,105 (38.3)	44 (0.8)	46 (0.8)	3,311 (60.3)	1 (0.0)	5,490 (100.0)
母乳外来	2,906 (52.9)	63 (1.1)	110 (2.0)	2,450 (44.6)	1 (0.0)	5,490 (100.0)
2週間健診(母児含む)	2,779 (50.6)	33 (0.6)	72 (1.3)	2,615 (47.6)	1 (0.0)	5,490 (100.0)
新生児健診	1,859 (33.9)	48 (0.9)	28 (0.5)	3,568 (65.0)	1 0.0	5,490 (100.0)
産婦健診	2,730 (49.7)	41 (0.7)	35 (0.6)	2,694 (49.1)	1 0.0	5,490 (100.0)
新生児訪問	239 (4.4)	139 (2.5)	72 (1.3)	5,049 (92.0)	1 0.0	5,490 (100.0)
産後ケア事業	1,391 (25.3)	136 (2.5)	108 (2.0)	3,884 (70.7)	1 0.0	5,490 (100.0)
母乳、育児に関する電 話相談	3,252 (59.2)	109 (2.0)	32 (0.6)	2,130 (38.8)	1 0.0	5,490 (100.0)
青少年を対象とした出 前授業	282 (5.1)	458 (8.3)	140 (2.6)	4,640 (84.5)	1 0.0	5,490 (100.0)
その他	370 (6.7)	218 (4.0)	47 (0.9)	4,886 (89.0)	1 0.0	5,490 (100.0)

表 12 今後の実施の希望（「携わったことはない」と回答した場合）（助産師個人調査）

	希望がある	希望はない	わからない	無回答・不明	計
助産師外来 ※勤務先が「助産所」の人は除く	1,611 (51.5)	794 (25.4)	624 (19.9)	101 (3.2)	3,130 (100.0)
院内助産 ※勤務先が「助産所」の人は除く	1,934 (40.6)	1,542 (32.3)	1,152 (24.2)	141 (3.0)	4,769 (100.0)
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	1,373 (41.5)	891 (26.9)	955 (28.8)	92 (2.8)	3,311 (100.0)
母乳外来	1,380 (56.3)	575 (23.5)	414 (16.9)	81 (3.3)	2,450 (100.0)
2週間健診(母児含む)	1,453 (55.6)	594 (22.7)	483 (18.5)	85 (3.3)	2,615 (100.0)
新生児健診	1,648 (46.2)	1,008 (28.3)	799 (22.4)	113 (3.2)	3,568 (100.0)
産婦健診	1,276 (47.4)	727 (27.0)	585 (21.7)	106 (3.9)	2,694 (100.0)
新生児訪問	2,691 (53.3)	1,213 (24.0)	1,025 (20.3)	120 (2.4)	5,049 (100.0)
産後ケア事業	2,673 (68.8)	560 (14.4)	599 (15.4)	52 (1.3)	3,884 (100.0)
母乳、育児に関する電話相談	1,136 (53.3)	484 (22.7)	450 (21.1)	60 (2.8)	2,130 (100.0)
青少年を対象とした出前授業	1,971 (42.5)	1,313 (28.3)	1,245 (26.8)	111 (2.4)	4,640 (100.0)

2) 地域の出産ニーズや多様な母子支援への関わりの現状(病院看護管理者調査、分娩取扱診療所調査)

<病院看護管理者調査>

「母乳・育児に関する電話相談」の実施割合が最も高く、「母乳外来」「2週間健診(母児含む)」「産婦健診」が続く(表 13)。

ほとんどの項目が「院内で実施」が多いが、「青少年等を対象とした出前授業」は35.1%が「院外で実施(個人への講演依頼、勤務先からの派遣等)」で実施と回答があった。「新生児訪問」の実施割合は1割程度と最も低い(表 13)。

助産師個人で、携わってなくても今後の希望が4割以上を占めるのに対し、病院の今後の予定としては「実施の予定はない」が多くを占める(図 13)。

<分娩取扱診療所対象調査>

「母乳・育児に関する電話相談」の実施割合が最も多く、「母乳外来」「2週間健診(母児含む)」「産婦健診」が続く。「新生児訪問」の実施割合は1割程度と最も低い(表 14)。

表 13 (2021年4月1日～2022年3月31日)の助産師の地域における活用の状況
(複数回答) (病院看護管理者調査)

	院内で実施 (外来、 両親学級 のような 集合形 式、個別 指導等)	院外で実 施 (個人へ の講演依 頼、勤務 先からの 派遣等)	実施して いたが、 感染症対 応等のた め休止中	実施し たこと はない	無回答 ・不明	計
助産師外来	419 (70.4)	7 (1.2)	30 (5.0)	143 (24.0)	4 (0.7)	595 (100.0)
疾病がある等療養支援が 必要な母児に対する、助 産師が参加した退院支援	468 (78.7)	8 (1.3)	3 (0.5)	113 (19.0)	11 (1.8)	595 (100.0)
母乳外来	528 (88.7)	6 (1.0)	10 (1.7)	46 (7.7)	9 (1.5)	595 (100.0)
2週間健診(母児含む)	497 (83.5)	1 (0.2)	12 (2.0)	75 (12.6)	11 (1.8)	595 (100.0)
新生児健診	432 (72.6)	2 (0.3)	2 (0.3)	151 (25.4)	9 (1.5)	595 (100.0)
産婦健診	494 (83.0)	2 (0.3)	6 (1.0)	90 (15.1)	5 (0.8)	595 (100.0)
新生児訪問	26 (4.4)	19 (3.2)	20 (3.4)	500 (84.0)	32 (5.4)	595 (100.0)
産後ケア事業	274 (46.1)	16 (2.7)	17 (2.9)	282 (47.4)	12 (2.0)	595 (100.0)
母乳、育児に関する電話 相談	545 (91.6)	6 (1.0)	4 (0.7)	38 (6.4)	8 (1.3)	595 (100.0)
青少年等を対象とした出 前授業	55 (9.2)	209 (35.1)	53 (8.9)	262 (44.0)	22 (3.7)	595 (100.0)

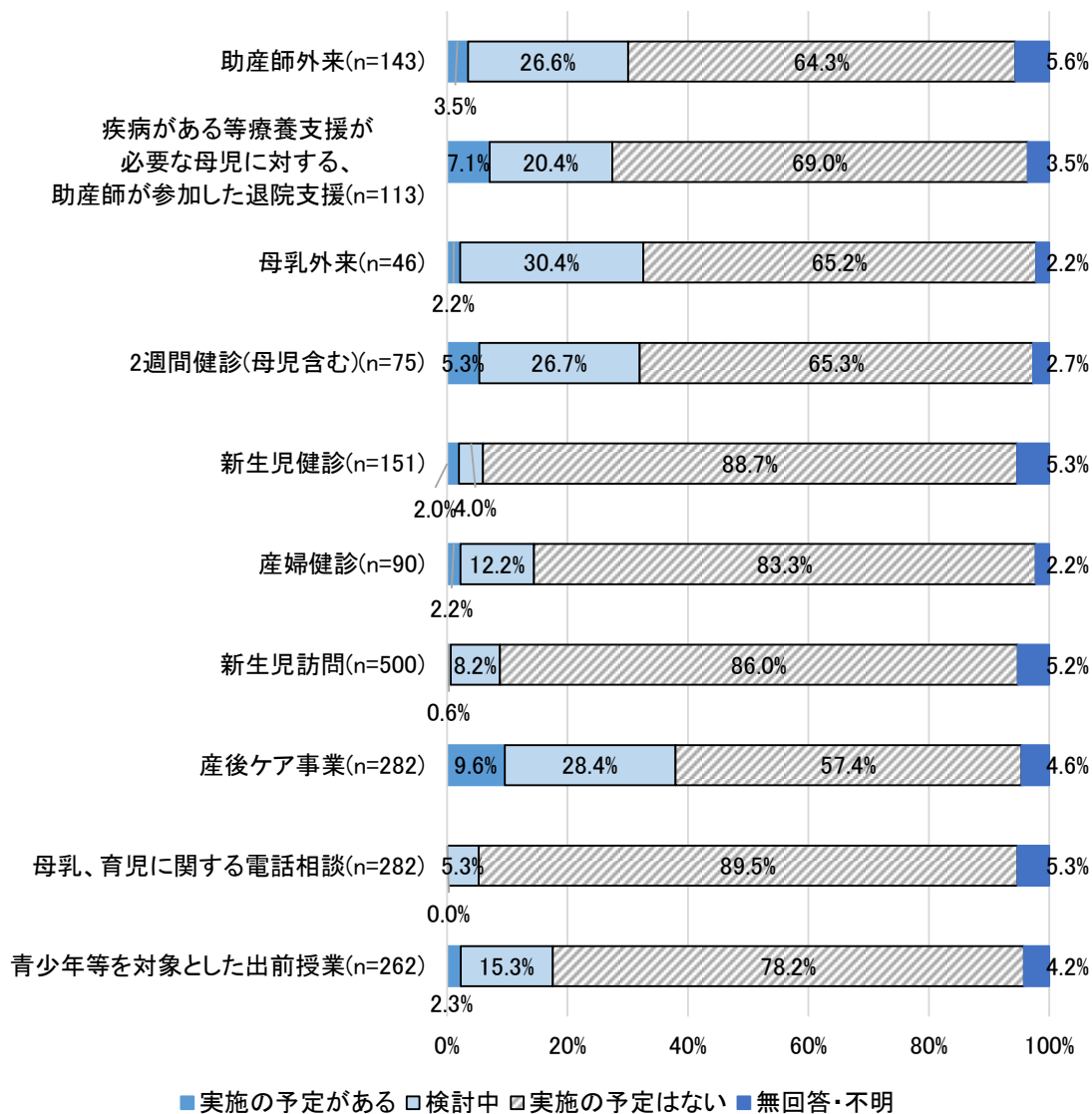


図 13 助産師の地域における活用の今後の実施意向(「実施したことはない」と回答した場合)(病院看護管理者調査)

表 14 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の助産師の地域における活用の状況
(複数回答)(分娩取扱診療所調査)

	院内で実施 (外来、 両親学級 のような 集合形 式、個別 指導等)	院外で実 施 (個人へ の講演依 頼、勤務 先からの 派遣等)	実施して いたが、 感染症対 応等のた め休止中	実施し たこと はない	無回答 ・不明	計
助産師外来	86 (49.4)	0 (0.0)	2 (1.1)	86 (49.4)	1 (0.6)	174 (100.0)
疾病がある等療養支援が 必要な母児に対する、助 産師が参加した退院支援	90 (51.7)	2 (1.1)	0 (0.0)	81 (46.6)	2 (1.1)	174 (100.0)
母乳外来	154 (88.5)	3 (1.7)	2 (1.1)	16 (9.2)	1 (0.6)	174 (100.0)
2週間健診(母児含む)	151 (86.8)	0 (0.0)	1 (0.6)	18 (10.3)	4 (2.3)	174 (100.0)
新生児健診	139 (79.9)	4 (2.3)	1 (0.6)	25 (14.4)	6 (3.4)	174 (100.0)
産婦健診	147 (84.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (14.4)	2 (1.1)	174 (100.0)
新生児訪問	6 (3.4)	8 (4.6)	3 (1.7)	151 (86.8)	6 (3.4)	174 (100.0)
産後ケア事業	117 (67.2)	7 (4.0)	6 (3.4)	42 (24.1)	2 (1.1)	174 (100.0)
母乳、育児に関する電話 相談	162 (93.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (5.7)	2 (1.1)	174 (100.0)
青少年等を対象とした出 前授業	6 (3.4)	20 (11.5)	2 (1.1)	141 (81.0)	5 (2.9)	174 (100.0)

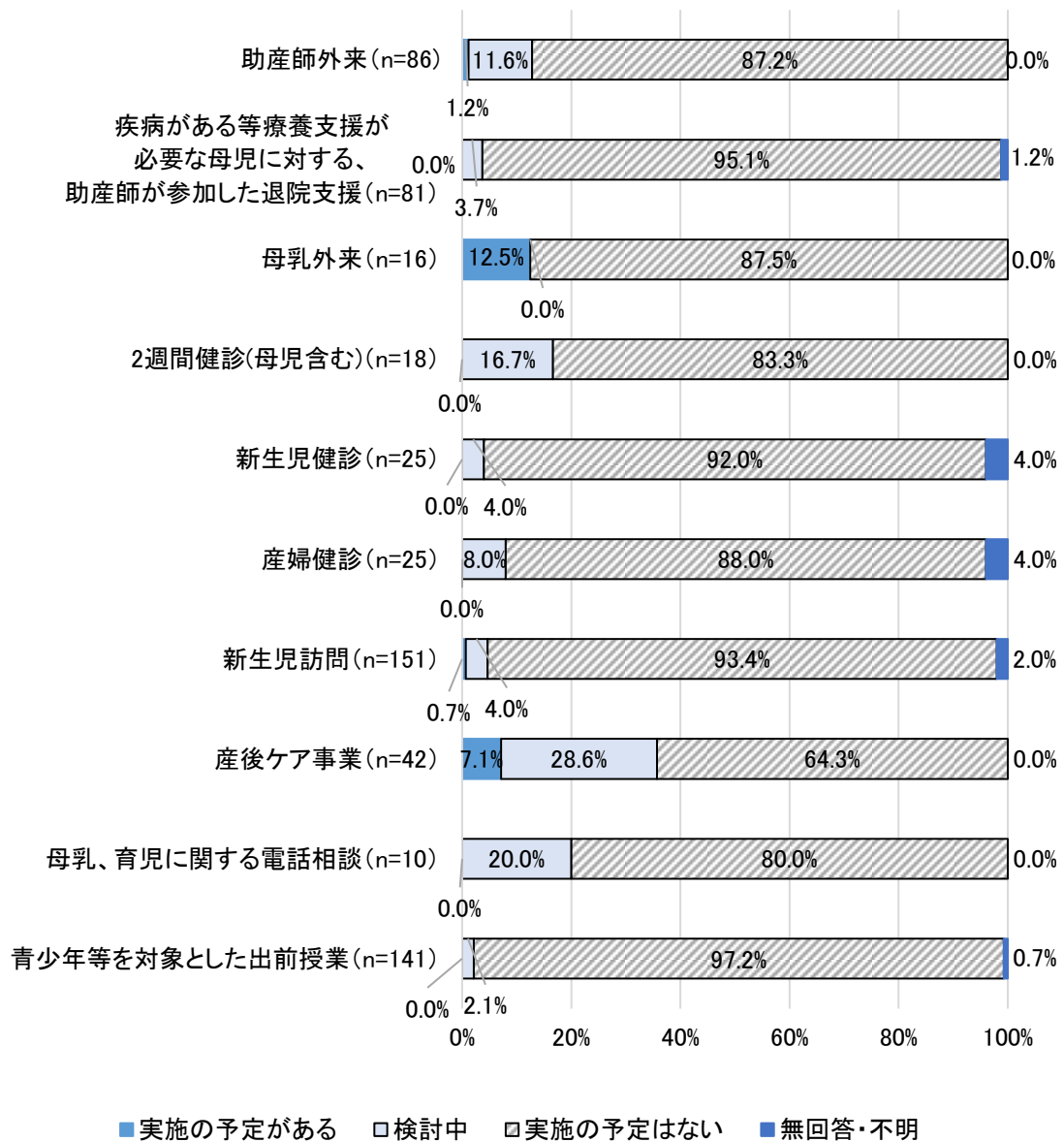


図 14 助産師の地域における活用の今後の実施意向(「実施したことはない」と回答した場合)(分娩取扱診療所調査)

2. ウィメンズヘルスへの関わり強化に向けた課題

助産師個人調査で日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー; CLoCMiP®)に掲げるウィメンズヘルス関連業務の実施状況をみると、「家族計画の支援」「産前・産後のメンタルヘルスケア」「妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援」が5～6割を占めるが、これら以外の項目では「携わったことはない」が多い。また、職場外での実施は少ない(表 15)。

全ての項目で「携わったことはない」と回答した人の今後の希望について、「希望がある」が45.9%を占めた(図 15)。

病院看護管理者調査、分娩取扱診療所調査では、「産前・産後のメンタルヘルスケア」「妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援」「家族計画の支援」「予期せぬ妊娠をした女性の支援」「妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援」が上位5位を占める。それ以外の実施割合は3割に満たない(図 16、図 17)。

表 15 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMiP®)に掲げるウイメンズヘルス関連業務の実施(複数回答)(助産師個人調査)

	職場内で実施 (外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)	職場外で実施 (個人への講演依頼、勤務先からの派遣等)	「職場内」または「職場外」、または両方で実施していたが、感染症対応等のため休止中	携わったことはない	計
家族計画の支援	3,400 (61.9)	133 (2.4)	40 (0.7)	1,973 (35.9)	5,490 (100.0)
不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	858 (15.6)	126 (2.3)	32 (0.6)	4,498 (81.9)	5,490 (100.0)
性感染症の支援	989 (18.0)	271 (4.9)	47 (0.9)	4,228 (77.0)	5,490 (100.0)
月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)	863 (15.7)	181 (3.3)	30 (0.5)	4,446 (81.0)	5,490 (100.0)
女性に対する暴力予防の支援	825 (15.0)	146 (2.7)	26 (0.5)	4,518 (82.3)	5,490 (100.0)
予期せぬ妊娠をした女性の支援	1,865 (34.0)	159 (2.9)	35 (0.6)	3,476 (63.3)	5,490 (100.0)
多様な性の支援	461 (8.4)	204 (3.7)	27 (0.5)	4,826 (87.9)	5,490 (100.0)
産前・産後以外のメンタルヘルスケア	1,368 (24.9)	119 (2.2)	29 (0.5)	4,005 (73.0)	5,490 (100.0)
産前・産後のメンタルヘルスケア	3,438 (62.6)	153 (2.8)	40 (0.7)	1,922 (35.0)	5,490 (100.0)
妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	1,964 (35.8)	155 (2.8)	35 (0.6)	3,398 (61.9)	5,490 (100.0)
妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	3,118 (56.8)	176 (3.2)	59 (1.1)	2,209 (40.2)	5,490 (100.0)
その他	497 (9.1)	110 (2.0)	28 (0.5)	4,883 (88.9)	5,490 (100.0)

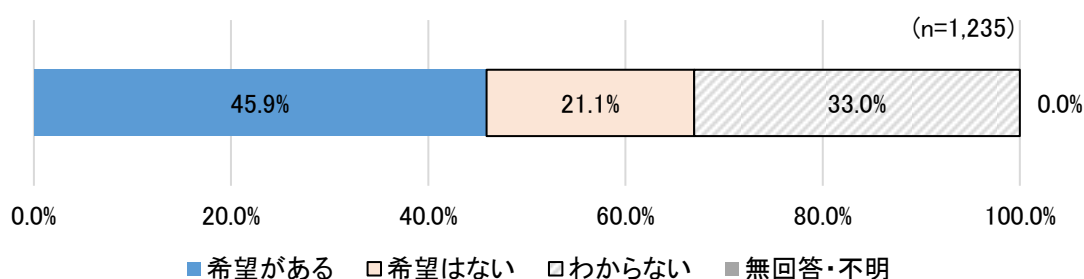
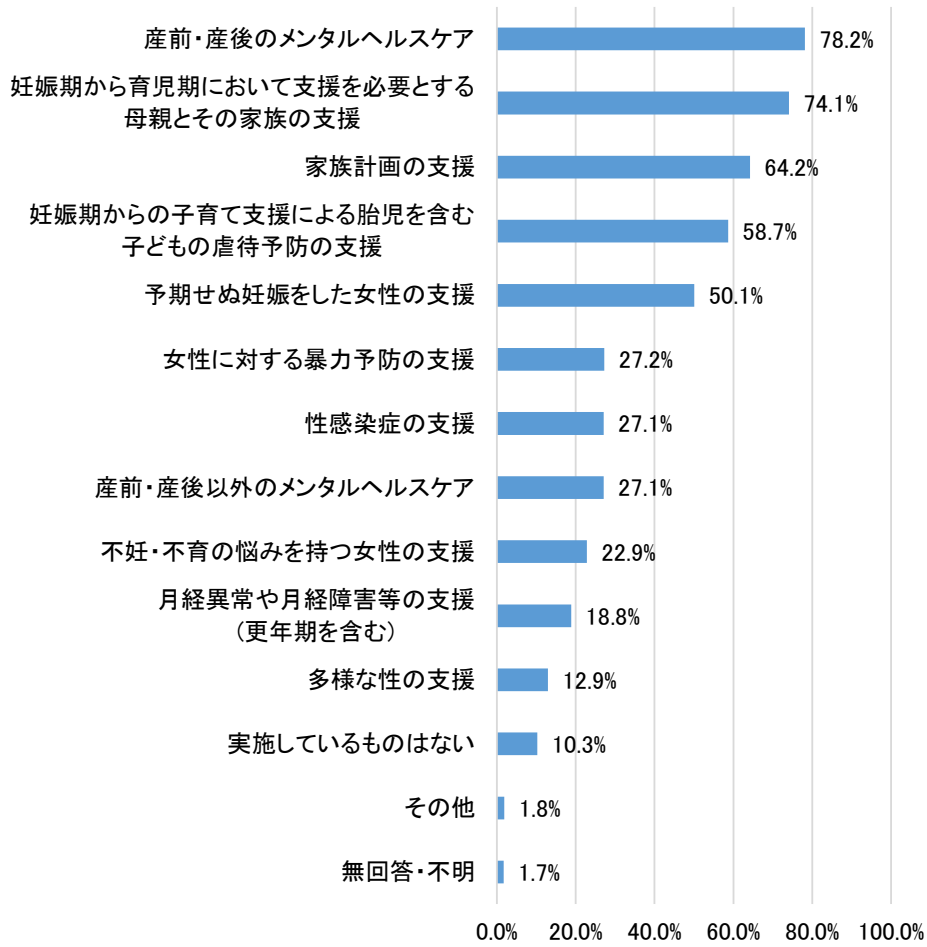


図 15 ウィメンズヘルス関連業務の意向
(全ての項目で「携わったことはない」と回答した場合)(助産師個人調査)

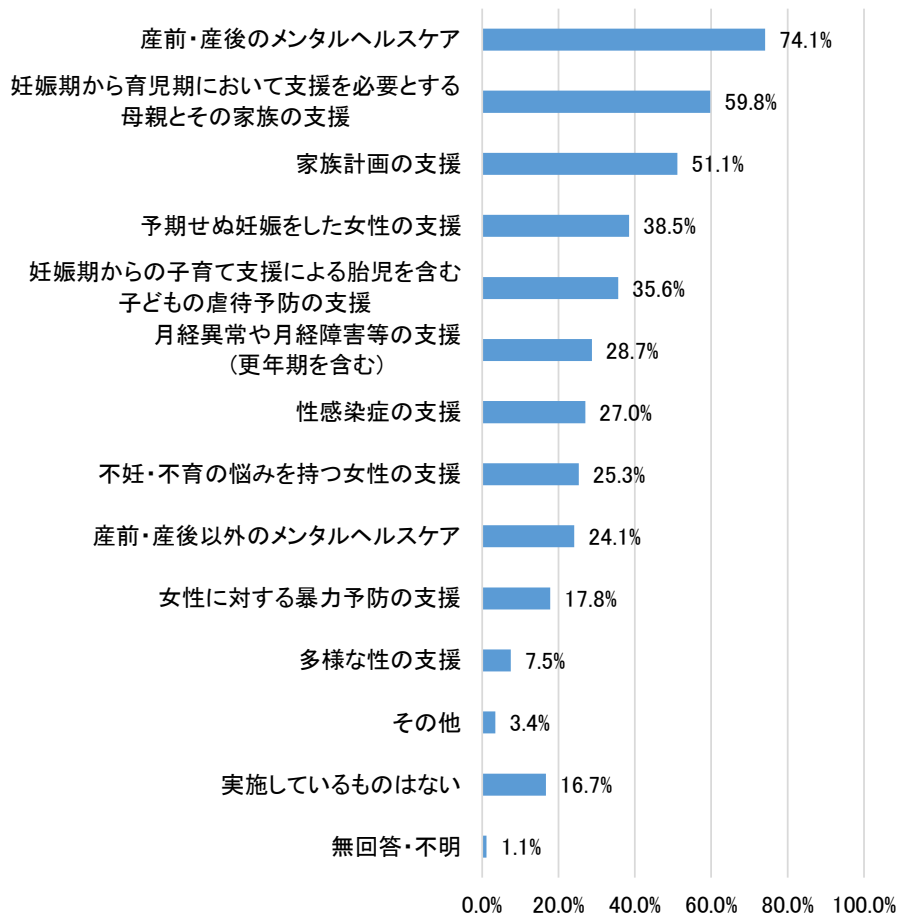
(複数回答、n=595)



注：院内で実施しているもの(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)、院外で行っているもの(地域貢献として助産師を講師として派遣する等)を含めて回答

図 16 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMiP®)に掲げるウィメンズヘルス関連業務の実施状況(病院看護管理者調査)

(複数回答、n=174)



注：院内で実施しているもの(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)、院外で行っているもの(地域貢献として助産師を講師として派遣する等)を含めて回答

図 17 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMiP®)に掲げるウィメンズヘルス関連業務の実施状況(分娩取扱診療所調査)

Ⅲ. 助産師の専門性発揮に資する教育に関する課題

助産師の能力開発に特化した研修の受講機会や教育目標があるとの回答は限定的な傾向であった。これらのことから、助産師の役割発揮に向けて、教育・研修の機会や内容、病院や分娩取扱い施設における助産師に特化した教育目標、ガイドラインの活用等を見直し充実させていく必要がある。

1. 助産師に特化した教育・研修の現状

助産師個人調査では 助産師に特化した研修の受講機会の有無について「いいえ」と回答した助産師が 46.7%を占め（図 18）、助産師に必要な知識と技術の習得という点での研修への満足度について、満足（「している」）と回答した助産師は 28.6%にとどまる（図 19）。

病院看護管理者調査、分娩取扱診療所調査では、助産師に特化した教育目標を設けているがそれぞれ 64.4%、22.4%となった（図 20、図 21）。

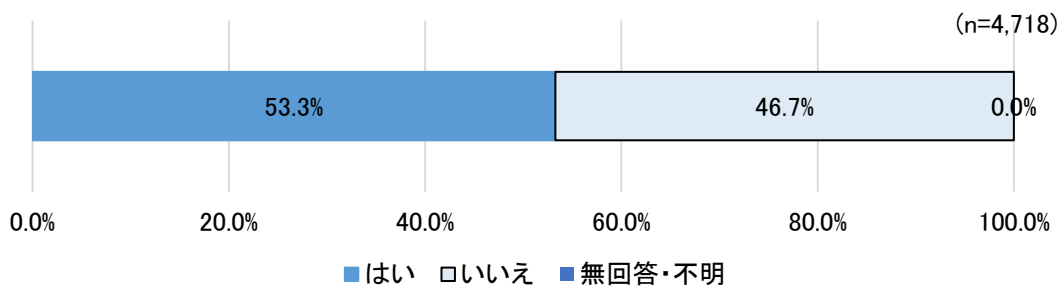


図 18 助産師に特化した研修を受講する機会の有無（診療所もしくは病院勤務者）（助産師個人調査）

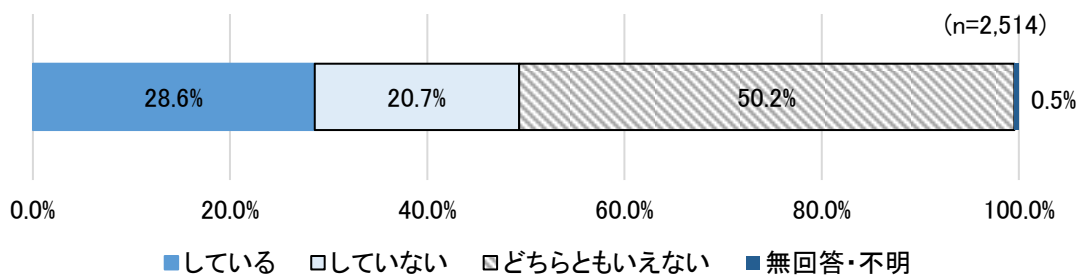


図 19 助産師に必要な知識と技術の習得という点での研修に満足しているか（助産師に特化した研修を受講する機会の有無について「はい」と回答した場合）（診療所もしくは病院勤務者）（助産師個人調査）

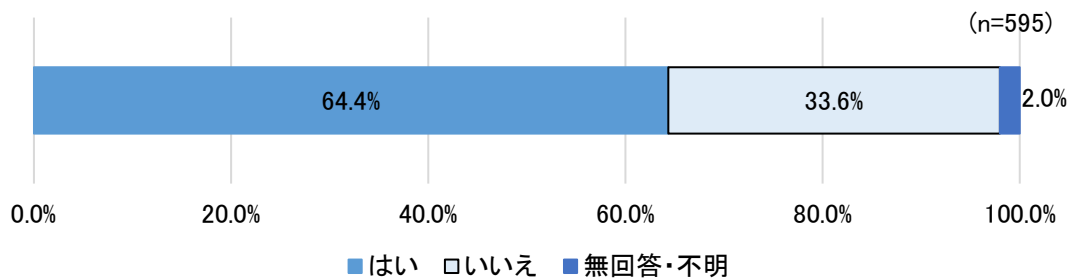


図 20 助産師に特化した教育目標の有無(病院看護管理者調査)

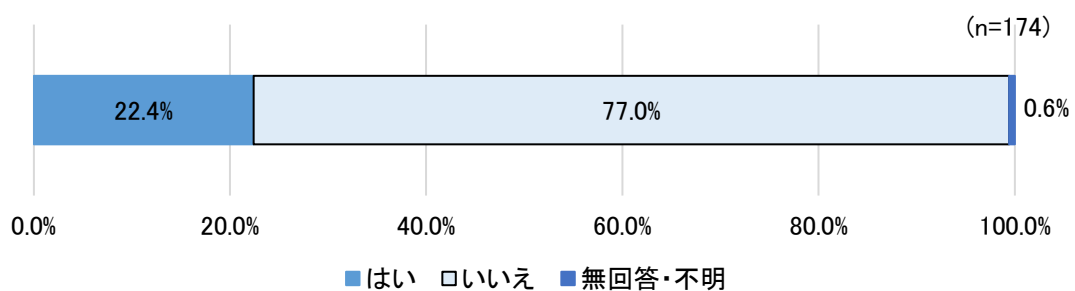


図 21 助産師に特化した教育目標の有無(分娩取扱診療所調査)

2. 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー；CLoCMiP®）の現状

助産師個人調査でアドバンス助産師認証への意向をみると、「既に認証されている」が40.9%を占め、「いいえ」が35.9%と続く(図 22)。

病院看護管理者調査、分娩取扱診療所調査でアドバンス助産師の認証の推奨状況についてみると、「はい」は病院で90.3%、分娩取扱診療所で62.6%と双方で高かった(図 23、図 24)。

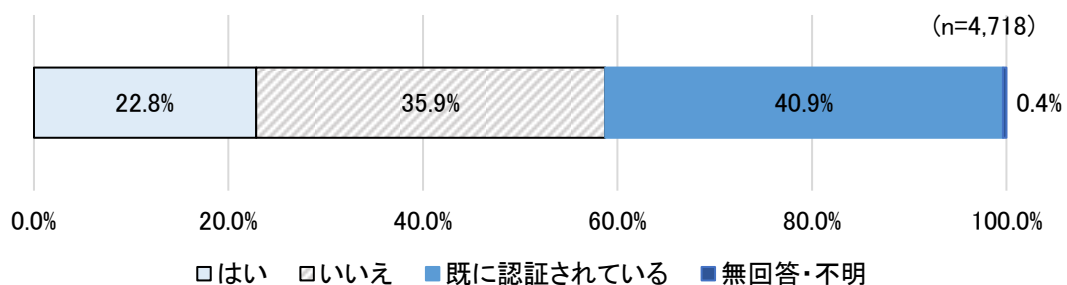


図 22 アドバンス助産師認証への意向の有無(診療所もしくは病院勤務者)
(助産師個人調査)

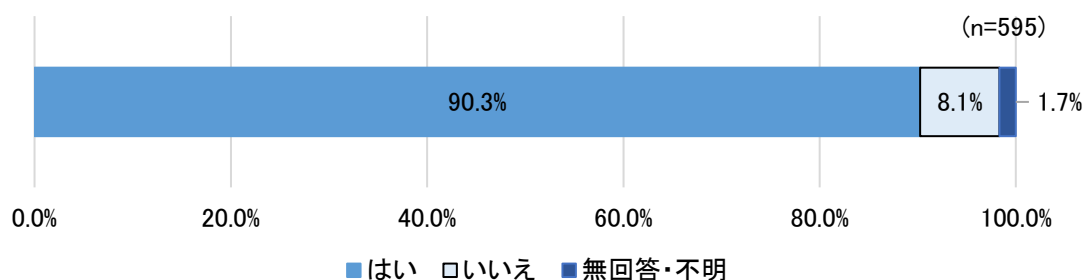


図 23 アドバンス助産師の認証の奨励(病院看護管理者調査)

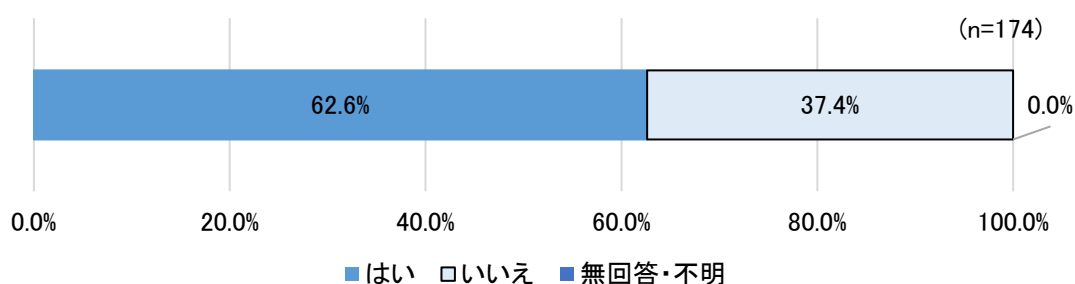


図 24 アドバンス助産師の認証の奨励(分娩取扱診療所調査)

3. 助産に関するガイドラインの活用状況

助産師個人調査で「産婦人科診療ガイドライン産科編 2020」以外の、「助産業務ガイドライン 2019」「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLOCMiP®)活用ガイド」「院内助産・助産師外来ガイドライン 2018」について、「知っているが読んだことはない」が2～3割を占める(図 25)。

病院看護管理者調査では、「助産業務ガイドライン 2019」「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLOCMiP®)活用ガイド」は「読んでおり、実際の業務に活用している」が69.4%、72.4%と7割前後を占め、「院内助産・助産師外来ガイドライン 2018」は53.1%となった(図 26)。分娩取扱診療所調査では、3つのガイドラインともに「読んでおり、実際の業務に活用している」は47.7%、39.1%、35.1%と5割未満であり、「知っているが読んだことはない」が2割程度を占めた(図 27)。

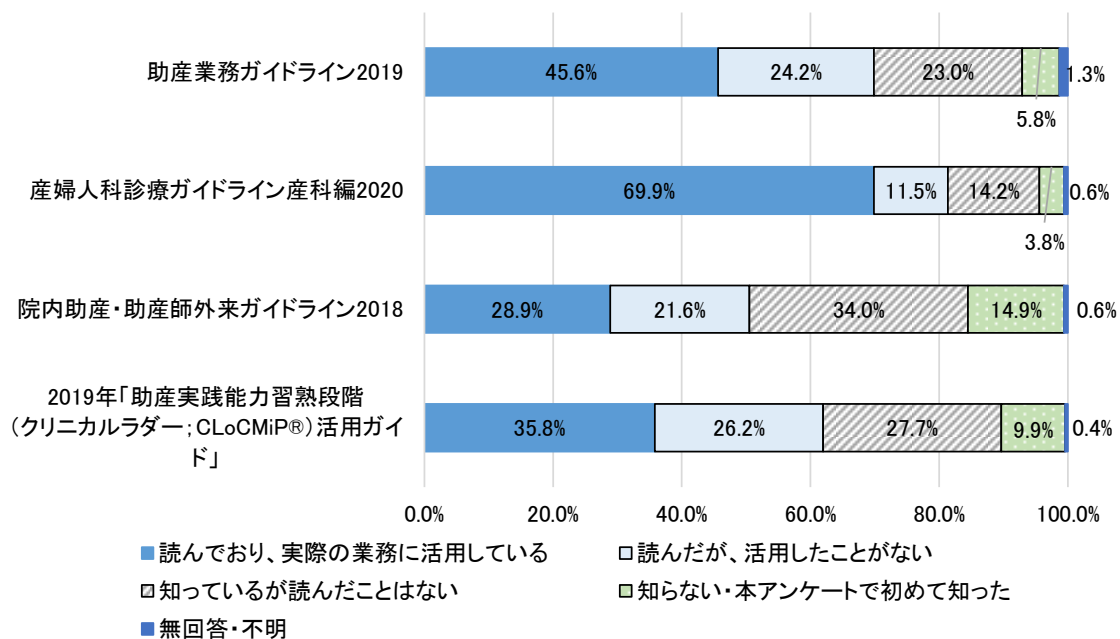


図 25 助産に関するガイドラインの活用状況(助産師個人調査)

※全ての回答者(「就業者」「離職中」「育児・介護休業取得中」)が対象

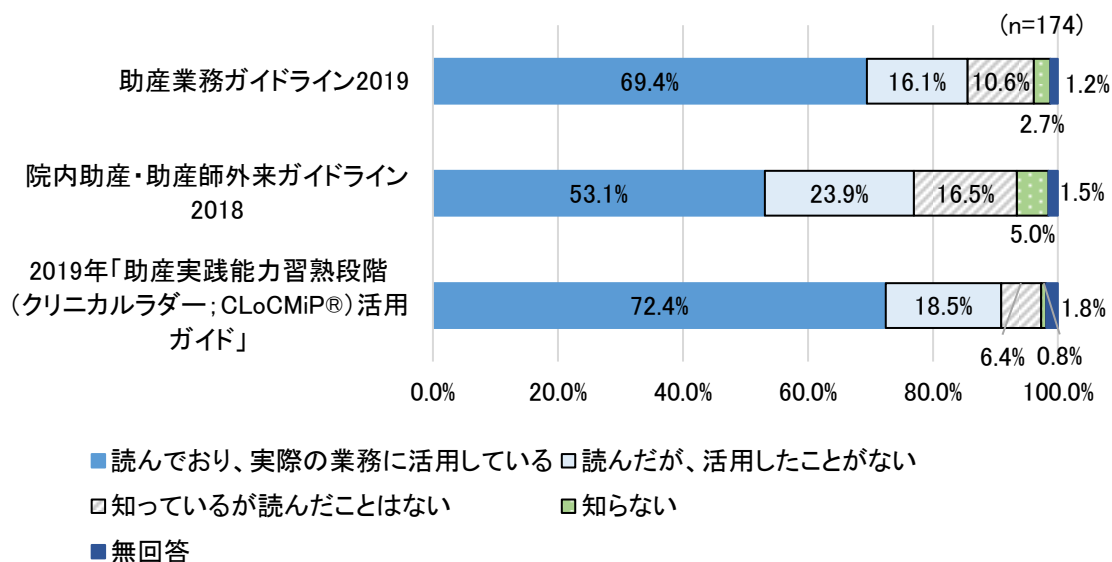


図 26 助産に関するガイドラインの活用状況(病院看護管理者調査)

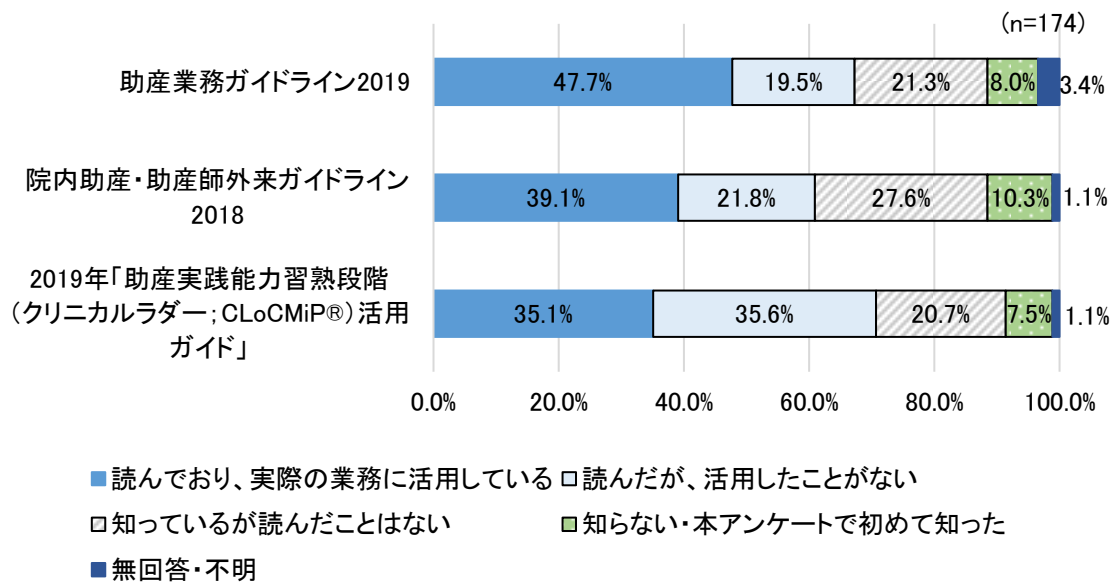


図 27 助産に関するガイドラインの活用状況(分娩取扱診療所調査)

IV. 助産師の専門性に見合った処遇

助産師の業務・専門性に配慮した手当については、特に病院において「ない」が多い現状となっていることから、改善に向けた対応が求められる。また、助産師の安心を支える賠償責任保険への加入促進が必要である。

1. 助産師の専門性に配慮した手当の現状

病院看護管理者調査及び分娩取扱診療所調査で助産師の専門性に配慮した手当についてみると、「ある」が病院看護管理者調査で 52.1%、分娩取扱診療所では 85.1%を占める(図 28、29)。

アドバンス助産師の認証を得た場合の給与や手当の増の有無について、病院看護管理者調査では「増はない」との回答が多いが、分娩取扱診療所調査では「原則として増がある」が 12.6%みられる(図 30、図 31)。

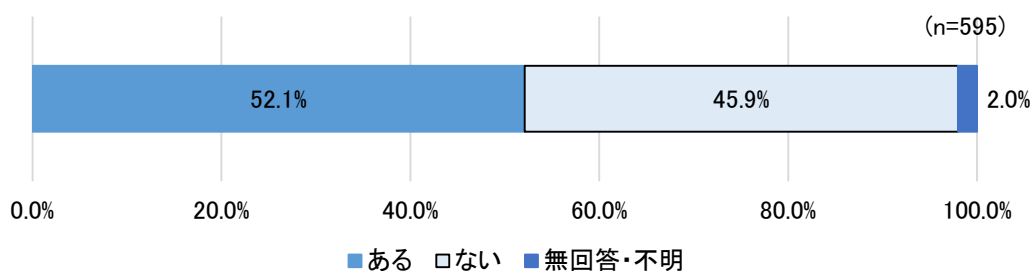


図 28 助産師の業務・専門性に配慮した手当の有無(病院看護管理者調査)

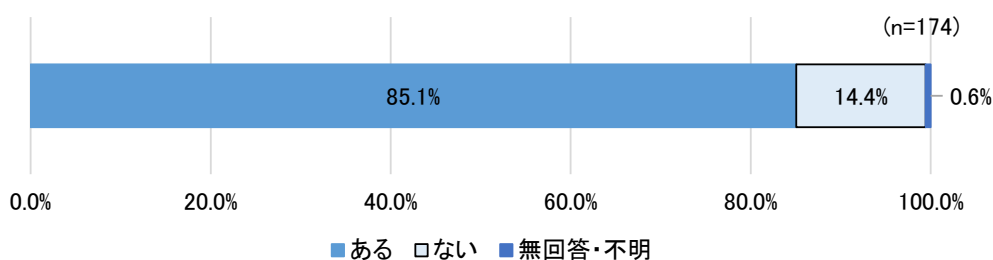


図 29 助産師の業務・専門性に配慮した手当の有無(分娩取扱診療所調査)

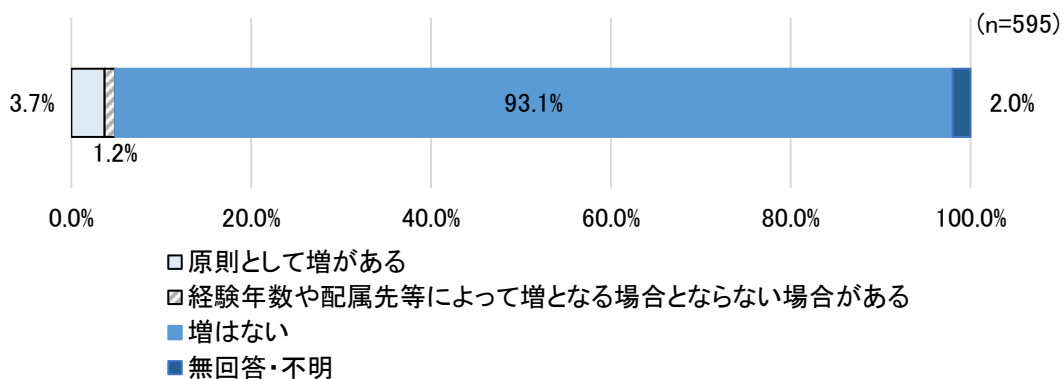


図 30 アドバンス助産師の認証を得た場合の給与や手当の増の有無(病院看護管理者調査)

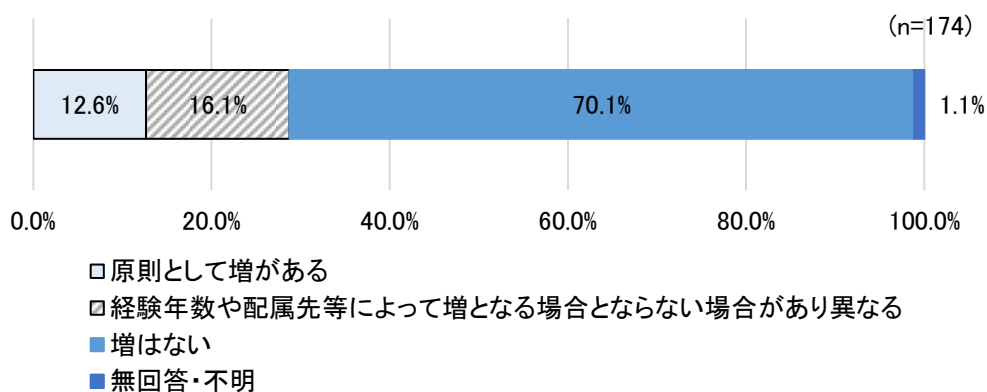


図 31 アドバンス助産師の認証を得た場合の給与や手当の増の有無(分娩取扱診療所調査)

2. 助産師の労働環境

<夜勤体制>

助産師個人調査で夜勤体制についてみると、「二交代制」が 49.3%、「変則二交代制」9.6%と、二交代制が多くを占める(表 16)。平成 24 年調査[※]と比較すると、三交代制が減少し、二交代制が増加している。また、オンコールも平成 24 年調査と比較すると減少しており、「夜勤はない(日勤のみ)」が増加している(表 16)。

※平成 24 年度 「助産師の出向システムと助産実習の受け入れ可能性等に関する調査」「助産出向システムと助産師就業継続意思に関する調査」報告書(日本看護協会) P129

< 1 勤務帯の助産師数 >

「常に 2 人以上配置」が日勤帯 82.9%、準夜勤務帯で 47.8%、深夜勤務帯で 47.4%を占めた (図 32)。

< 超過勤務時間 >

超過勤務が「あり」が 88.9%であり、平均超過勤務時間は 11.6 時間となった (表 17)。平成 24 年調査では、超過勤務「あり」88.1%、平均超過勤務時間の平均が 12.7 時間であったため、平均超過勤務時間がやや改善傾向にあると考えられる。

最も勤務時間の長い勤務先別にみると、「病院(産科関連病棟、NICU・GCU、MFICU、産科関連外来以外の病院)」で、平均超過勤務時間が 15.8 時間と、他に比較して長い傾向にある (表 17)。

超過勤務の理由は「救急や入院患者の緊急対応のため」「看護記録作成のため」「分娩対応のため」が上位を占める (図 33)。

表 16 夜勤形態(診療所もしくは病院勤務者)(助産師個人調査)(複数回答)

	件数	割合
三交代制	1,043	22.1%
変則三交代制	100	2.1%
二交代制	2,328	49.3%
変則二交代制	452	9.6%
夜勤専従	138	2.9%
日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制	41	0.9%
夜間のみ分娩時オンコール体制	198	4.2%
管理夜勤・当直	335	7.1%
夜勤はない(日勤のみ)	654	13.9%
計	4,718	100.0%

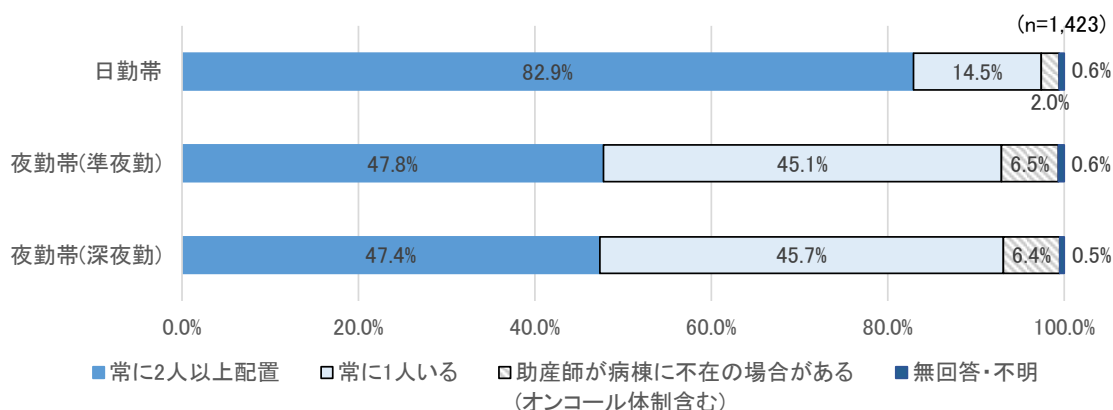


図 32 1 勤務帯の助産師数
(「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合)(助産師個人調査)

表 17 2022年8月1か月(または直近1か月)の超過勤務時間(診療所もしくは病院勤務者)

	平均超過勤務時間
分娩取扱診療所(産科関連病棟/産科関連外来)	9.7 (n=536)
病院(産科関連病棟)	11.6 (n=2,419)
病院(NICU、GCU/MFICU/産科関連外来)	9.3 (n=637)
病院(産科関連病棟、NICU・GCU、MFICU、産科関連外来以外の病院)	15.8 (n=496)
全体	11.6 (n=4,113)

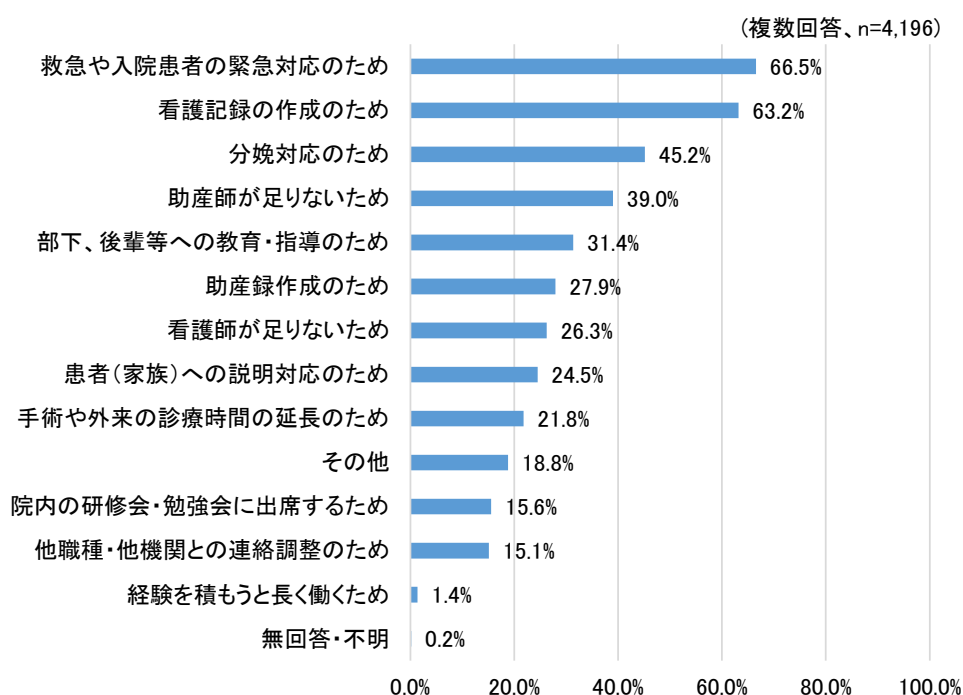


図 33 超過勤務の理由

(「超過勤務あり」と回答した場合)(診療所もしくは病院勤務者)(複数回答)

3. 助産師の安心な働き方を支える体制

助産師個人調査で加入している賠償責任保険をみると、「日本看護協会 看護職賠償責任保険」が62.8%を占めるが、「加入している賠償責任保険はない」も25.8%を占めている(図 34)。

病院看護管理者調査、分娩取扱診療所調査では、加入促進を「している」が、病院68.2%、分娩取扱診療所27.6%となった(図 35、図 36)。

産科医療補償制度・再発防止報告書の活用についてみると、活用を「している」が、病院では84.0%、分娩取扱診療所では89.1%を占めた(図 37、図 38)。

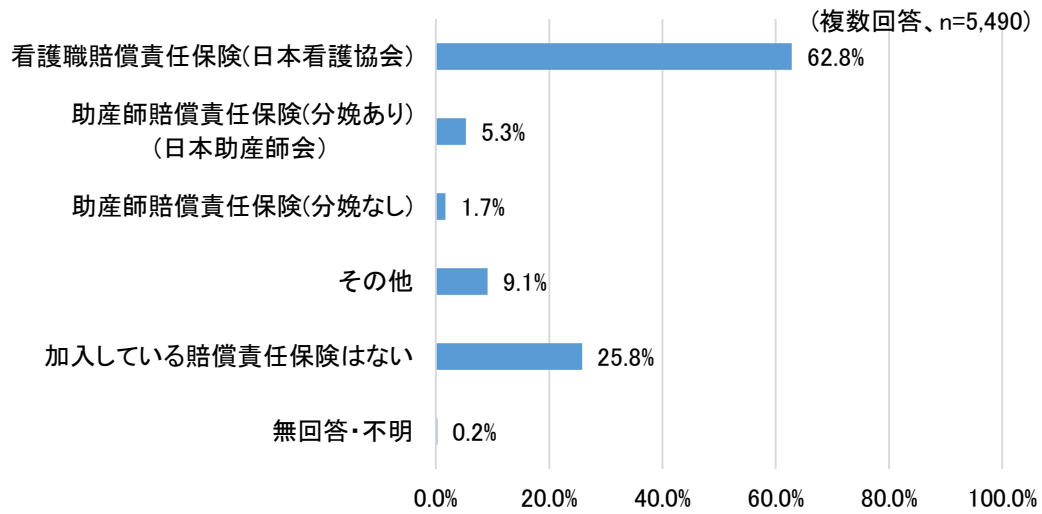


図 34 加入している賠償責任保険(複数回答)(助産師個人調査)

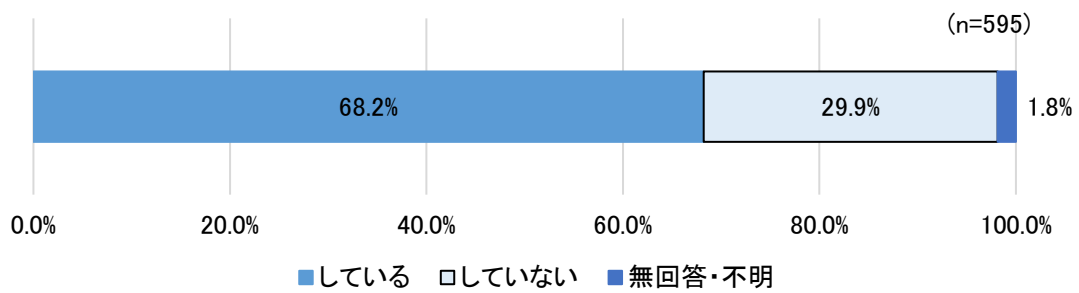


図 35 助産師への日本看護協会や日本助産師会の賠償責任保険への加入促進(病院看護管理者調査)

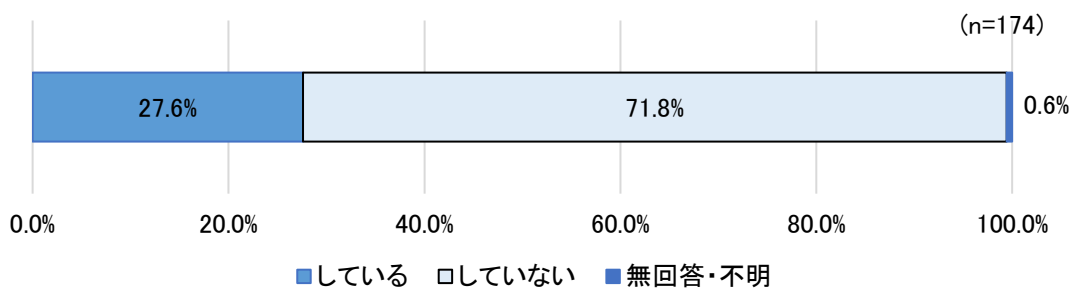


図 36 助産師への日本看護協会や日本助産師会の賠償責任保険への加入促進(分娩取扱診療所調査)

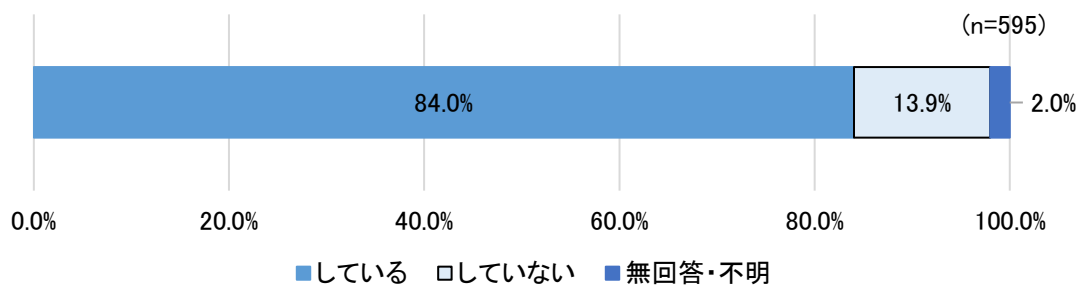


図 37 産科医療保障制度・再発防止報告書の活用(病院看護管理者調査)

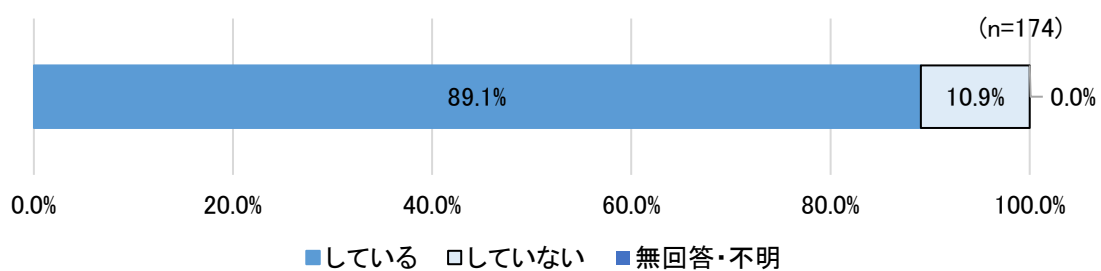


図 38 産科医療保障制度・再発防止報告書の活用(分娩取扱診療所調査)

V. 分娩を取り巻く状況と助産師の確保について

現在分娩を取り扱っている医療機関では、今後の分娩取扱い継続意向は高く、助産師の確保意向もある。また、助産師個人の就業継続意向も高い。

1. 分娩取扱いの現状

病院看護管理者調査で分娩取扱い状況についてみると、分娩を取り扱っていない2,228病院のうち、352病院(15.8%)が「分娩を取り扱っていたが中止した」とし、そのうち60病院が最近5年の間に中止している(図39、図40)。

分娩取扱い中止に伴う周辺地域の出産体制の変化について、「他の分娩取扱い施設に集約」が55.0%、「妊婦健診等は自施設で実施し、分娩は分娩取扱い施設で実施」が46.7%を占め、出産場所の集約化が進んでいる(図41)。

分娩取扱い中止に伴う助産師の就業状況の変化について、「貴院で助産業務以外の業務を担当」「退職(分娩を取り扱っている病院又は診療所に転職等)」が各73.3%を占め、助産師が分娩取扱いを希望して就業場所を移動している一方で、潜在化に影響を与えていることが推察される(図42)。

病院看護管理者調査および分娩取扱い診療所調査からは、2019年以降の分娩取扱い件数は「減少している」が病院、分娩取扱い診療所ともに約6割を占める(図43、図44)。今後の分娩取扱いの予定をみると、「分娩取扱い継続予定」がともに約9割を占める(図45、図46)。

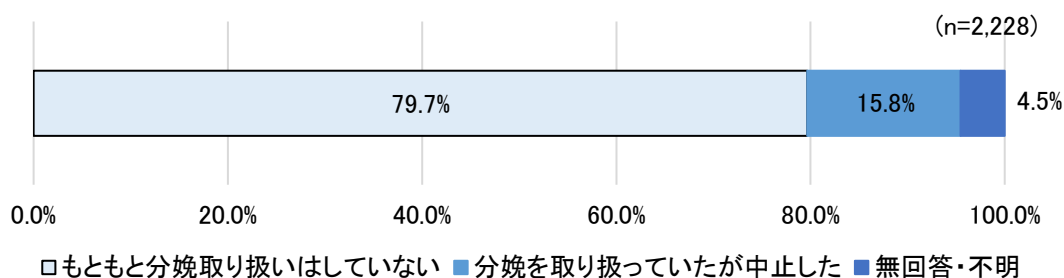


図39 分娩取扱いの経緯

(分娩取扱い施設であるかどうかについて「いいえ」と回答した場合)(病院看護管理者調査)

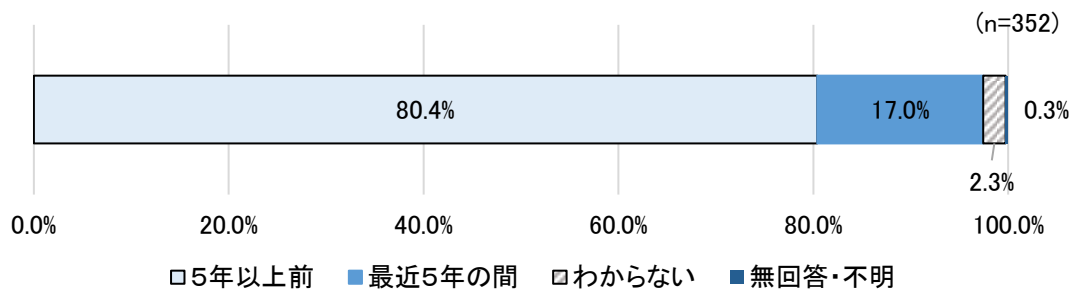


図 40 分娩取扱いを中止した時期
(「分娩を取り扱っていたが中止した」と回答した場合)(病院看護管理者調査)

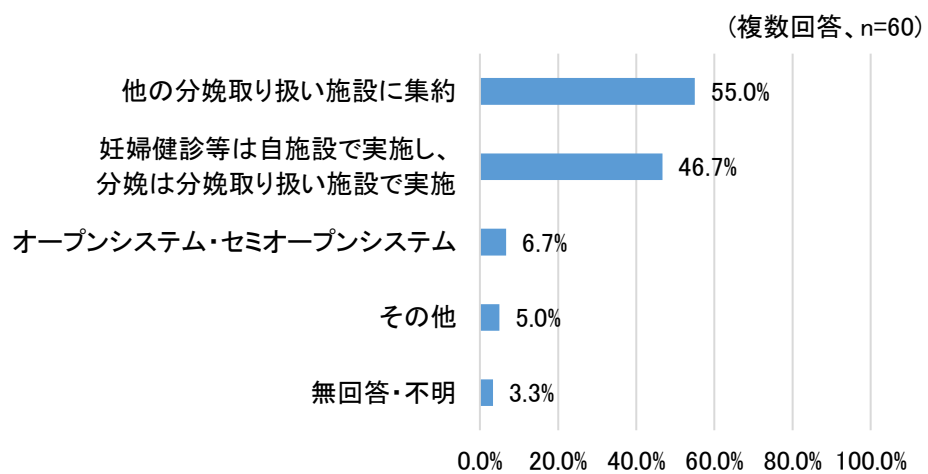


図 41 分娩取扱い中止に伴う周辺地域の出産体制の変化(「最近5年の間」に分娩取扱いを中止したと回答した場合)(複数回答)(病院看護管理者調査)

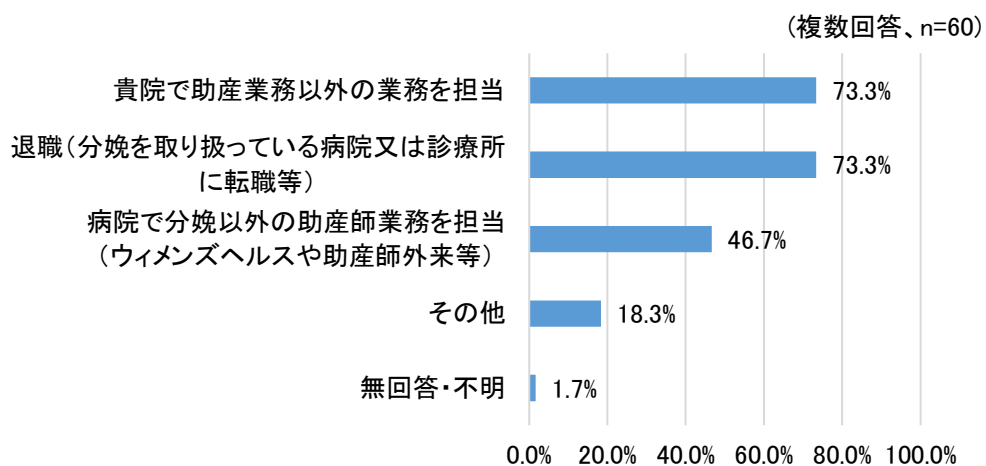


図 42 分娩取扱い中止に伴う助産師の就業状況の変化(「最近5年の間」に分娩取扱いを中止したと回答した場合)(複数回答)(病院看護管理者調査)

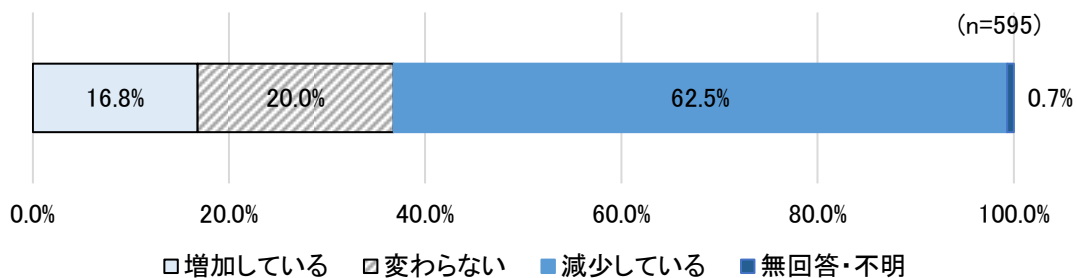


図 43 2019 年から現在までの 3 年間の、貴院の分娩取扱い件数の変化
(病院看護管理者調査)

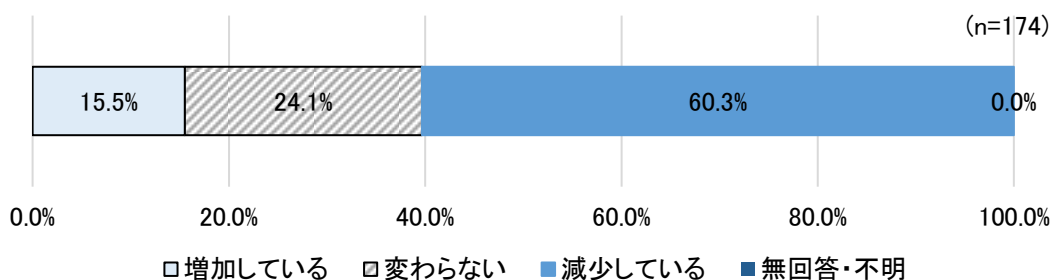


図 44 2019 年から現在までの 3 年間の、貴院の分娩取扱い件数の変化
(分娩取扱診療所調査)

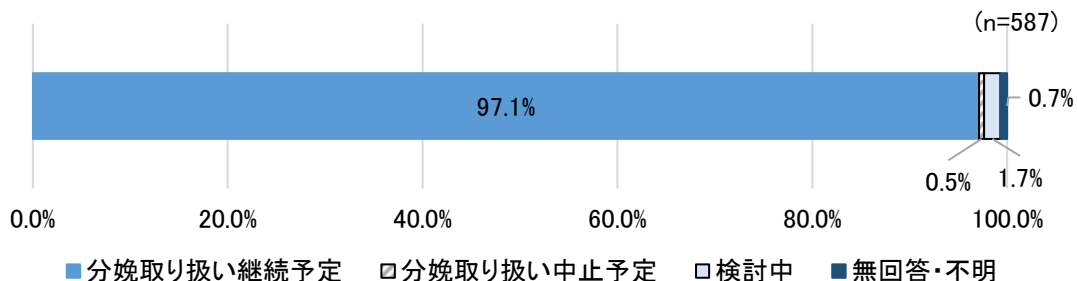


図 45 今後の分娩取扱い予定(「従来から分娩対応している」と回答した場合)
(病院看護管理者調査)

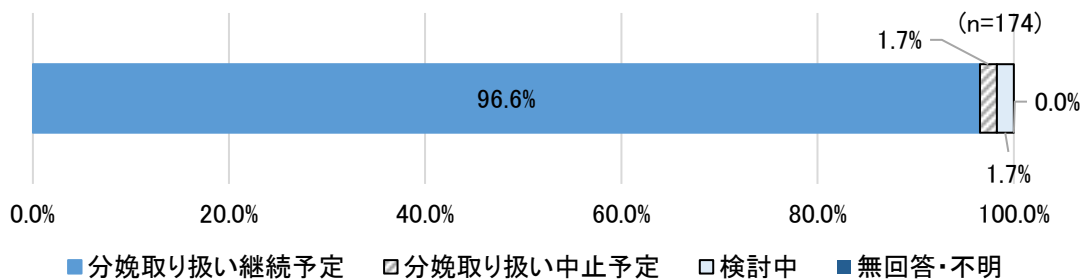


図 46 今後の分娩取扱い予定(分娩取扱診療所調査)

2. 助産師採用意向

病院看護管理者調査及び分娩取扱診療所調査で助産師の採用意向についてみると、病院では「採用を増やしたい」が51.3%、「採用を現状維持したい」が36.8%を占めた(図47)。また、分娩取扱診療所では、「採用を増やしたい」が45.4%、「採用を現状維持したい」が29.3%となった(図48)。

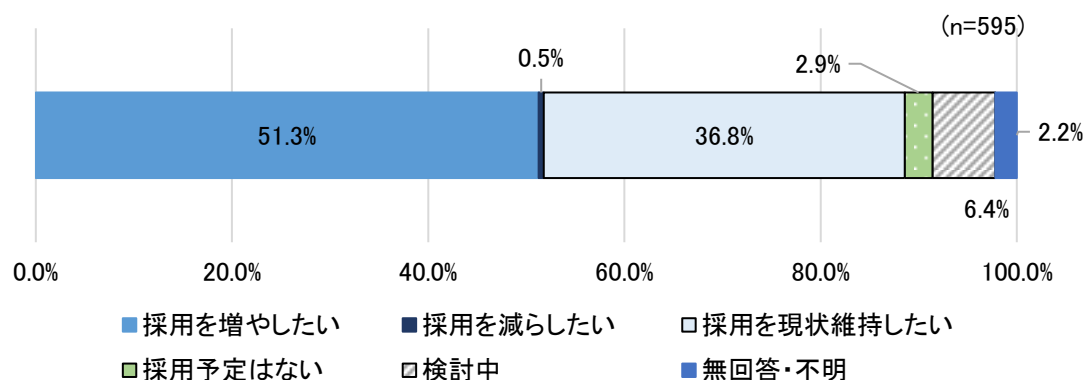


図 47 今後の助産師の採用意向(病院看護管理者調査)

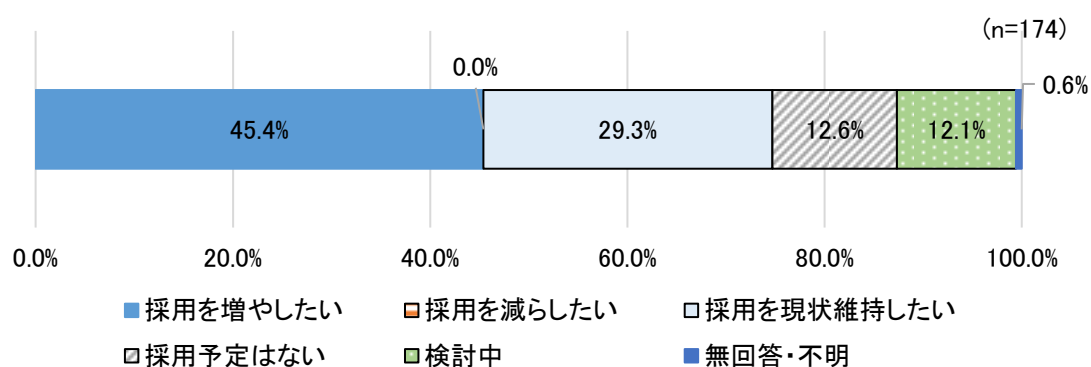


図 48 今後の助産師の採用意向(分娩取扱診療所調査)

3. 助産師就業継続意向

助産師個人調査で助産に関わる仕事への今後の意向をみると、「とてもそう思う」が51.2%を占め、「ややそう思う」とあわせると、89.8%が就業継続の意向がある(図 49)。

※全ての回答者(「就業中」「離職中」「育児・介護休業取得中」)が対象

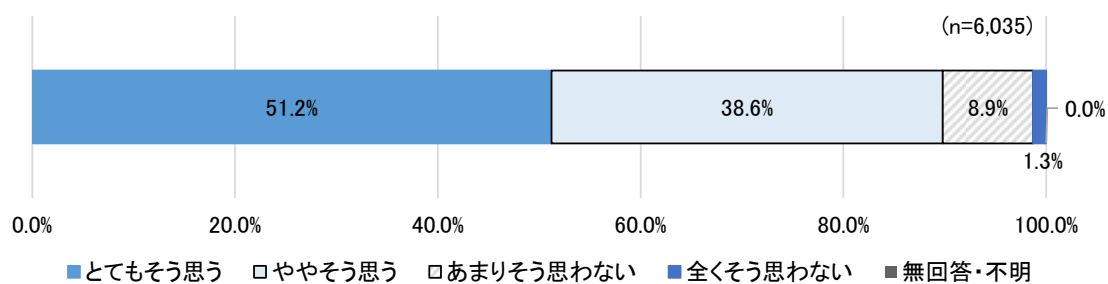


図 49 助産関連の業務を希望するか

単純集計表

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査:助産師個人票

問1 9月1日現在の就業状況をお答えください。

	度数	%
計	6035	100.0
就業中	5490	91.0
育児・介護休業取得中	341	5.7
離職中	194	3.2
無回答	10	0.2

問2 勤務先の都道府県をお答えください。問1で「3.離職中」と回答した方はお住まいの都道府県をお答えください。

	度数	%
計	6035	100.0
北海道	306	5.1
青森県	73	1.2
岩手県	79	1.3
宮城県	146	2.4
秋田県	82	1.4
山形県	98	1.6
福島県	104	1.7
茨城県	136	2.3
栃木県	77	1.3
群馬県	98	1.6
埼玉県	208	3.4
千葉県	157	2.6
東京都	438	7.3
神奈川県	264	4.4
新潟県	128	2.1
富山県	111	1.8
石川県	65	1.1
福井県	56	0.9
山梨県	54	0.9
長野県	169	2.8
岐阜県	123	2.0
静岡県	202	3.3
愛知県	341	5.7

	度数	%
三重県	98	1.6
滋賀県	84	1.4
京都府	133	2.2
大阪府	420	7.0
兵庫県	222	3.7
奈良県	68	1.1
和歌山県	53	0.9
鳥取県	45	0.7
島根県	79	1.3
岡山県	90	1.5
広島県	129	2.1
山口県	73	1.2
徳島県	74	1.2
香川県	76	1.3
愛媛県	51	0.8
高知県	32	0.5
福岡県	237	3.9
佐賀県	38	0.6
長崎県	40	0.7
熊本県	93	1.5
大分県	60	1.0
宮崎県	55	0.9
鹿児島県	72	1.2
沖縄県	84	1.4

問3 経験年数をお答えください。(1年未満の場合は月でお答えください。例:0年4か月)

①看護に関連した業務に従事している通算経験年数

	度数	%
計	6035	100.0
3年未満	441	7.3
3-6年未満	494	8.2
6-10年未満	614	10.2
10-20年未満	1340	22.2
20-30年未満	1260	20.9
30年以上	1065	17.6
無回答	821	13.6

平均18.1,n=5214

問6 ②助産師として働いた経験年数

	度数	%
計	6035	100.0
3年未満	581	9.6
3-6年未満	643	10.7
6-10年未満	765	12.7
10-20年未満	1511	25.0
20-30年未満	1095	18.1
30年以上	505	8.4
無回答	935	15.5

平均14.4,n=5100

問4 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー;CLoCMiP)をお答えください。

	度数	%
計	6035	100.0
レベル新人	287	4.8
レベルI	306	5.1
レベルII	461	7.6
レベルIII	2022	33.5
レベルIV	808	13.4
わからない・使っていない	2144	35.5
無回答	7	0.1

問5 年齢をお答えください。

	度数	%
計	6035	100.0
20代	1036	17.2
30代	1353	22.4
40代	1620	26.8
50代	1528	25.3
60代以上	497	8.2
無回答	1	0.0

問6 所有免許についてお答えください。

①所有している免許(あてはまるもの全て)

	度数	%
計	6035	100.0
保健師	1620	26.8
助産師	6035	100.0
看護師	5915	98.0
准看護師	714	11.8

問6 ②現在の主な業務

	度数	%
計	6035	100.0
保健師	25	0.4
助産師	4689	77.7
看護師	1320	21.9
准看護師	1	0.0

問7 ①勤務先・配属先と雇用形態をお答えください。

兼務・兼職、兼業している場合には当てはまるもの全てをお答えください。病棟外来一元化を行っている場合には、病棟、外来のいずれもチェックしてください。

雇用形態については当てはまるものを1つお答えください。同じ種類に複数勤務している場合には(例:分娩取扱診療所2か所に勤務している)、最も勤務時間の長い勤務先についてお答えください。

	度数	%
計	5490	100.0
1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)	707	12.9
2.分娩取扱診療所(産科関連外来)	310	5.6
3.分娩取扱をしていない診療所(産科)	24	0.4
4.分娩取扱をしていない診療所(産科以外)	43	0.8
5.病院(産科関連病棟)	2935	53.5
6.病院(NICU、GCU)	437	8.0
7.病院(MFICU)	650	11.8
8.病院(産科関連外来)	1057	19.3
9.病院(5～8以外)	790	14.4
10.助産所	100	1.8
11.その他(教育機関、子育て世代包括支援センター等)	862	15.7

問7 ②兼務・兼職、兼業している場合、最も勤務時間の長い職場の番号をご記入ください。

	度数	%
計	5490	100.0
1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)	577	10.5
2.分娩取扱診療所(産科関連外来)	70	1.3
3.分娩取扱をしていない診療所(産科)	17	0.3
4.分娩取扱をしていない診療所(産科以外)	29	0.5
5.病院(産科関連病棟)	2638	48.1
6.病院(NICU、GCU)	217	4.0
7.病院(MFICU)	254	4.6
8.病院(産科関連外来)	250	4.6
9.病院(5～8以外)	666	12.1
10.助産所	59	1.1
11.その他(教育機関、子育て世代包括支援センター等)	713	13.0

兼務の有無

	度数	%
計	5490	100.0
兼務していない(職場が1つ)	3829	69.7
兼務している(職場が複数)	1661	30.3

兼務のパターン(兼務している場合)

	度数	%
計	1661	100.0
5.病院(産科関連病棟) / 8.病院(産科関連外来)	439	26.4
5.病院(産科関連病棟) / 7.病院(MFICU)	178	10.7
5.病院(産科関連病棟) / 7.病院(MFICU) / 8.病院(産科関連外来)	176	10.6
1.分娩取扱診療所(産科関連病棟) / 2.分娩取扱診療所(産科関連外来)	175	10.5
5.病院(産科関連病棟) / 6.病院(NICU、GCU)	65	3.9
5.病院(産科関連病棟) / 6.病院(NICU、GCU) / 8.病院(産科関連外来)	51	3.1
5.病院(産科関連病棟) / 8.病院(産科関連外来) / 9.病院(5～8以外)	38	2.3
5.病院(産科関連病棟) / 9.病院(5～8以外)	38	2.3
5.病院(産科関連病棟) / 6.病院(NICU、GCU) / 7.病院(MFICU) / 8.病院(産科関連外来)	29	1.7
10.助産所 / 11.その他(教育機関、子育て世代包括支援センター等)	23	1.4
1.分娩取扱診療所(産科関連病棟) / 11.その他(教育機関、子育て世代包括支援センター等)	21	1.3
1.分娩取扱診療所(産科関連病棟) / 5.病院(産科関連病棟)	20	1.2
9.病院(5～8以外) / 11.その他(教育機関、子育て世代包括支援センター等)	20	1.2
上記以外の組み合わせ	388	23.4

※病院と地域(診療所、助産所、その他)の兼務→291件(17.5%)

※「病院(産科関連病棟)」「病院(産科関連外来)」と地域(診療所、助産所、その他)の兼務→214件(12.9%)

※「病院(産科関連病棟)」「病院(産科関連外来)」と「病院(その他)」の兼務→158件(9.5%)

問7 ③雇用形態

	計	正規雇用(短時間 正職員含む)	臨時職員・派遣職 員・契約職員・ パートタイマー職 員・アルバイト等
1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)	707 100.0	593 83.9	114 16.1
2.分娩取扱診療所(産科関連外来)	310 100.0	246 79.4	64 20.6
3.分娩取扱をしていない診療所(産科)	24 100.0	13 54.2	11 45.8
4.分娩取扱をしていない診療所(産科以外)	43 100.0	21 48.8	22 51.2
5.病院(産科関連病棟)	2935 100.0	2821 96.1	114 3.9
6.病院(NICU、GCU)	437 100.0	427 97.7	10 2.3
7.病院(MFICU)	650 100.0	641 98.6	9 1.4
8.病院(産科関連外来)	1057 100.0	957 90.5	100 9.5
9.病院(5～8以外)	790 100.0	731 92.5	59 7.5
10.助産所	100 100.0	62 62.0	38 38.0
11.その他(教育機関、子育て世代包括支援センター等)	862 100.0	584 67.7	278 32.3

問8 勤務先の開設者をお答えください。【問7主な職場「診療所」と回答した場合】

	度数	%
計	693	100.0
医療法人	514	74.2
個人	87	12.6
その他	90	13.0
無回答	2	0.3

問9 勤務先の開設者をお答えください。【問7主な職場「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4025	100.0
国（厚生労働省）	11	0.3
独立行政法人国立病院機構	192	4.8
国立大学法人	294	7.3
独立行政法人労働者健康安全機構	44	1.1
国立高度専門医療研究センター	2	0.0
独立行政法人地域医療機能推進機構	94	2.3
国 その他	12	0.3
都道府県	311	7.7
市町村	699	17.4
地方独立行政法人	241	6.0
日本赤十字社	381	9.5
済生会	115	2.9
北海道社会事業協会	5	0.1
厚生連	204	5.1
国民健康保険団体連合会	5	0.1
健康保険組合及びその連合会	14	0.3
共済組合及びその連合会	107	2.7
国民健康保険組合	6	0.1
公益法人	111	2.8
医療法人	508	12.6
私立学校法人	336	8.3
社会福祉法人	128	3.2
医療生協	17	0.4
会社	30	0.7
その他の法人	130	3.2
個人	16	0.4
無回答	12	0.3

問10 勤務先の許可病床数をお答えください。【問7主な職場「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4025	100.0
200床未満	510	12.7
200-499床	1638	40.7
500-699床	1006	25.0
700~999床	586	14.6
1,000床以上	276	6.9
無回答	9	0.2

問11 勤務先の病院機能をお答えください。【問7主な職場「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4025	100.0
総合周産期母子医療センター	1068	26.5
地域周産期母子医療センター	1467	36.4
総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センター以外の病院	1402	34.8
無回答	88	2.2

問12 一般病棟の入院基本料の算定状況をお答えください。【問7主な職場「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4025	100.0
7対1	3532	87.8
10対1	390	9.7
13対1	46	1.1
15対1	18	0.4
無回答	39	1.0

問13 職位をお答えください。【問7「1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5.病院(産科関連病棟)」と回答した場合】

	度数	%
計	3215	100.0
看護部長	14	0.4
看護副部長	14	0.4
看護師長(相当)	241	7.5
副看護師長・主任(相当)	557	17.3
スタッフ(相当)	2374	73.8
無回答	15	0.5

問14 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)のあなたの分娩介助件数(直接介助)をお答えください。
【問7「1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5.病院(産科関連病棟)」と回答した場合】

	度数	%
計	3215	100.0
0件	527	16.4
1-10件未満	569	17.7
10-20件未満	781	24.3
20-30件未満	478	14.9
30-50件未満	419	13.0
50件以上	387	12.0
無回答	54	1.7

平均27.1,n=3161

問15 現在の病棟の状況についてお答えください。【問7「5.病院(産科関連病棟)」と回答した場合】

	度数	%
計	2638	100.0
産科単科病棟	778	29.5
産科と婦人科のみの混合病棟	437	16.6
産婦人科以外の診療科も含む混合病棟	1423	53.9

問16 ①病棟の病床数をお答えください。【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	度数	%
計	1423	100.0
20床未満	59	4.1
20-30床未満	243	17.1
30-40床未満	441	31.0
40-50床未満	423	29.7
50床以上	201	14.1
無回答	56	3.9

平均37.2,n=1367

問16 ②うち9月1日時点での産科患者の入院者数【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	度数	%
計	1423	100.0
0人	33	2.3
1-9人	573	40.3
10-19人	448	31.5
20-29人	208	14.6
30-39人	73	5.1
40-49人	24	1.7
50-59人	8	0.6
60人	0	0.0
無回答	56	3.9

平均12.5,n=1367

問17 ①看護要員数【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	計	0人	1-5人未満	5-10人未満	10-15人未満	15-20人未満	20-30人未満	30人以上	無回答	平均
助産師(産科関連業務を行う)	1423 100.0	2 0.1	20 1.4	128 9.0	188 13.2	214 15.0	266 18.7	111 7.8	494 34.7	18.5 n=929
看護師	1423 100.0	73 5.1	171 12.0	204 14.3	204 14.3	167 11.7	92 6.5	18 1.3	494 34.7	10.5 n=929
准看護師	1423 100.0	825 58.0	99 7.0	3 0.2	2 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	494 34.7	0.2 n=929
看護補助者	1423 100.0	64 4.5	745 52.4	117 8.2	3 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	494 34.7	2.7 n=929
その他(保育士等)	1423 100.0	813 57.1	111 7.8	4 0.3	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	494 34.7	0.2 n=929

問17 ③看護要職員の合計数【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	度数	%
計	1423	100.0
5人以下	0	0.0
6-20人未満	61	4.3
20-40人未満	708	49.8
40-59人未満	153	10.8
60-80人未満	4	0.3
80-100人未満	3	0.2
100人以上	0	0.0
無回答	494	34.7

平均32.0,n=929

問18 病院全体の産科医師数をお答えください。【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	度数	%
計	1423	100.0
3人以下	289	20.3
4-5人	443	31.1
6-7人	286	20.1
8-10人	252	17.7
10人以上	137	9.6
無回答	16	1.1

問19 産科区域の特定をしていますか。【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	度数	%
計	1423	100.0
している	608	42.7
していない	798	56.1
無回答	17	1.2

問20 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)までの、あなたの正常分娩への関わりについてお答えください。
【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

(1) 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)に正常分娩に携わりましたか。

	計	携わった	携わっていない	無回答
分娩第1期	1423 100.0	1243 87.4	175 12.3	5 0.4
分娩第2期	1423 100.0	1231 86.5	185 13.0	7 0.5
分娩第3期	1423 100.0	1220 85.7	194 13.6	9 0.6
分娩第4期	1423 100.0	1243 87.4	172 12.1	8 0.6

問20(2) 看護中、産科以外の患者の看護(ナースコール、看取り等)に対応するために、産婦の看護を中断(その場を離れる等)したことがありますか。【問20(1)正常分娩に「携わった」と回答した場合】

	計	いつもある	時々ある	あまりない	全くない	無回答
分娩第1期	1243 100.0	762 61.3	341 27.4	89 7.2	46 3.7	5 0.4
分娩第2期	1231 100.0	200 16.2	234 19.0	322 26.2	467 37.9	8 0.6
分娩第3期	1220 100.0	170 13.9	136 11.1	298 24.4	608 49.8	8 0.7
分娩第4期	1243 100.0	476 38.3	400 32.2	201 16.2	161 13.0	5 0.4

【問20_3】問20_3 看護を中断している間に産婦のケアをしていた者(複数回答)【問20_2産婦の看護を中断したことが「1.いつもある」「2.時々ある」と回答した場合】

	計	医師	助産師	その他	無回答
分娩第1期	1103 100.0	69 6.3	690 62.6	585 53.0	35 3.2
分娩第2期	434 100.0	79 18.2	306 70.5	155 35.7	14 3.2
分娩第3期	306 100.0	79 25.8	203 66.3	107 35.0	11 3.6
分娩第4期	876 100.0	95 10.8	535 61.1	464 53.0	33 3.8

問20 あなたの所属病棟の夜勤1勤務帯における配置状況をお答えください。GCUや分娩室等、病棟以外の患者もあわせて受け持っている場合も含めてください。

①夜勤1勤務帯の看護職員数(原則)【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	度数	%
計	1423	100.0
2人	134	9.4
3人	717	50.4
4人	389	27.3
5人以上	176	12.4
無回答	7	0.5

問21 ②1勤務帯の助産師数【問15「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した場合】

	計	常に2人以上配置	常に1人いる	助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)	無回答
日勤帯	1423 100.0	1180 82.9	206 14.5	29 2.0	8 0.6
夜勤帯(準夜勤)	1423 100.0	680 47.8	642 45.1	92 6.5	9 0.6
夜勤帯(深夜勤)	1423 100.0	674 47.4	651 45.7	91 6.4	7 0.5

問22 正常分娩の開始ならびに分娩進行、母子の健康状態の助産診断に関する対応者、助産師の裁量と判断は原則としてどのようなものですか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

① 正常分娩に関する助産診断の対応者(あてはまるもの全て)

【問7「1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5.病院(産科関連病棟)」「7.病院(MFICU)」と回答した場合】

	計	医師	助産師	無回答
分娩第1期 産婦の全身状態の評価	3469	1491	3321	68
	100.0	43.0	95.7	2.0
分娩第1期 分娩開始の診断	3469	612	3378	70
	100.0	17.6	97.4	2.0
分娩第1期 破水の診断	3469	1587	3137	74
	100.0	45.7	90.4	2.1
分娩第1期 分娩経過の診断	3469	1436	3362	70
	100.0	41.4	96.9	2.0
分娩第1期 胎児の健康状態の診断	3469	1839	3271	69
	100.0	53.0	94.3	2.0
分娩第1期 内診・内診所見の判断	3469	1704	3363	69
	100.0	49.1	96.9	2.0
分娩第1期 CTGモニター装着・評価	3469	1550	3374	64
	100.0	44.7	97.3	1.8
分娩第2期 産婦の全身状態の評価	3469	1624	3346	68
	100.0	46.8	96.5	2.0
分娩第2期 分娩経過の診断	3469	1688	3344	72
	100.0	48.7	96.4	2.1
分娩第2期 胎児の健康状態の診断	3469	1922	3294	71
	100.0	55.4	95.0	2.0
分娩第2期 分娩介助	3469	775	3386	71
	100.0	22.3	97.6	2.0
分娩第3期 産婦の全身状態の評価	3469	1694	3304	72
	100.0	48.8	95.2	2.1
分娩第3期 胎盤娩出	3469	1209	3032	71
	100.0	34.9	87.4	2.0
分娩第3期 新生児の全身状態の評価	3469	1320	3317	70
	100.0	38.1	95.6	2.0
分娩第4期 産婦の全身状態の評価	3469	1407	3341	70
	100.0	40.6	96.3	2.0
分娩第4期 産道裂傷の評価	3469	3126	1141	85
	100.0	90.1	32.9	2.5
分娩第4期 新生児の全身状態の評価	3469	1207	3309	69
	100.0	34.8	95.4	2.0

問22 ②助産師の裁量と判断【問7「1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5.病院(産科関連病棟)」「7.病院(MFICU)」と回答した場合】

	計	正常経過のため、 助産師の裁量と判 断で実施	正常結果であって も、あらかじめ連 絡相談内容やタイ ミングを医師と相 談の上定めた上 で、助産師の裁量 と判断で実施	決まっていない	無回答
分娩第1期 産婦の全身状態の評価	3469 100.0	1708 49.2	1546 44.6	142 4.1	73 2.1
分娩第1期 分娩開始の診断	3469 100.0	2414 69.6	892 25.7	95 2.7	68 2.0
分娩第1期 破水の診断	3469 100.0	1697 48.9	1551 44.7	145 4.2	76 2.2
分娩第1期 分娩経過の診断	3469 100.0	1639 47.2	1631 47.0	125 3.6	74 2.1
分娩第1期 胎児の健康状態の診断	3469 100.0	1435 41.4	1840 53.0	125 3.6	69 2.0
分娩第1期 内診・内診所見の判断	3469 100.0	1877 54.1	1410 40.6	110 3.2	72 2.1
分娩第1期 CTGモニターの装着・評価	3469 100.0	1614 46.5	1688 48.7	99 2.9	68 2.0
分娩第2期 産婦の全身状態の評価	3469 100.0	1616 46.6	1644 47.4	130 3.7	79 2.3
分娩第2期 分娩経過の診断	3469 100.0	1522 43.9	1752 50.5	119 3.4	76 2.2
分娩第2期 胎児の健康状態の診断	3469 100.0	1365 39.3	1904 54.9	124 3.6	76 2.2
分娩第2期 分娩介助	3469 100.0	1779 51.3	1525 44.0	88 2.5	77 2.2
分娩第3期 産婦の全身状態の評価	3469 100.0	1511 43.6	1738 50.1	136 3.9	84 2.4
分娩第3期 胎盤娩出	3469 100.0	1727 49.8	1445 41.7	209 6.0	88 2.5
分娩第3期 新生児の全身状態の評価	3469 100.0	1667 48.1	1594 45.9	127 3.7	81 2.3
分娩第4期 産婦の全身状態の評価	3469 100.0	1605 46.3	1663 47.9	119 3.4	82 2.4
分娩第4期 産道裂傷の評価	3469 100.0	313 9.0	2384 68.7	658 19.0	114 3.3
分娩第4期 新生児の全身状態の評価	3469 100.0	1724 49.7	1526 44.0	138 4.0	81 2.3

問23 精神疾患や生活習慣病(糖尿病、高血圧等)等の妊産婦の支援にあたり、昨年度に連携したことがある職種をお答えください。(あてはまるもの全て)
 兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。【問7「1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5.病院(産科関連病棟)」「7.病院(MFICU)」と回答した場合】
 ①あなたの職場、あなたの職場以外の病院・診療所

	計	認定看護師・専門看護師	他科(精神科や内分泌科等の診療科、外来、地域連携部門等)の看護職(認定看護師・専門看護師以外)	他科(精神科や内分泌科等の診療科、外来等)の医師	社会福祉士・精神保健福祉士(メディカルソーシャルワーカー含む)	公認心理師・臨床心理士	その他	連携したことはない	無回答
あなたの職場	3469	947	1506	2485	2030	1336	538	263	52
	100.0	27.3	43.4	71.6	58.5	38.5	15.5	7.6	1.5
あなたの職場以外の病院・診療所	3469	273	668	1324	842	385	867	918	209
	100.0	7.9	19.3	38.2	24.3	11.1	25.0	26.5	6.0

問23②病院・診療所以外の他施設・職種(あてはまるもの全て)【問7「1.分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5.病院(産科関連病棟)」「7.病院(MFICU)」と回答した場合】

	度数	%
計	3469	100.0
保健所・保健センターの保健師	3080	88.8
保健所・保健センター以外の行政機関	997	28.7
助産所の助産師	433	12.5
訪問看護ステーションの看護職	356	10.3
公認心理師・臨床心理士	392	11.3
その他	146	4.2
連携したことはない	202	5.8
無回答	63	1.8

問24 あなたの勤務先では助産師に特化した研修を受講する機会を設けていますか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4718	100.0
はい	2514	53.3
いいえ	2204	46.7

問25 その研修はどのような研修ですか。(あてはまるもの全て)【問24「はい」(研修受講の機会がある)と回答した場合】

	度数	%
計	2514	100.0
院内	1565	62.3
院外	2004	79.7
無回答	8	0.3

問26 助産師に必要な知識と技術の獲得という点で、研修内容や回数に満足していますか。【問24「はい」(研修受講の機会がある)と回答した場合】

	度数	%
計	2514	100.0
している	719	28.6
していない	521	20.7
どちらともいえない	1262	50.2
無回答	12	0.5

問27 アドバンス助産師を目指したいと考えていますか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4718	100.0
はい	1078	22.8
いいえ	1694	35.9
既に認証されている	1928	40.9
無回答	18	0.4

問28 あなたの勤務先では、助産師の業務・専門性に配慮した手当がありますか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4718	100.0
ある	2220	47.1
ない	2468	52.3
無回答	30	0.6

問29 あなたの現在の夜勤形態をお答えください。(あてはまるもの全て) 兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4718	100.0
三交代制	1043	22.1
変則三交代制	100	2.1
二交代制	2328	49.3
変則二交代制	452	9.6
夜勤専従	138	2.9
日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制	41	0.9
夜間のみ分娩時オンコール体制	198	4.2
管理夜勤・当直	335	7.1
夜勤はない(日勤のみ)	654	13.9

[S問29] * 問29 夜勤形態(複数回答)【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4718	100.0
三交代制/変則三交代制	1135	24.1
二交代制/変則二交代制	2766	58.6
日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制	41	0.9
夜間のみ分娩時オンコール体制	198	4.2
夜勤専従	138	2.9
管理夜勤・当直	335	7.1
夜勤はない(日勤のみ)	654	13.9

問30 夜勤の1勤務帯の拘束時間をお答えください。※変則二交代制の場合は、最も長い拘束時間をご記入ください。
【問29「二交代制」「変則二交代制」と回答した場合】

	度数	%
計	2766	100.0
11時間以下	54	2.0
12時間	247	8.9
13時間	224	8.1
14・15時間	276	10.0
16時間	1207	43.6
17時間	572	20.7
18時間以上	171	6.2
無回答	15	0.5

平均15.5,n=2751

問31 夜勤と夜勤の間隔は11時間以上の間隔が空きますか。【問29「二交代制」「変則二交代制」と回答した場合】

	度数	%
計	2766	100.0
必ず空く	2438	88.1
ほとんど空く	265	9.6
時々空く	38	1.4
ほとんど空かない	12	0.4
全く空かない	2	0.1
無回答	11	0.4

問32 2022年8月1ヶ月の夜勤・オンコール回数をお答えください。オンコールの回数は待機のみの場合も含めてください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	計	0回	1-3回	4-6回	7-9回	10回以上	無回答	平均
夜勤回数	4064	278	593	1846	810	467	70	5.5
	100.0	6.8	14.6	45.4	19.9	11.5	1.7	n=3994
オンコール回数	4064	2577	491	115	27	31	823	0.6
	100.0	63.4	12.1	2.8	0.7	0.8	20.3	n=3214

問33 2022年8月1カ月(または直近1カ月)の超過勤務・時間をお答えください。【主な職場「診療所」または「病院」と回答した場合】

	度数	%
計	4718	100.0
超過勤務あり	4196	88.9
超過勤務なし	522	11.1

[T問33_1]*問33_1超過勤務時間

	度数	%
計	4196	100.0
6時間00分以下	1728	41.2
6時間01分-12時間00分	1080	25.7
12時間01分-24時間00分	876	20.9
24時間01分-36時間00分	269	6.4
36時間01分以上	160	3.8
無回答	83	2.0

平均11.5,n=4113

問34 超過勤務の主な理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問33「超過勤務あり」と回答した場合】

	度数	%
計	4196	100.0
助産師が足りないため	1637	39.0
看護師が足りないため	1103	26.3
救急や入院患者の緊急対応のため	2792	66.5
手術や外来の診療時間の延長のため	915	21.8
助産録作成のため	1172	27.9
看護記録の作成のため	2651	63.2
患者(家族)への説明対応のため	1028	24.5
他職種・他機関との連絡調整のため	635	15.1
院内の研修会・勉強会に出席するため	654	15.6
部下、後輩等への教育・指導のため	1317	31.4
分娩対応のため	1895	45.2
経験を積もうと長く働くため	59	1.4
その他	789	18.8
無回答	7	0.2

問35 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)にあなたご自身が携わったことのある業務をお答えください。

	計	職場内で実施(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)	職場外で実施(個人への講演依頼、勤務先からの派遣等)	「職場内」または「職場外」、または両方で実施していたが、感染症対応等のため休止中	携わったことはない	無回答
助産師外来	5431 100.0	2127 39.2	31 0.6	159 2.9	3130 57.6	1 0.0
院内助産	5431 100.0	550 10.1	13 0.2	101 1.9	4769 87.8	1 0.0
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	5490 100.0	2105 38.3	44 0.8	46 0.8	3311 60.3	1 0.0
母乳外来	5490 100.0	2906 52.9	63 1.1	110 2.0	2450 44.6	1 0.0
2週間健診(母児含む)	5490 100.0	2779 50.6	33 0.6	72 1.3	2615 47.6	1 0.0
新生児健診	5490 100.0	1859 33.9	48 0.9	28 0.5	3568 65.0	1 0.0
産婦健診	5490 100.0	2730 49.7	41 0.7	35 0.6	2694 49.1	1 0.0
新生児訪問	5490 100.0	239 4.4	139 2.5	72 1.3	5049 92.0	1 0.0
産後ケア事業	5490 100.0	1391 25.3	136 2.5	108 2.0	3884 70.7	1 0.0
母乳、育児に関する電話相談	5490 100.0	3252 59.2	109 2.0	32 0.6	2130 38.8	1 0.0
青少年を対象とした出前授業	5490 100.0	282 5.1	458 8.3	140 2.6	4640 84.5	1 0.0
その他	5490 100.0	370 6.7	218 4.0	47 0.9	4886 89.0	1 0.0

問36 ①あなたご自身は今後携わってみたいとお考えですか。【問35「携わったことはない」と回答した場合】

	計	希望がある	希望はない	わからない	無回答
助産師外来	3130 100.0	1611 51.5	794 25.4	624 19.9	101 3.2
院内助産	4769 100.0	1934 40.6	1542 32.3	1152 24.2	141 3.0
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	3311 100.0	1373 41.5	891 26.9	955 28.8	92 2.8
母乳外来	2450 100.0	1380 56.3	575 23.5	414 16.9	81 3.3
2週間健診(母児含む)	2615 100.0	1453 55.6	594 22.7	483 18.5	85 3.3
新生児健診	3568 100.0	1648 46.2	1008 28.3	799 22.4	113 3.2
産婦健診	2694 100.0	1276 47.4	727 27.0	585 21.7	106 3.9
新生児訪問	5049 100.0	2691 53.3	1213 24.0	1025 20.3	120 2.4
産後ケア事業	3884 100.0	2673 68.8	560 14.4	599 15.4	52 1.3
母乳、育児に関する電話相談	2130 100.0	1136 53.3	484 22.7	450 21.1	60 2.8
青少年を対象とした出前授業	4640 100.0	1971 42.5	1313 28.3	1245 26.8	111 2.4

問36 ②ご希望がない場合にはその理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問36「希望はない」と回答した場合】

	計	業務上の余裕がない	必要な知識・経験が不足している	実施しても手当・評価につながらない	家庭の事情(子育て、介護等)	その他	無回答
助産師外来	794 100.0	265 33.4	254 32.0	69 8.7	61 7.7	314 39.5	4 0.5
院内助産	1542 100.0	684 44.4	501 32.5	164 10.6	125 8.1	485 31.5	10 0.6
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	891 100.0	295 33.1	362 40.6	67 7.5	54 6.1	299 33.6	4 0.4
母乳外来	575 100.0	171 29.7	173 30.1	45 7.8	31 5.4	232 40.3	3 0.5
2週間健診(母児含む)	594 100.0	206 34.7	127 21.4	41 6.9	32 5.4	257 43.3	6 1.0
新生児健診	1008 100.0	425 42.2	251 24.9	91 9.0	61 6.1	345 34.2	6 0.6
産婦健診	727 100.0	274 37.7	157 21.6	50 6.9	48 6.6	298 41.0	5 0.7
新生児訪問	1213 100.0	624 51.4	259 21.4	133 11.0	58 4.8	379 31.2	4 0.3
産後ケア事業	560 100.0	235 42.0	121 21.6	54 9.6	29 5.2	209 37.3	3 0.5
母乳、育児に関する電話相談	484 100.0	156 32.2	131 27.1	46 9.5	22 4.5	195 40.3	4 0.8
青少年を対象とした出前授業	1313 100.0	523 39.8	581 44.2	125 9.5	74 5.6	322 24.5	5 0.4

問37 あなたは助産師出向システムによる出向経験がありますか。

	度数	%
計	5490	100.0
ある	381	6.9
ない	5109	93.1

問38 今後助産師出向システムを活用して出向したいご希望がありますか。【問37経験が「ない」と回答した場合】

	度数	%
計	5109	100.0
希望がある	1144	22.4
希望はない	2293	44.9
わからない	1672	32.7

問39 ご希望がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問38「希望はない」と回答した場合】

	度数	%
計	2293	100.0
業務上の余裕がない	1163	50.7
必要な知識・経験が不足している	523	22.8
手当・評価につながらない	243	10.6
家庭の事情(子育て、介護等)	652	28.4
その他	732	31.9
無回答	7	0.3

問 40 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー; GLoCMip)」に掲げる以下のウィメンズヘルス関連業務について、あなたが実施しているものをお答えください。(あてはまるもの全て)

	計	職場内で実施(外来、両親学級のよ うな集合形式、個 別指導等)	職場外で実施(個 人への講演依頼、 勤務先からの派遣 等)	「職場内」または 「職場外」、または 両方で実施してい たが、感染症対応 等のため休止中	携わったことはな い
家族計画の支援	5490 100.0	3400 61.9	133 2.4	40 0.7	1973 35.9
不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	5490 100.0	858 15.6	126 2.3	32 0.6	4498 81.9
性感染症の支援	5490 100.0	989 18.0	271 4.9	47 0.9	4228 77.0
月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)	5490 100.0	863 15.7	181 3.3	30 0.5	4446 81.0
女性に対する暴力予防の支援	5490 100.0	825 15.0	146 2.7	26 0.5	4518 82.3
予期せぬ妊娠をした女性の支援	5490 100.0	1865 34.0	159 2.9	35 0.6	3476 63.3
多様な性の支援	5490 100.0	461 8.4	204 3.7	27 0.5	4826 87.9
産前・産後以外のメンタルヘルスケア	5490 100.0	1368 24.9	119 2.2	29 0.5	4005 73.0
産前・産後のメンタルヘルスケア	5490 100.0	3438 62.6	153 2.8	40 0.7	1922 35.0
妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	5490 100.0	1964 35.8	155 2.8	35 0.6	3398 61.9
妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	5490 100.0	3118 56.8	176 3.2	59 1.1	2209 40.2
その他	5490 100.0	497 9.1	110 2.0	28 0.5	4883 88.9

Q41 今後ウィメンズヘルス関連業務について、あなたご自身は携わってみたいとお考えですか。【ベース:問40全て「携わったことはない」回答者】

	度数	%
計	1235	100.0
希望がある	567	45.9
希望はない	260	21.1
わからない	408	33.0

問42 ご希望がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問41「希望はない」と回答した場合】

	度数	%
計	260	100.0
業務上の余裕がない	89	34.2
必要な知識・経験が不足している	95	36.5
手当・評価につながらない	17	6.5
家庭の事情(子育て、介護等)	38	14.6
組織の方針でウィメンズヘルス関連業務自体が実施されない	23	8.8
その他	109	41.9

問43 加入している賠償責任保険をお答えください。(あてはまるもの全て)

	度数	%
計	5490	100.0
看護職賠償責任保険(日本看護協会)	3449	62.8
助産師賠償責任保険(分娩あり)(日本助産師会)	289	5.3
助産師賠償責任保険(分娩なし)	93	1.7
その他	500	9.1
加入している賠償責任保険はない	1416	25.8
無回答	13	0.2

問44 助産に関する以下のガイドライン等をご存知ですか。

	計	読んでおり、実際の業務に活用している	読んだが、活用したことがない	知っているが読んでいたことはない	知らない・本アンケートで初めて知った	無回答
助産業務ガイドライン2019	5490 100.0	2506 45.6	1330 24.2	1265 23.0	318 5.8	71 1.3
産婦人科診療ガイドライン産科編2020	5490 100.0	3835 69.9	632 11.5	781 14.2	208 3.8	34 0.6
院内助産・助産師外来ガイドライン2018	5490 100.0	1586 28.9	1187 21.6	1866 34.0	819 14.9	32 0.6
2019年「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー; CLoCMiP®)活用ガイド」	5490 100.0	1967 35.8	1436 26.2	1519 27.7	545 9.9	23 0.4

問 45 あなたは今後助産に関わる仕事を続けたい・携わりたいと思いますか。

	度数	%
計	6035	100.0
とてもそう思う	3090	51.2
ややそう思う	2330	38.6
あまりそう思わない	537	8.9
全くそう思わない	78	1.3

問46 そのようにお考えになる理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問45「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した場合】

	度数	%
計	615	100.0
業務負荷が大きい	346	56.3
専門性を活かさない	79	12.8
医療事故に不安がある	227	36.9
専門性に見合った処遇がない	187	30.4
適切な研修・教育が不足	125	20.3
助産以外の看護領域に関心がある	221	35.9
看護以外の仕事に興味がある	101	16.4
その他	204	33.2

問22 分娩取り扱いの経緯

	度数	%
計	595	100.0
従来から分娩対応している	587	98.7
従来分娩対応していなかったが直近5年間で新たに対応しはじめた	6	1.0
無回答	2	0.3

問23 今後の分娩取り扱い予定

	度数	%
計	587	100.0
分娩取り扱い継続予定	570	97.1
分娩取り扱い中止予定	3	0.5
検討中	10	1.7
無回答	4	0.7

問24 周産期に係る病院機能

	度数	%
計	595	100.0
総合周産期母子医療センター	85	14.3
地域周産期母子医療センター	198	33.3
その他の病院	278	46.7
無回答	34	5.7

問25 周産期に係る加算の算定状況

	度数	%
計	595	100.0
入退院支援加算1	370	62.2
入退院支援加算2	46	7.7
入退院支援加算3	83	13.9
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	372	62.5
ハイリスク妊産婦連携指導料1	139	23.4
ハイリスク妊産婦連携指導料2	72	12.1
ハイリスク妊娠管理加算	475	79.8
ハイリスク分娩管理加算	431	72.4
ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰ	75	12.6
ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅱ	23	3.9
地域連携分娩管理加算	19	3.2
妊産婦緊急搬送入院加算	275	46.2
いずれも算定していない	14	2.4
無回答	18	3.0

問26 NICUにおける助産師配置状況

	度数	%
計	83	100.0
している	72	86.7
していない	11	13.3
無回答	-	-

問27 2021年度 分娩取り扱い度数

	度数	%
計	595	100.0
100件未満	47	7.9
100～300件未満	205	34.5
300～500件未満	158	26.6
500～1000件未満	143	24.0
1000件以上	39	6.6
無回答	3	0.5
平均値	443.5	443.5
平均算出n	592	592

問28 2019年から現在までの3年間の分娩取り扱い度数の変化

	度数	%
計	595	100.0
増加している	100	16.8
変わらない	119	20.0
減少している	372	62.5
無回答	4	0.7

問29 貴院の助産師数・産科医師数（実人数）

	計	0人	0人超～10人未満	10～20人未満	20～30人未満	30～40人未満	40～50人未満	50人以上	無回答	平均値	平均算出n
助産師として働いている人数	595	-	49	145	143	77	39	73	69	29.1	526
	100.0	-	8.2	24.4	24.0	12.9	6.6	12.3	11.6	29.1	526
周産期関連に配属されている人数	595	49	75	133	125	60	42	42	69	23.0	526
	100.0	8.2	12.6	22.4	21.0	10.1	7.1	7.1	11.6	23.0	526
分娩の直接介助を行っている人数	595	76	72	170	127	49	23	9	69	17.3	526
	100.0	12.8	12.1	28.6	21.3	8.2	3.9	1.5	11.6	17.3	526
周産期関連以外の部署に配属されている人数	595	180	299	38	6	3	-	-	69	3.3	526
	100.0	30.3	50.3	6.4	1.0	0.5	-	-	11.6	3.3	526
周産期関連以外配属または周産期非配属人数	595	126	278	73	36	10	1	2	69	6.4	526
	100.0	21.2	46.7	12.3	6.1	1.7	0.2	0.3	11.6	6.4	526

問29 貴院の助産師数・産科医師数（実人数）＜産科医師数（婦人科医師、婦人科のみを担当している産科医師は除く）＞

	度数	%
計	595	100.0
0人	-	-
0人超～5人未満	187	31.4
5～10人未満	235	39.5
10～20人未満	127	21.3
20～30人未満	20	3.4
30～40人未満	2	0.3
40～50人未満	2	0.3
50人以上	-	-
無回答	22	3.7
平均値	7.7	7.7
平均算出n	573	573

問30 周産期領域に特化した災害発生時の対策マニュアルの有無

	度数	%
計	595	100.0
ある	355	59.7
ない	155	26.1
作成中	79	13.3
無回答	6	1.0

問31 陰圧機能のある分娩室の設置状況

	度数	%
計	595	100.0
設けている	205	34.5
設けていない	386	64.9
無回答	4	0.7

問32 感染制御チームに助産師を配置または感染制御チームの検討メンバーに参加しているか

	度数	%
計	595	100.0
はい	229	38.5
いいえ	362	60.8
無回答	4	0.7

問33 新型コロナウイルス感染症に感染した患者の出産の受け入れ状況

	度数	%
計	595	100.0
受け入れた	448	75.3
受け入れたことはない	143	24.0
無回答	4	0.7

問34 新型コロナウイルス感染症に感染した患者の分娩時間の短縮を目的とした帝王切開の実施の有無

	度数	%
計	448	100.0
実施している	366	81.7
実施していない	80	17.9
無回答	2	0.4

問35 産科外来と産科関連病棟の助産師配置は一元管理ですか。

	度数	%
計	595	100.0
一元管理である	331	55.6
産科外来と病棟の助産師配置は別である	252	42.4
無回答	12	2.0

問36 産科関連病棟の状況

	度数	%
計	595	100.0
産科単科病棟	141	23.7
産科と婦人科のみの混合病棟	103	17.3
産婦人科以外の診療科も含む混合病棟	360	60.5
無回答	2	0.3

問37 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の病床数・入院者数<病床数>

	度数	%
計	360	100.0
9床以下	6	1.7
10～19床	24	6.7
20～29床	56	15.6
30～39床	114	31.7
40～49床	101	28.1
50床以上	59	16.4
無回答	-	-
平均値	37.1	37.1
平均算出n	360	360

問37 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の病床数・入院者数<10月1日時点 産科患者の入院者数>

	度数	%
計	360	100.0
0人	15	4.2
0人超～5人未満	93	25.8
5～10人未満	112	31.1
10～20人未満	102	28.3
20人以上	30	8.3
無回答	8	2.2
平均値	8.8	8.8
平均算出n	352	352

【新変数】問37 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の入院者割合

	度数	%
計	360	100.0
0%	15	4.2
0%超～10%未満	69	19.2
10～20%未満	83	23.1
20～30%未満	65	18.1
30～40%未満	41	11.4
40～50%未満	28	7.8
50～60%未満	20	5.6
60～70%未満	17	4.7
70%以上	14	3.9
無回答	8	2.2
平均値	25.8	25.8
平均算出n	352	352

問38 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の看護要員数（常勤換算）

	計	0人	0人超～5人未満	5～10人未満	10～15人未満	15～20人未満	20人以上	無回答	平均値	平均算出n
助産師（産科関連業務を行う）	360	3	8	49	74	83	93	50	16.4	310
	100.0	0.8	2.2	13.6	20.6	23.1	25.8	13.9	16.4	310
看護師	360	11	46	77	69	53	54	50	11.9	310
	100.0	3.1	12.8	21.4	19.2	14.7	15.0	13.9	11.9	310
准看護師	360	270	40	-	-	-	-	50	0.2	310
	100.0	75.0	11.1	-	-	-	-	13.9	0.2	310
看護補助者	360	15	249	43	2	1	-	50	2.9	310
	100.0	4.2	69.2	11.9	0.6	0.3	-	13.9	2.9	310
その他（保育士等）	360	282	26	1	1	-	-	50	0.1	310
	100.0	78.3	7.2	0.3	0.3	-	-	13.9	0.1	310

問39 産科と他科患者の受け持ち

	度数	%
計	360	100.0
常に他科診療科の患者は受け持たない（産科患者のみ受け持つ）	56	15.6
同時に受け持つ	125	34.7
分娩介助の時のみ、他科の患者は受け持たない	103	28.6
分娩第1期の患者が入院した時点で、他科の患者は受け持たない	45	12.5
その他	28	7.8
無回答	3	0.8

問40 正常新生児と他科患者の受け持ち

	度数	%
計	360	100.0
常に受け持たない	153	42.5
同時に受け持つことがある	166	46.1
常に同時に受け持っている	38	10.6
無回答	3	0.8

問41 産科区域の特定状況

	度数	%
計	360	100.0
している	208	57.8
していない	152	42.2
無回答	-	-

問4 2 (1) 産科関連病棟における男性患者の受け入れ状況

	度数	%
計	152	100.0
男性患者を受け入れていない	109	71.7
男性患者を受け入れている	33	21.7
原則として受け入れないが、男性患者が入院する場合もある	9	5.9
無回答	1	0.7

問4 2 (2) 産科関連病棟に入院した男性患者が妊産婦と同室になることがあるか

	度数	%
計	42	100.0
同室になることはない	42	100.0
原則としてないが、同室になる場合もある	-	-
同室になる	-	-
無回答	-	-

問4 3 病棟における看取りの実施状況

	度数	%
計	360	100.0
ある	300	83.3
ない	56	15.6
無回答	4	1.1

問4 4 助産師の夜勤形態

	度数	%
計	360	100.0
三交代制	133	36.9
変則三交代制	10	2.8
二交代制	196	54.4
変則二交代制	79	21.9
夜勤専従	61	16.9
日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制	6	1.7
夜間のみ分娩時オンコール体制	44	12.2
管理夜勤・当直	33	9.2
夜勤はない(日勤のみ)	15	4.2
無回答	3	0.8

問45 ①夜勤1勤務帯の看護職員数（原則）

	度数	%
計	360	100.0
2人	45	12.5
3人	201	55.8
4人	84	23.3
5人以上	28	7.8
無回答	2	0.6

問45 ②各勤務帯の助産師数

	計	常に2人以上配置	常に1人いる	助産師が病棟に不在の場合がある （オンコール体制含）	無回答
日勤帯	360	299	45	11	5
	100.0	83.1	12.5	3.1	1.4
夜勤帯（準夜勤）	360	161	158	37	4
	100.0	44.7	43.9	10.3	1.1
夜勤帯（深夜勤）	360	160	162	35	3
	100.0	44.4	45.0	9.7	0.8

問46 現在の病棟の看護管理者の職種

	度数	%
計	360	100.0
看護師	154	42.8
助産師	201	55.8
無回答	5	1.4

問47 2021年度 正常分娩の各段階における対応者

	計	産科医	助産師	その他	無回答
【妊娠期】①妊婦へのケア（切迫流産・早産等）	360	257	318	0	5
	100.0	71.4	88.3	0.0	1.4
【妊娠期】②電話での来院指示	360	192	316	0	5
	100.0	53.3	87.8	0.0	1.4
【妊娠期】③分娩開始時の入院判断	360	200	321	0	6
	100.0	55.6	89.2	0.0	1.7
【分娩第1期】①産婦の全身状態の評価	360	259	347	0	6
	100.0	71.9	96.4	0.0	1.7
【分娩第1期】②分娩開始の診断	360	197	349	0	6
	100.0	54.7	96.9	0.0	1.7
【分娩第1期】③破水の診断	360	261	337	0	6
	100.0	72.5	93.6	0.0	1.7
【分娩第1期】④分娩経過の診断	360	267	350	0	6
	100.0	74.2	97.2	0.0	1.7
【分娩第1期】⑤胎児の健康状態の診断	360	287	339	0	6
	100.0	79.7	94.2	0.0	1.7
【分娩第1期】⑥内診・内診所見の判断	360	286	347	0	6
	100.0	79.4	96.4	0.0	1.7
【分娩第1期】⑦CTGモニターの装着・評価	360	252	351	0	7
	100.0	70.0	97.5	0.0	1.9
【分娩第2期】①産婦の全身状態の評価	360	280	349	0	6
	100.0	77.8	96.9	0.0	1.7
【分娩第2期】②分娩経過の診断	360	278	347	0	6
	100.0	77.2	96.4	0.0	1.7
【分娩第2期】③胎児の健康状態の診断	360	289	344	0	6
	100.0	80.3	95.6	0.0	1.7
【分娩第2期】④分娩介助	360	167	352	0	7
	100.0	46.4	97.8	0.0	1.9
【分娩第3期】①産婦の全身状態の評価	360	280	340	0	11
	100.0	77.8	94.4	0.0	3.1
【分娩第3期】②胎盤娩出	360	224	326	0	11
	100.0	62.2	90.6	0.0	3.1
【分娩第3期】③新生児の全身状態の評価	360	226	342	0	10
	100.0	62.8	95.0	0.0	2.8
【分娩第4期】①産婦の全身状態の評価	360	254	344	0	8
	100.0	70.6	95.6	0.0	2.2
【分娩第4期】②産道裂傷の評価	360	341	160	0	7
	100.0	94.7	44.4	0.0	1.9
【分娩第4期】③新生児の全身状態の評価	360	197	344	0	7
	100.0	54.7	95.6	0.0	1.9
【産褥期】①褥婦へのケア	360	82	355	124	5
	100.0	22.8	98.6	34.4	1.4
【産褥期】②正常新生児のケア	360	40	353	181	6
	100.0	11.1	98.1	50.3	1.7

問47 2021年度 正常分娩の各段階における対応者<単数回答化>

	計	産科医のみ	産科医と助産師のみ	助産師のみ	その他	無回答
【妊娠期】①妊婦へのケア（切迫流産・早産等）	360	37	220	98	0	5
	100.0	10.3	61.1	27.2	0.0	1.4
【妊娠期】②電話での来院指示	360	39	153	163	0	5
	100.0	10.8	42.5	45.3	0.0	1.4
【妊娠期】③分娩開始時の入院判断	360	33	167	154	0	6
	100.0	9.2	46.4	42.8	0.0	1.7
【分娩第1期】①産婦の全身状態の評価	360	7	252	95	0	6
	100.0	1.9	70.0	26.4	0.0	1.7
【分娩第1期】②分娩開始の診断	360	5	192	157	0	6
	100.0	1.4	53.3	43.6	0.0	1.7
【分娩第1期】③破水の診断	360	17	244	93	0	6
	100.0	4.7	67.8	25.8	0.0	1.7
【分娩第1期】④分娩経過の診断	360	4	263	87	0	6
	100.0	1.1	73.1	24.2	0.0	1.7
【分娩第1期】⑤胎児の健康状態の診断	360	15	272	67	0	6
	100.0	4.2	75.6	18.6	0.0	1.7
【分娩第1期】⑥内診・内診所見の判断	360	7	279	68	0	6
	100.0	1.9	77.5	18.9	0.0	1.7
【分娩第1期】⑦CTGモニターの装着・評価	360	2	250	101	0	7
	100.0	0.6	69.4	28.1	0.0	1.9
【分娩第2期】①産婦の全身状態の評価	360	5	275	74	0	6
	100.0	1.4	76.4	20.6	0.0	1.7
【分娩第2期】②分娩経過の診断	360	7	271	76	0	6
	100.0	1.9	75.3	21.1	0.0	1.7
【分娩第2期】③胎児の健康状態の診断	360	10	279	65	0	6
	100.0	2.8	77.5	18.1	0.0	1.7
【分娩第2期】④分娩介助	360	1	166	186	0	7
	100.0	0.3	46.1	51.7	0.0	1.9
【分娩第3期】①産婦の全身状態の評価	360	9	271	69	0	11
	100.0	2.5	75.3	19.2	0.0	3.1
【分娩第3期】②胎盤娩出	360	23	201	125	0	11
	100.0	6.4	55.8	34.7	0.0	3.1
【分娩第3期】③新生児の全身状態の評価	360	8	218	124	0	10
	100.0	2.2	60.6	34.4	0.0	2.8
【分娩第4期】①産婦の全身状態の評価	360	8	246	98	0	8
	100.0	2.2	68.3	27.2	0.0	2.2
【分娩第4期】②産道裂傷の評価	360	193	148	12	0	7
	100.0	53.6	41.1	3.3	0.0	1.9
【分娩第4期】③新生児の全身状態の評価	360	9	188	156	0	7
	100.0	2.5	52.2	43.3	0.0	1.9
【産褥期】①褥婦へのケア	360	0	51	180	124	5
	100.0	0.0	14.2	50.0	34.4	1.4
【産褥期】②正常新生児のケア	360	0	19	154	181	6
	100.0	0.0	5.3	42.8	50.3	1.7

問48 産科混合病棟における正常分娩の安全な実施に向け工夫していること

	度数	%
計	360	100.0
分娩対応時の助産師と看護師の役割分担をあらかじめ定めている	301	83.6
助産師が分娩対応に入る際の分娩室と病棟の連絡方法や内容を定めている	283	78.6
病棟師長や主任、夜勤のリーダーに混合病棟におけるケアの注意点や助産師の役割について教育している	228	63.3
分娩対応時の他病棟からの応援体制を定めている	99	27.5
その他	52	14.4
特になし	7	1.9
無回答	3	0.8

問49 助産師と看護師の業務範囲等の状況①保健師助産師看護師法における看護師と助産師の資格や業の違いを踏まえ、助産師の業務を看護師と区分・役割分担している

	度数	%
計	595	100.0
実施している	501	84.2
実施していない	45	7.6
どちらともいえない	45	7.6
無回答	4	0.7

問49 助産師と看護師の業務範囲等の状況②助産師と看護師の役割と責任を明文化している

	度数	%
計	595	100.0
実施している	345	58.0
実施していない	147	24.7
どちらともいえない	95	16.0
無回答	8	1.3

問49 助産師と看護師の業務範囲等の状況③助産師の資格名称を明示している（名札、ユニフォーム等）

	度数	%
計	595	100.0
実施している	480	80.7
実施していない	109	18.3
どちらともいえない	-	-
無回答	6	1.0

問50 院内助産の実施・明示状況

	度数	%
計	595	100.0
患者に明示した上で実施している	84	14.1
患者に明示はしていないが院内助産の実施はしている	13	2.2
院内助産を実施していない	494	83.0
無回答	4	0.7

問5 1 院内助産に携わる助産師数（常勤換算）

	度数	%
計	97	100.0
0人	-	-
0人超～5人未満	7	7.2
5～10人未満	26	26.8
10～20人未満	44	45.4
20人以上	16	16.5
無回答	4	4.1
平均値	14.4	14.4
最大値	71.0	71.0
最小値	1.0	1.0
中央値	13.0	13.0
合計	1343.8	1343.8
平均算出n	93	93

問5 2 院内助産実施のための財源

	度数	%
計	97	100.0
自治体からの委託・補助	10	10.3
病院の予算	83	85.6
その他	7	7.2
無回答	2	2.1

問5 3 院内助産の今後の実施予定

	度数	%
計	494	100.0
実施の予定がある	17	3.4
検討中	94	19.0
実施の予定はない	382	77.3
無回答	1	0.2

問5 4 院内助産の今後の実施の予定がない理由

	度数	%
計	382	100.0
助産師数が不足しているため	180	47.1
助産師の知識・経験が不足しているため	112	29.3
妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	96	25.1
病院の方針	98	25.7
医師との合意が得られない	89	23.3
助産師に必要な研修・教育がないため	50	13.1
ハイリスク分娩が多いため	176	46.1
その他	35	9.2
無回答	1	0.3

問55(1) 2021年度 助産師業務実施状況

	計	院内で実施 (外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)	院外で実施 (個人への講演依頼、勤務先からの派遣等)	「院内」または「院外」、または両方で実施していたが、感染症対応等のため休止中	実施したことはない	無回答
①助産師外来	595 100.0	419 70.4	7 1.2	30 5.0	143 24.0	4 0.7
②疾病がある等療養支援必要な母児に対する助産師が参加した退院支援	595 100.0	468 78.7	8 1.3	3 0.5	113 19.0	11 1.8
③母乳外来	595 100.0	528 88.7	6 1.0	10 1.7	46 7.7	9 1.5
④2週間健診(母児含む)	595 100.0	497 83.5	1 0.2	12 2.0	75 12.6	11 1.8
⑤新生児健診	595 100.0	432 72.6	2 0.3	2 0.3	151 25.4	9 1.5
⑥産婦健診	595 100.0	494 83.0	2 0.3	6 1.0	90 15.1	5 0.8
⑦新生児訪問	595 100.0	26 4.4	19 3.2	20 3.4	500 84.0	32 5.4
⑧産後ケア事業	595 100.0	274 46.1	16 2.7	17 2.9	282 47.4	12 2.0
⑨母乳、育児に関する電話相談	595 100.0	545 91.6	6 1.0	4 0.7	38 6.4	8 1.3
⑩青少年等を対象とした出前授業	595 100.0	55 9.2	209 35.1	53 8.9	262 44.0	22 3.7

問55(2) 2021年度 助産師業務実施のための財源

	計	自治体からの委託・補助	患者負担	病院の予算	その他	無回答
①助産師外来	420	135	243	84	17	15
	100.0	32.1	57.9	20.0	4.0	3.6
②疾病がある等療養支援必要な母児に対する助産師が参加した退院支援	468	56	165	171	69	40
	100.0	12.0	35.3	36.5	14.7	8.5
③母乳外来	530	58	459	45	7	15
	100.0	10.9	86.6	8.5	1.3	2.8
④2週間健診(母児含む)	497	309	209	44	11	18
	100.0	62.2	42.1	8.9	2.2	3.6
⑤新生児健診	433	217	209	37	4	20
	100.0	50.1	48.3	8.5	0.9	4.6
⑥産婦健診	494	320	212	32	3	23
	100.0	64.8	42.9	6.5	0.6	4.7
⑦新生児訪問	43	22	8	10	2	6
	100.0	51.2	18.6	23.3	4.7	14.0
⑧産後ケア事業	285	251	134	18	4	9
	100.0	88.1	47.0	6.3	1.4	3.2
⑨母乳、育児に関する電話相談	546	11	88	241	185	39
	100.0	2.0	16.1	44.1	33.9	7.1
⑩青少年等を対象とした出前授業	263	144	11	42	61	12
	100.0	54.8	4.2	16.0	23.2	4.6

問55(3) 助産師業務の今後の実施意向

	計	実施の予定 がある	検討中	実施の予定 はない	無回答
①助産師外来	143	5	38	92	8
	100.0	3.5	26.6	64.3	5.6
②疾病がある等療養支援必要な母児に対する助産師が参加した退院支援	113	8	23	78	4
	100.0	7.1	20.4	69.0	3.5
③母乳外来	46	1	14	30	1
	100.0	2.2	30.4	65.2	2.2
④2週間健診(母児含む)	75	4	20	49	2
	100.0	5.3	26.7	65.3	2.7
⑤新生児健診	151	3	6	134	8
	100.0	2.0	4.0	88.7	5.3
⑥産婦健診	90	2	11	75	2
	100.0	2.2	12.2	83.3	2.2
⑦新生児訪問	500	3	41	430	26
	100.0	0.6	8.2	86.0	5.2
⑧産後ケア事業	282	27	80	162	13
	100.0	9.6	28.4	57.4	4.6
⑨母乳、育児に関する電話相談	38	-	2	34	2
	100.0	-	5.3	89.5	5.3
⑩青少年等を対象とした出前授業	262	6	40	205	11
	100.0	2.3	15.3	78.2	4.2

問55(4) 助産師業務の今後の実施予定がない理由

	計	助産師数が不足しているため	助産師の知識・経験が不足しているため	妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	病院の方針	助産師に必要な研修・教育がないため	その他	無回答
①助産師外来	92	56	31	16	23	12	18	-
	100.0	60.9	33.7	17.4	25.0	13.0	19.6	-
②疾病がある等療養支援必要な母児に対する助産師が参加した退院支援	78	25	21	31	12	16	13	1
	100.0	32.1	26.9	39.7	15.4	20.5	16.7	1.3
③母乳外来	30	18	6	2	5	2	4	2
	100.0	60.0	20.0	6.7	16.7	6.7	13.3	6.7
④2週間健診(母児含む)	49	19	3	8	16	-	7	1
	100.0	38.8	6.1	16.3	32.7	-	14.3	2.0
⑤新生児健診	134	39	11	13	57	5	37	2
	100.0	29.1	8.2	9.7	42.5	3.7	27.6	1.5
⑥産婦健診	75	28	9	14	26	3	10	2
	100.0	37.3	12.0	18.7	34.7	4.0	13.3	2.7
⑦新生児訪問	430	205	43	79	122	27	87	10
	100.0	47.7	10.0	18.4	28.4	6.3	20.2	2.3
⑧産後ケア事業	162	59	16	18	68	11	45	2
	100.0	36.4	9.9	11.1	42.0	6.8	27.8	1.2
⑨母乳、育児に関する電話相談	34	19	3	6	9	1	7	-
	100.0	55.9	8.8	17.6	26.5	2.9	20.6	-
⑩青少年等を対象とした出前授業	205	96	46	61	40	41	31	1
	100.0	46.8	22.4	29.8	19.5	20.0	15.1	0.5

問56 助産師の出向システムの活用状況

	度数	%
計	595	100.0
他施設への出向を行っている(実施したことがある)(出向元)	134	22.5
他施設の出向受け入れを行っている(実施したことがある)(出向先)	85	14.3
活用していない	417	70.1
無回答	4	0.7

問57 助産師の出向システムの財源

	度数	%
計	174	100.0
自治体からの委託・補助	39	22.4
出向元の支出	95	54.6
出向先の支出	83	47.7
その他	9	5.2
無回答	3	1.7

問58(1) 出向先施設

	度数	%
計	134	100.0
同一法人内の病院	26	19.4
公立病院	38	28.4
国立大学法人の病院	6	4.5
私立学校法人の病院	2	1.5
その他の病院	43	32.1
診療所	29	21.6
助産所	6	4.5
その他	3	2.2
無回答	7	5.2

問58(2) 出向元施設

	度数	%
計	85	100.0
同一法人内の病院	19	22.4
公立病院	33	38.8
国立大学法人の病院	10	11.8
私立学校法人の病院	5	5.9
その他の病院	13	15.3
診療所	2	2.4
助産所	2	2.4
その他	2	2.4
無回答	9	10.6

問59 助産師の出向システムの今後の活用意向

	度数	%
計	417	100.0
意向がある	41	9.8
検討中	108	25.9
意向はない	266	63.8
無回答	2	0.5

問60 意向がないのは出向元になることか、出向先となることか

	度数	%
計	266	100.0
出向元になる意向がない	236	88.7
出向先になる意向がない	195	73.3
無回答	1	0.4

問60(1) 出向元になる意向がない理由

	度数	%
計	236	100.0
助産師数が不足しているため	150	63.6
助産師の知識・経験が不足しているため	41	17.4
妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	38	16.1
病院の方針	52	22.0
医師との合意が得られない	15	6.4
助産師に必要な研修・教育がないため	19	8.1
ハイリスク分娩が多いため	54	22.9
その他	25	10.6
無回答	1	0.4

問60(2) 出向先になる(出向を受け入れる)意向がない理由

	度数	%
計	195	100.0
助産師の知識・経験が不足しているため	46	23.6
妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	71	36.4
病院の方針	68	34.9
医師との合意が得られない	18	9.2
その他	57	29.2
無回答	-	-

問61 実施しているウィメンズヘルス関連業務

	度数	%
計	595	100.0
家族計画の支援	382	64.2
不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	136	22.9
性感染症の支援	161	27.1
月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)	112	18.8
女性に対する暴力予防の支援	162	27.2
予期せぬ妊娠をした女性の支援	298	50.1
多様な性の支援	77	12.9
産前・産後以外のメンタルヘルスケア	161	27.1
産前・産後のメンタルヘルスケア	465	78.2
妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	349	58.7
妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	441	74.1
その他	11	1.8
実施しているものはない	61	10.3
無回答	10	1.7

問62 ウィメンズヘルス関連業務の今後の実施意向

	度数	%
計	61	100.0
意向がある	4	6.6
検討中	16	26.2
意向はない	41	67.2
無回答	-	-

問63 ウィメンズヘルス関連業務の今後の実施意向がない理由

	度数	%
計	41	100.0
助産師数が不足しているため	26	63.4
助産師の知識・経験が不足しているため	15	36.6
妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	11	26.8
病院の方針	5	12.2
助産師に必要な研修・教育がないため	5	12.2
その他	3	7.3
無回答	1	2.4

問64 助産師に特化した教育目標の設定状況

	度数	%
計	595	100.0
はい	383	64.4
いいえ	200	33.6
無回答	12	2.0

問65 助産師に特化した研修を受講する機会

	度数	%
計	595	100.0
院内研修がある	154	25.9
院外研修の受講を推奨している	509	85.5
特にない	47	7.9
無回答	8	1.3

問66 アドバンス助産師の認証の推奨状況

	度数	%
計	595	100.0
はい	537	90.3
いいえ	48	8.1
無回答	10	1.7

問67 アドバンス助産師の認証者数（実人数）

	度数	%
計	595	100.0
0人	34	5.7
0人超～5人未満	201	33.8
5～10人未満	227	38.2
10～20人未満	101	17.0
20人以上	22	3.7
無回答	10	1.7
平均値	6.5	6.5
平均算出n	585	585

問68 アドバンス助産師の認証を得た場合に給与や手当の増があるか

	度数	%
計	595	100.0
原則として増がある	22	3.7
経験年数や配属先等によって増となる場合とならない場合がある	7	1.2
増はない	554	93.1
無回答	12	2.0

問69 助産に関するガイドライン等の認知状況

	計	読んでおり、実際の業務に活用している	読んだが、活用したことがない	知っているが、読んだことはない	知らない・本アンケートで初めて知った	無回答
①助産業務ガイドライン2019	595 100.0	413 69.4	96 16.1	63 10.6	16 2.7	7 1.2
②院内助産・助産師外来ガイドライン2018	595 100.0	316 53.1	142 23.9	98 16.5	30 5.0	9 1.5
③2019年「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー；CLoCMiP）活用ガイド」	595 100.0	431 72.4	110 18.5	38 6.4	5 0.8	11 1.8

問70 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー；CLoCMiP）の導入状況

	度数	%
計	595	100.0
している	411	69.1
していない	170	28.6
無回答	14	2.4

問71 助産師の業務・専門性に配慮した手当の有無

	度数	%
計	595	100.0
ある	310	52.1
ない	273	45.9
無回答	12	2.0

問72 助産師に対し、日本看護協会や日本助産師会の賠償責任保険への加入促進をしていますか

	度数	%
計	595	100.0
している	406	68.2
していない	178	29.9
無回答	11	1.8

問73 産科医療補償制度・再発防止報告書を活用していますか。

	度数	%
計	595	100.0
している	500	84.0
していない	83	13.9
無回答	12	2.0

問7 4 助産に関する以下の手引き等の認知状況

	計	読んでおり、実際の業務に活用している	読んだが、活用したことがない	知っているが、読んだことはない	知らない	無回答
①日本看護協会「“母子のための地域包括ケア病棟”推進に向けた手引き」	595 100.0	164 27.6	238 40.0	101 17.0	83 13.9	9 1.5
②日本看護協会「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」	595 100.0	203 34.1	214 36.0	77 12.9	90 15.1	11 1.8

問7 5 助産師の採用意向

	度数	%
計	595	100.0
採用を増やしたい	305	51.3
採用を減らしたい	3	0.5
採用を現状維持したい	219	36.8
採用予定はない	17	2.9
検討中	38	6.4
無回答	13	2.2

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査:分娩取扱診療所

問1 貴院の所在地をお答えください

	度数	%
計	174	100.0
北海道	4	2.3
青森県	4	2.3
岩手県	1	0.6
宮城県	2	1.1
秋田県	1	0.6
山形県	4	2.3
福島県	2	1.1
茨城県	4	2.3
栃木県	4	2.3
群馬県	3	1.7
埼玉県	6	3.4
千葉県	11	6.3
東京都	11	6.3
神奈川県	3	1.7
新潟県	1	0.6
富山県	3	1.7
石川県	2	1.1
福井県	3	1.7
山梨県	2	1.1
長野県	3	1.7
岐阜県	3	1.7
静岡県	7	4.0
愛知県	9	5.2

	度数	%
三重県	5	2.9
滋賀県	2	1.1
京都府	2	1.1
大阪府	7	4.0
兵庫県	3	1.7
奈良県	3	1.7
和歌山県	1	0.6
鳥取県	1	0.6
島根県	3	1.7
岡山県	4	2.3
広島県	2	1.1
山口県	4	2.3
徳島県	1	0.6
香川県	0	0.0
愛媛県	2	1.1
高知県	1	0.6
福岡県	14	8.0
佐賀県	0	0.0
長崎県	2	1.1
熊本県	5	2.9
大分県	6	3.4
宮崎県	3	1.7
鹿児島県	9	5.2
沖縄県	1	0.6

問2 貴院の開設者をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
医療法人	139	79.9
個人	34	19.5
その他	1	0.6

問3 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の貴院の分娩取り扱い件数をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
0件	1	0.6
1～300件未満	53	30.5
300～500件未満	69	39.7
500～1000件未満	43	24.7
1000以上	7	4.0
無回答	1	0.6

平均422.1,n=173

問4 2019年から現在までの3年間の、貴院の分娩取り扱い件数の変化をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
増加している	27	15.5
変わらない	42	24.1
減少している	105	60.3

問5 貴院の病床数をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
5床以下	0	0.0
6～9床	19	10.9
10～14床	59	33.9
15～19床	96	55.2

平均14.9,n=174

問6 ①貴院の看護要員数をお答えください。

	計	0人	1～5人未満	5～10人未満	10～15人未満	15～20人未満	20人以上	無回答	平均
助産師(産科関連業務を行う)	174 100.0	0 0.0	20 11.5	50 28.7	34 19.5	14 8.0	6 3.4	50 28.7	9.7 n=124
看護師	174 100.0	4 2.3	58 33.3	43 24.7	16 9.2	3 1.7	0 0.0	50 28.7	5.4 n=124
准看護師	174 100.0	26 14.9	64 36.8	27 15.5	7 4.0	0 0.0	0 0.0	50 28.7	3.1 n=124
看護補助者	174 100.0	38 21.8	66 37.9	19 10.9	0 0.0	1 0.6	0 0.0	50 28.7	2.2 n=124
その他(保育士等)	174 100.0	89 51.1	27 15.5	4 2.3	2 1.1	1 0.6	1 0.6	50 28.7	1.2 n=124

問7 貴院の産科医師数をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
1人	51	29.3
2人	39	22.4
3人	24	13.8
4人	19	10.9
5～9人	28	16.1
10人以上	12	6.9
無回答	1	0.6

平均3.5,n=173

問8 産科外来と産科関連病棟の助産師配置は一元管理ですか。

	度数	%
計	174	100.0
一元管理である	142	81.6
産科外来と病棟の助産師配置は別である	31	17.8
無回答	1	0.6

問9 助産師の夜勤形態をお答えください。(あてはまるもの全て)

	度数	%
計	174	100.0
三交代制	2	1.1
変則三交代制	2	1.1
二交代制	153	87.9
変則二交代制	9	5.2
夜勤専従	22	12.6
日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制	8	4.6
夜間のみ分娩時オンコール体制	23	13.2
管理夜勤・当直	2	1.1
夜勤はない(日勤のみ)	3	1.7

問10 夜勤1勤務帯における配置状況をお答えください。

	計	常に2人以上配置	常に1人いる	助産師が病棟に不在の場合がある(オンコール体制含む)	無回答
日勤帯	174	101	52	20	1
	100.0	58.0	29.9	11.5	0.6
夜勤帯(準夜勤)	174	22	88	61	3
	100.0	12.6	50.6	35.1	1.7
夜勤帯(深夜勤)	174	20	89	62	3
	100.0	11.5	51.1	35.6	1.7

問11 助産師と看護師の業務範囲の区別について伺います。また、助産師の資格名称を明示していますか。

	計	実施している	実施していない	どちらともいえない	無回答
保健師助産師看護師法における看護師と助産師の資格や業の違いを踏まえ、助産師の業務を看護師と区分・役割分担している	174	132	14	28	0
	100.0	75.9	8.0	16.1	0.0
助産師と看護師の役割と責任を明文化している	174	102	71	0	1
	100.0	58.6	40.8	0.0	0.6
助産師の資格名称を明示している(名札、ユニフォーム等)	174	124	49	0	1
	100.0	71.3	28.2	0.0	0.6

問12 ①昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の助産師の下記の業務の状況についてお答えください。

	計	院内で実施(外来、 両親学級のような 集合形式、個別指 導等)	院外で実施(個人 への講演依頼、勤 務先からの派遣 等)	「院内」または「院 外」、または両方 で実施していたが、 感染症対応等のた め休止中	実施したことはな い	無回答
助産師外来	174 100.0	86 49.4	0 0.0	2 1.1	86 49.4	1 0.6
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	174 100.0	90 51.7	2 1.1	0 0.0	81 46.6	2 1.1
母乳外来	174 100.0	154 88.5	3 1.7	2 1.1	16 9.2	1 0.6
2週間健診(母児含む)	174 100.0	151 86.8	0 0.0	1 0.6	18 10.3	4 2.3
新生児健診	174 100.0	139 79.9	4 2.3	1 0.6	25 14.4	6 3.4
産婦健診	174 100.0	147 84.5	0 0.0	0 0.0	25 14.4	2 1.1
新生児訪問	174 100.0	6 3.4	8 4.6	3 1.7	151 86.8	6 3.4
産後ケア事業	174 100.0	117 67.2	7 4.0	6 3.4	42 24.1	2 1.1
母乳、育児に関する電話相談	174 100.0	162 93.1	0 0.0	0 0.0	10 5.7	2 1.1
青少年等を対象とした出前授業	174 100.0	6 3.4	20 11.5	2 1.1	141 81.0	5 2.9

問12 ②実施のための財源【問12「1. 院内で実施(外来や両親学級のような集合形式等)」または「2. 院外で実施(個人への講演依頼、勤務先からの派遣等)」と回答した場合】

	計	自治体からの委 託・補助	患者負担	貴院の予算	その他	無回答
助産師外来	86 100.0	28 32.6	33 38.4	31 36.0	5 5.8	3 3.5
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	91 100.0	14 15.4	31 34.1	35 38.5	16 17.6	7 7.7
母乳外来	156 100.0	15 9.6	134 85.9	20 12.8	3 1.9	3 1.9
2週間健診(母児含む)	151 100.0	104 68.9	56 37.1	23 15.2	4 2.6	4 2.6
新生児健診	142 100.0	70 49.3	71 50.0	19 13.4	2 1.4	7 4.9
産婦健診	147 100.0	100 68.0	66 44.9	10 6.8	1 0.7	5 3.4
新生児訪問	14 100.0	4 28.6	1 7.1	1 7.1	7 50.0	2 14.3
産後ケア事業	124 100.0	100 80.6	61 49.2	8 6.5	3 2.4	4 3.2
母乳、育児に関する電話相談	162 100.0	1 0.6	41 25.3	99 61.1	28 17.3	5 3.1
青少年等を対象とした出前授業	26 100.0	11 42.3	1 3.8	3 11.5	12 46.2	1 3.8

問13 ①今後実施するご予定がありますか。ご予定がない場合にはその理由をお答えください。【問12「実施したことはない」と回答した場合】

	計	実施の予定がある	検討中	実施の予定はない	無回答
助産師外来	86 100.0	1 1.2	10 11.6	75 87.2	0 0.0
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	81 100.0	0 0.0	3 3.7	77 95.1	1 1.2
母乳外来	16 100.0	2 12.5	0 0.0	14 87.5	0 0.0
2週間健診(母児含む)	18 100.0	0 0.0	3 16.7	15 83.3	0 0.0
新生児健診	25 100.0	0 0.0	1 4.0	23 92.0	1 4.0
産婦健診	25 100.0	0 0.0	2 8.0	22 88.0	1 4.0
新生児訪問	151 100.0	1 0.7	6 4.0	141 93.4	3 2.0
産後ケア事業	42 100.0	3 7.1	12 28.6	27 64.3	0 0.0
母乳、育児に関する電話相談	10 100.0	0 0.0	2 20.0	8 80.0	0 0.0
青少年等を対象とした出前授業	141 100.0	0 0.0	3 2.1	137 97.2	1 0.7

問13 ②実施の予定がない理由(あてはまるもの全てを選択)【問13_1「実施の予定はない」と回答した場合】

	計	助産師数が不足しているため	助産師の知識・経験が不足しているため	妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	貴院の方針	助産師に必要な研修・教育がないため	その他	無回答
助産師外来	75 100.0	45 60.0	16 21.3	8 10.7	43 57.3	16 21.3	9 12.0	0 0.0
疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	77 100.0	29 37.7	15 19.5	15 19.5	22 28.6	17 22.1	16 20.8	1 1.3
母乳外来	14 100.0	10 71.4	3 21.4	0 0.0	4 28.6	2 14.3	1 7.1	0 0.0
2週間健診(母児含む)	15 100.0	8 53.3	2 13.3	1 6.7	6 40.0	2 13.3	2 13.3	0 0.0
新生児健診	23 100.0	10 43.5	3 13.0	2 8.7	8 34.8	2 8.7	7 30.4	0 0.0
産婦健診	22 100.0	10 45.5	4 18.2	1 4.5	10 45.5	2 9.1	4 18.2	1 4.5
新生児訪問	141 100.0	73 51.8	6 4.3	18 12.8	58 41.1	9 6.4	24 17.0	2 1.4
産後ケア事業	27 100.0	12 44.4	0 0.0	1 3.7	16 59.3	0 0.0	7 25.9	0 0.0
母乳、育児に関する電話相談	8 100.0	4 50.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	1 12.5
青少年等を対象とした出前授業	137 100.0	68 49.6	19 13.9	24 17.5	43 31.4	18 13.1	22 16.1	1 0.7

問 14 助産師の出向システムを活用していますか。(あてはまるもの全て)

	度数	%
計	174	100.0
他施設への出向を行っている(実施したことがある)	6	3.4
他施設からの出向受け入れを行っている(実施したことがある)	22	12.6
活用していない	149	85.6
無回答	1	0.6

問15 助産師の出向システムの財源をお答えください。(あてはまるもの全て)【問14「他施設への出向を行っている」または「他施設からの出向受け入れを行っている」と回答した場合】

	度数	%
計	24	100.0
自治体からの委託・補助	2	8.3
出向元の支出	12	50.0
出向先の支出	12	50.0
その他	2	8.3

問16 出向先・出向元施設についてお答えください。(あてはまるもの全て)【問14「他施設へに出向を行っている」または「他施設からの出向受け入れを行っている」と回答した場合】

	計	1.同一法人内	2.公立病院	3.国立大学法人	4.私立学校法人	5.1~4以外の病院	6.診療所	7.助産所	8.その他	無回答
出向先	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
出向元	22 100.0	0 0.0	10 45.5	8 36.4	5 22.7	5 22.7	2 9.1	1 4.5	0 0.0	1 4.5

問17 出向元となること、出向を受け入れることを含めて、助産師の出向システムの今後の活用意向はありますか。【問14「活用していない」と回答した場合】

	度数	%
計	149	100.0
意向がある	10	6.7
検討中	33	22.1
意向はない	106	71.1

問18 意向がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問17「意向はない」と回答した場合】

	度数	%
計	106	100.0
助産師数が不足しているため	63	59.4
助産師の知識・経験が不足しているため	13	12.3
妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	17	16.0
貴院の方針	58	54.7
医師との合意が得られない	16	15.1
助産師に必要な研修・教育がないため	17	16.0
ハイリスク分娩が多いため	0	0.0
その他	7	6.6
無回答	1	0.9

施しているもの(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)、院外で行っているもの(地域貢献として助産師を講師として派遣する等)を

	度数	%
TOTAL	174	100.0
家族計画の支援	89	51.1
不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	44	25.3
性感染症の支援	47	27.0
月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)	50	28.7
女性に対する暴力予防の支援	31	17.8
予期せぬ妊娠をした女性の支援	67	38.5
多様な性の支援	13	7.5
産前・産後以外のメンタルヘルスケア	42	24.1
産前・産後のメンタルヘルスケア	129	74.1
妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	62	35.6
妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	104	59.8
その他	6	3.4
実施しているものはない	29	16.7
無回答	2	1.1

問20 今後実施の意向はありますか。【問19「実施しているものはない」と回答した場合】

	度数	%
計	29	100.0
意向がある	1	3.4
検討中	8	27.6
意向はない	20	69.0

問21 実施の意向がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)【問20「意向はない」と回答した場合】

	度数	%
計	20	100.0
助産師数が不足しているため	13	65.0
助産師の知識・経験が不足しているため	4	20.0
妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	2	10.0
貴院の方針	8	40.0
助産師に必要な研修・教育がないため	4	20.0
その他	1	5.0

問22 助産師に特化した教育目標を設けていますか。

	度数	%
計	174	100.0
はい	39	22.4
いいえ	134	77.0
無回答	1	0.6

問23 助産師に特化した研修を受講する機会を設けていますか。(あてはまるもの全て)

	度数	%
計	174	100.0
院内研修がある	31	17.8
院外研修の受講を推奨している	127	73.0
特になし	43	24.7
無回答	1	0.6

問24 アドバンス助産師の認証を推奨していますか。

	度数	%
計	174	100.0
はい	109	62.6
いいえ	65	37.4

問25 貴院におけるアドバンス助産師の認証者数をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
0人	50	28.7
1人	47	27.0
2人	21	12.1
3人	15	8.6
4人	17	9.8
5人以上	22	12.6
無回答	2	1.1

平均2.1,n=172

問26 アドバンス助産師の認証を得た場合、給与や手当の増はありますか。

	度数	%
計	174	100.0
原則として増がある	22	12.6
経験年数や配属先等によって増となる場合とならない場合があり異なる	28	16.1
増はない	122	70.1
無回答	2	1.1

問27 助産に関する以下のガイドライン等をご存知ですか。

	計	読んでおり、実際の業務に活用している	読んだが、活用したことがない	知っているが読んでいたことはない	知らない・本アンケートで初めて知った	無回答
助産業務ガイドライン2019	174 100.0	83 47.7	34 19.5	37 21.3	14 8.0	6 3.4
院内助産・助産師外来ガイドライン2018	174 100.0	68 39.1	38 21.8	48 27.6	18 10.3	2 1.1
2019年「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー; CLoCMiP)活用ガイド	174 100.0	61 35.1	62 35.6	36 20.7	13 7.5	2 1.1

問28 助産師の育成にあたり、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー; CLoCMiP)を導入していますか。

	度数	%
計	174	100.0
している	45	25.9
していない	129	74.1

問29 助産師の業務・専門性に配慮した手当がありますか。

	度数	%
計	174	100.0
ある	148	85.1
ない	25	14.4
無回答	1	0.6

問30 助産師に対し、日本看護協会や日本助産師会の賠償責任保険への加入促進をしていますか。

	度数	%
計	174	100.0
している	48	27.6
していない	125	71.8
無回答	1	0.6

問31 貴院では、産科医療補償制度・再発防止報告書を活用していますか。

	度数	%
計	174	100.0
している	155	89.1
していない	19	10.9

問32 今後の分娩取り扱い予定についてお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
分娩取り扱い継続予定	168	96.6
分娩取り扱い中止予定	3	1.7
検討中	3	1.7

問33 今後の助産業務、切れ目のない母子支援、ウィメンズヘルス支援に関する貴院の意向を踏まえた助産師の採用意向をお答えください。

	度数	%
計	174	100.0
採用を増やしたい	79	45.4
採用を減らしたい	0	0.0
採用を現状維持したい	51	29.3
採用予定はない	22	12.6
検討中	21	12.1
無回答	1	0.6

調 査 票

<注>

- ・病院看護管理者調査はExcel 調査票にて実施した。報告書掲載にあたっては、プルダウンメニューの内容を確認できるようにする等、一定の加工を行った。従って、実際の調査票とは見た目上の差異があるが、内容は同一である。
- ・助産師個人調査、分娩取扱診療所調査はweb 調査で実施した。報告書掲載にあたっては、見やすいよう web 画面とは一部異なったものを表示しているが、内容は同一である。

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査

回答専用ページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

<回答にあたってのお願い>

- ・この調査は 46 問から構成されており、30 分程度の時間を要します。
- ・設問によっては、回答に応じて表示される設問が異なる場合があるため、設問番号が連番にならない場合があります。
- ・ご回答は、該当する選択肢を選択するか、もしくは文字、または数字をご入力ください。
- ・質問によって、ご回答いただく選択肢は、単数回答と複数回答があります。
- ・期日や期間の指定のない質問については、2022 年 9 月 1 日時点の状況をご回答ください。
- ・9 月 1 日時点の状況が把握しづらい場合は、直近の状況についてご記入ください。
- ・質問の中には、2022 年 8 月 1 か月間の超過勤務の時間数や病棟等の看護職員数を伺う内容があります。そのため、できましたら 8 月支給分の給料明細書や勤務表をご用意ください。
- ・回答を途中で中断しても、回答内容は保存され、後日回答を再開することができます(再開するには ID・パスワードの入力が必要です)
- ・その他ご不明な事項等については、「よくある質問(FAQ)」のページをご確認ください。

【ID・パスワードについて】

- ・回答される前に、ID とパスワードをご用意ください。
 - ※ID・パスワードは、「ご協力のお願い」と共にお送りした「回答入力方法」に記載されています。
 - ※ID・パスワードは半角で入力ください。
 - ※ID・パスワードは、回答内容を保存し、回答を中断した場合にも途中から回答を再開したり、別の回答に差し替え(上書き)できるようにするためのものであり、個人が特定されることはございません。
 - ※ID・パスワードは、調査業務の外部委託業者においてのみ管理し、日本看護協会が照会・照合することはありません。

- ・ID とパスワードを忘れた方はこちらの URL にアクセスし、再発行手続きをお願いいたします。

<https://>

【倫理的配慮について】

- ・本調査は日本看護協会研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。
- ・ご記入いただいた内容は全て統計的に処理いたしますので、回答者が特定されることはございません。
- ・ご回答いただきました内容は、本会と個人情報保護(機密保持)の契約を締結している委託業者によって集計され、個人を特定できないよう統計処理いたします。
- ・本調査は自由意思によるご協力であり、ご協力いただけない場合にも、不利益が生じることはございません。
- ・回答に同意後であっても、いつでも回答を中止することができます。

【調査結果の公表】

- ・調査結果は本会公式ホームページや協会ニュース、学会発表等を通じて公表いたします。これら以外の目的でデータを使用することはございません。

【調査票】

- ・調査内容をご覧いただけるよう調査票(PDF)を掲載いたします。記入のご参考にご利用ください。なお、web 調査画面とは表示が異なります。

PDF 掲載

※注意事項

前の設問に戻る場合は、必ず画面下部の「戻る」ボタンをご利用ください。
回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

ID、パスワードをご入力ください。

ID:
パスワード:

- ◆ 調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける場合は、以下の「同意します」を選択ください。
- 調査の趣旨を理解し、回答に同意します
 - 同意しない

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査(助産師票)

1. あなたご自身のことについて伺います。

問 1 9月1日現在の就業状況をお答えください。

1. 就業中	2. 育児・介護休業取得中	3. 離職中
--------	---------------	--------

問 2 勤務先の都道府県をお答えください。問1で「3. 離職中」と回答した方はお住まいの都道府県をお答えください。

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 岡山県 |
| <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 広島県 |
| <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 山口県 |
| <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 徳島県 |
| <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 香川県 |
| <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛媛県 |
| <input type="radio"/> 福島県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 高知県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 三重県 | <input type="radio"/> 福岡県 |
| <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 佐賀県 |
| <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 熊本県 |
| <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 大分県 |
| <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 宮崎県 |
| <input type="radio"/> 神奈川県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 沖縄県 |
| <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 島根県 | |

問 3 経験年数をお答えください。(1年未満の場合は月でお答えください。例：0年4か月)

看護に関連した業務に従事している通算経験年数	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	ヶ月
助産師として働いた経験年数	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	ヶ月

問 4 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLOCMiP)をお答えください。

1. レベル新人	2. レベル I	3. レベル II
4. レベル III	5. レベル IV	6. わからない・使っていない

「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLOCMiP)については以下をご参照ください

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/CLOCMiP_katsuyo.pdf

問 5 年齢をお答えください。

1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代以上
--------	--------	--------	--------	----------

問1で「2. 育児・介護休業中」「3. 離職中」と回答した方は問43へ

問 6 所有免許についてお答えください。

①所有している免許(あてはまるもの全て)	1. 保健師 2. 助産師 3. 看護師 4. 准看護師
②現在の主な業務	1. 保健師 2. 助産師 3. 看護師 4. 准看護師

問 7 勤務先・配属先と雇用形態をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には当てはまるもの全てをお答えください。病棟外来一元化を行っている場合には、病棟、外来のいずれもチェックしてください。雇用形態については当てはまるものを1つお答えください。同じ種類に複数勤務している場合には(例：分娩取扱診療所2か所に勤務している)、最も勤務時間の長い勤務先についてお答えください。

<p style="text-align: center;">＜勤務先・配属先＞</p>	<p style="text-align: center;">＜雇用形態＞</p> <p>1. 正規雇用(短時間正職員含む)</p> <p>2. 臨時職員・派遣職員・契約職員・パート タイマー職員・アルバイト等</p>
1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟) →問 8 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
2. 分娩取扱診療所(産科関連外来) →問 8 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
3. 分娩取扱をしていない診療所(産科) →問 8 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
4. 分娩取扱をしていない診療所(産科以外) →問 8 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
5. 病院(産科関連病棟) →問 9 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
6. 病院(NICU、GCU) →問 9 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
7. 病院(MFICU) →問 9 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
8. 病院(産科関連外来) →問 9 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
9. 病院(5～8 以外) →問 9 へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
10. 助産所 →問 35③へ	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
11. その他 →問 35 へ (教育機関、子育て世代包括支援センター等)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>

問 7-1 兼務・兼職、兼業している場合、最も勤務時間の長い職場の番号をご記入ください。

問 8 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「2. 分娩取扱診療所(産科関連外来)」「3. 分娩取扱をしていない診療所(産科)」「4. 分娩取扱をしていない診療所(産科以外)」と回答した方に伺います。勤務先の開設者をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 医療法人	2. 個人	3. その他
---------	-------	--------

「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」と回答した方→問 13 へ

「2. 分娩取扱診療所(産科関連外来)」「3. 分娩取扱をしていない診療所(産科)」「4. 分娩取扱をしていない診療所(産科以外)」と回答した方→問 24 へ

問 9 問 7 で「5. 病院(産科関連病棟)」「6. 病院(NICU、GCU)」「7. 病院(MFICU)」「8. 病院(産科関連外来)」「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。勤務先の開設者をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 国 (厚生労働省)	2. 独立行政法人国立病院機構	3. 国立大学法人
4. 独立行政法人労働者健康福祉機構	5. 国立高度専門医療研究センター	
6. 独立行政法人地域医療機能推進機構	7. 国その他	8. 都道府県
9. 市町村	10. 地方独立行政法人	11. 日本赤十字社
12. 済生会	13. 北海道社会事業協会	14. 厚生連
15. 国民健康保険団体連合会	16. 健康保険組合及びその連合会	
17. 共済組合及びその連合会	18. 国民健康保険組合	19. 公益法人
20. 医療法人	21. 私立学校法人	22. 社会福祉法人
23. 医療生協	24. 会社	25. その他の法人
26. 個人		

問 10 問 7 で「5. 病院(産科関連病棟)」「6. 病院(NICU、GCU)」「7. 病院(MFICU)」「8. 病院(産科関連外来)」「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。勤務先の許可病床数をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 200 床未満	2. 200-499 床	3. 500-699 床	4. 700～999 床
5. 1,000 床以上			

問 11 問 7 で「5. 病院(産科関連病棟)」「6. 病院(NICU、GCU)」「7. 病院(MFICU)」「8. 病院(産科関連外来)」「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。勤務先の病院機能をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 総合周産期母子医療センター	2. 地域周産期母子医療センター	3. 1 と 2 以外の病院
------------------	------------------	----------------

問 12 問 7 で「5. 病院(産科関連病棟)」「6. 病院(NICU、GCU)」「7. 病院(MFICU)」「8. 病院(産科関連外来)」「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。一般病棟の入院基本料の算定状況をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 7 対 1	2. 10 対 1	3. 13 対 1	4. 15 対 1
----------	-----------	-----------	-----------

「7. 病院(MFICU)」と回答した方→問 22 へ

「6. 病院(NICU、GCU)」「8. 病院(産科関連外来)」「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方→問 24 へ

2. 産科関連病棟の現状について伺います。

問 13 問7で「1. 分娩取扱診療所（産科関連病棟）」「5. 病院（産科関連病棟）」と回答した方に伺います。職位をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 看護部長	2. 看護副部長	3. 看護師長(相当)
4. 副看護師長・主任(相当)	5. スタッフ(相当)	

問 14 問7で「1. 分娩取扱診療所（産科関連病棟）」「5. 病院（産科関連病棟）」と回答した方に伺います。昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)のあなたの分娩介助件数（直接介助）をお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

()件

「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」と回答した方→問 22 へ

問 15 問7で「5. 病院(産科関連病棟)」と回答した方に伺います。現在の病棟の状況についてお答えください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. 産科単科病棟
2. 産科と婦人科のみの混合病棟
3. 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟

問 16 問15で「3. 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した方に伺います。病棟の病床数をお答えください。

病棟の病床数	() 床
うち9月1日時点での産科患者の入院者数	() 人 ※規定の有無に関わらずお答えください。

問 17 問15で「3. 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した方に伺います。病棟の看護要員数をお答えください。該当者がいない場合には「0」をご記入ください。

※常勤換算数をお答えください

※小数点第1位までお答えください

助産師(産科関連業務を行う)	() 人
看護師	() 人
准看護師	() 人
看護補助者	() 人
その他 (保育士等)	() 人

問 18 問 15 で「3.産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した方に伺います。病院全体の産科医師数をお答えください。

※常勤、非常勤の合計をお答えください(実人員)。

※婦人科医師、婦人科のみを担当している産科医師は除きます。

() 人

問 19 問 15 で「3.産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した方に伺います。産科区域の特定をしていますか。

1. している	2. していない
---------	----------

問 20 問 15 で「3.産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した方に伺います。昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)までの、あなたの正常分娩への関わりについてお答えください。

(1) 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)に正常分娩に携わりましたか。

分娩第1期	1.携わった⇒(2)へ 2.携わっていない⇒問21へ
分娩第2期	1.携わった⇒(2)へ 2.携わっていない⇒問21へ
分娩第3期	1.携わった⇒(2)へ 2.携わっていない⇒問21へ
分娩第4期	1.携わった⇒(2)へ 2.携わっていない⇒問21へ

(2) (1)で「1.「携わった」と回答した方に伺います。看護中、産科以外の患者の看護(ナースコール、看取り等)に対応するために、産婦の看護を中断(その場を離れる等)したことがありましたか。

		(「いつもある」「時々ある」と回答した場合)あなたが看護を中断している間、産婦のケアをしていたのは誰ですか(あてはまるもの全て)
分娩第1期	1.いつもある 2.時々ある 3.あまりない 4.全くない	1.医師 2.助産師 3.その他
分娩第2期	1.□ 2.□ 3.□ 4.□	1.□ 2.□ 3.□
分娩第3期	1.□ 2.□ 3.□ 4.□	1.□ 2.□ 3.□
分娩第4期	1.□ 2.□ 3.□ 4.□	1.□ 2.□ 3.□

問 21 問 15 で「3.産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」と回答した方に伺います。あなたの所属病棟の夜勤1勤務帯における配置状況をお答えください。GCUや分娩室等、病棟以外の患者もあわせて受け持っている場合も含めてください。

①夜勤1勤務帯の看護職員数(原則)

1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人以上

② 1 勤務帯の助産師数

日勤帯	1. 常に 2 人以上配置 2. 常に 1 人いる 3. 助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)
夜勤帯(準夜勤)	1. 常に 2 人以上配置 2. 常に 1 人いる 3. 助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)
夜勤帯(深夜勤)	1. 常に 2 人以上配置 2. 常に 1 人いる 3. 助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)

問 22 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5. 病院(産科関連病棟)」「7. 病院(MFICU)」と回答した方に伺います。正常分娩の開始ならびに分娩進行、母子の健康状態の助産診断に関する対応者、助産師の裁量と判断は原則としてどのようなものですか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

	正常分娩に関する助産診断	対応者 (あてはまるもの全て)	助産師の裁量と判断
分娩第 1 期	①産婦の全身状態の評価	1. 医師 2. 助産師	1. 正常経過のため、助産師の裁量と判断で実施 2. 正常結果であっても、あらかじめ連絡相談内容やタイミングを医師と相談の上定めた上で、助産師の裁量と判断で実施 3. 決まっていない
	②分娩開始の診断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	③破水の診断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	④分娩経過の診断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	⑤胎児の健康状態の診断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	⑥内診・内診所見の判断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	⑦CTG モニターの装着・評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
分娩第 2 期	①産婦の全身状態の評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	②分娩経過の診断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	③胎児の健康状態の診断	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	④分娩介助	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
分娩第 3 期	①産婦の全身状態の評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	②胎盤娩出	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	③新生児の全身状態の評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
分娩第 4 期	①産婦の全身状態の評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	②産道裂傷の評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>
	③新生児の全身状態の評価	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>

問 23 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」「5. 病院(産科関連病棟)」「7. 病院(MFICU)」と回答した方に伺います。精神疾患や生活習慣病(糖尿病、高血圧等)等の妊産婦の支援にあたり、昨年度に連携したことがある職種をお答えください。(あてはまるもの全て) 兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

(あなたの職場)	
1. 認定看護師・専門看護師	
2. 他科(精神科や内分泌科等の診療科、外来、地域連携部門等)の看護職(認定看護師・専門看護師以外)	
3. 他科(精神科や内分泌科等の診療科、外来等)の医師	
4. 社会福祉士・精神保健福祉士(メディカルソーシャルワーカー含む)	
5. 公認心理師・臨床心理士	
6. その他	
7. 連携したことはない	
(あなたの職場以外の病院・診療所)	
1. 認定看護師・専門看護師	
2. 他科(精神科や内分泌科等の診療科、外来、地域連携部門等)の看護職(認定看護師・専門看護師以外)	
3. 他科(精神科や内分泌科等の診療科、外来等)の医師	
4. 社会福祉士・精神保健福祉士(メディカルソーシャルワーカー含む)	
5. 公認心理師・臨床心理士	
6. その他	
7. 連携したことはない	
(病院・診療所以外の他施設・職種)	
1. 保健所・保健センターの保健師	2. 保健所・保健センター以外の行政機関
3. 助産所の助産師	4. 訪問看護ステーションの看護職
5. 公認心理師・臨床心理士	6. その他
7. 連携したことはない	

3. 処遇や労働条件について伺います。

問 24 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」～「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。あなたの勤務先では助産師に特化した研修を受講する機会を設けていますか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 25 問 24 で「1. はい」と回答した方に伺います。その研修はどのような研修ですか。(あてはまるもの全て)

1. 院内	2. 院外
-------	-------

問 26 問 24 で「1. はい」と回答した方に伺います。助産師に必要な知識と技術の獲得という点で、研修内容や回数に満足していますか。

1. している 2. していない 3. どちらともいえない

問 27 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」～「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。アドバンス助産師を目指したいと考えていますか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. はい 2. いいえ 3. 既に認証されている

問 28 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」～「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。あなたの勤務先では、助産師の業務・専門性に配慮した手当がありますか。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

1. ある 2. ない

問 29 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」～「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。あなたの現在の夜勤形態をお答えください。(あてはまるもの全て) 兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 三交代制 | 2. 変則三交代制 |
| 3. 二交代制⇒問 30 へ | 4. 変則二交代制⇒問 30 へ |
| 5. 夜勤専従 | 6. 日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制 |
| 7. 夜間のみ分娩時オンコール体制 | 8. 管理夜勤・当直 |
| 9. 夜勤はない(日勤のみ) | |

問 30 問 29 「3. 二交代制」「4. 変則二交代制」と回答した方に伺います。夜勤の1勤務帯の拘束時間をお答えください。※変則二交代制の場合は、最も長い拘束時間をご記入ください。

()時間

問 31 問 29 で「3. 二交代制」「4. 変則二交代制」と回答した方に伺います。夜勤と夜勤の間隔は11時間以上の間隔が空きますか。

1. 必ず空く 2. ほとんど空く 3. 時々空く 4. ほとんど空かない
5. 全く空かない

問 32 問 7 で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」～「9. 病院(5～8 以外)」と回答した方に伺います。2022年8月1ヶ月の夜勤・オンコール回数をお答えください。オンコールの回数は待機のみの場合も含めてください。兼務・兼職、兼業している場合には、最も勤務時間の長い職場についてお答えください。

夜勤回数	()回
オンコール回数	()回

問 33 問7で「1. 分娩取扱診療所(産科関連病棟)」～「9. 病院(5～8以外)」と回答した方に伺います。2022年8月1カ月(または直近1カ月)の超過勤務・時間をお答えください。

- | |
|--|
| 1. 超過勤務あり→ 2022年8月1カ月(または直近1カ月)に実際に行った超過勤務時間()時間()分⇒問34へ |
| 2. 超過勤務なし⇒問35へ |

問 34 問33で「1. 超過勤務あり」と回答した方に伺います。超過勤務の主な理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 助産師が足りないため | 2. 看護師が足りないため |
| 3. 救急や入院患者の緊急対応のため | 4. 手術や外来の診療時間の延長のため |
| 5. 助産録作成のため | 6. 看護記録の作成のため |
| 7. 患者(家族)への説明対応のため | 8. 他職種・他機関との連絡調整のため |
| 9. 院内の研修会・勉強会に出席するため | 10. 部下、後輩等への教育・指導のため |
| 11. 分娩対応のため | 12. 経験を積もうと長く働くため |
| 13. その他 | |

4. 地域における出産ニーズへの対応や女性の健康支援等の活動について伺います。

問 35 昨年度（2021年4月1日～2022年3月31日）にあなたご自身が携わったことのある業務をお答えください。

①助産師外来 ※問7で「10.助産所」と回答した方は③からご回答ください	1. 職場内で実施（外来、両親学級のような集合形式、個別指導等） 2. 職場外で実施（個人への講演依頼、勤務先からの派遣等） 3. 「職場内」または「職場外」、または両方で実施していたが、感染症対応等のため休止中 4. 携わったことはない (あてはまるもの全て)
②院内助産 ※問7で「10.助産所」と回答した方は③からご回答ください	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
③疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
④母乳外来	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑤2週間健診(母児含む)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑥新生児健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑦産婦健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑧新生児訪問	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑨産後ケア事業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑩母乳、育児に関する電話相談	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑪青少年を対象とした出前授業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑫その他	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>

院内助産、助産師外来とは：日本看護協会「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」をご参照ください

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/innaijosan_2018.pdf

産後ケア事業とは：改正母子保健法にうたわれている、出産後1年を経過しない女子及び乳児に対して、心身のケアや育児のサポート等（産後ケア）を市町村による実施または委託で行うもの

問 36 問 35 で「4.携わったことはない」と回答した方に伺います。あなたご自身は今後携わってみたいとお考えですか。ご希望がない場合にはその理由をお答えください。

	今後の実施のご希望	(「2.希望はない」と回答した場合) 希望しない理由 (あてはまるもの全て)
①助産師外来 ※問 7 で「10.助産所」と回答した方は ③からご回答ください	1. 希望がある 2. 希望はない 3. わからない	1. 業務上の余裕がない 2. 必要な知識・経験が不足している 3. 実施しても手当・評価につながらない 4. 家庭の事情 (子育て、介護等) 5. その他
②院内助産 ※問 7 で「10.助産所」と回答した方は ③からご回答ください	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
③疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
④母乳外来	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑤ 2 週間健診 (母児含む)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑥新生児健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑦産婦健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑧新生児訪問	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑨産後ケア事業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑩母乳、育児に関する電話相談	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>
⑪青少年を対象とした出前授業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>

問 37 あなたは助産師出向システムによる出向経験がありますか。

1. ある 2. ない⇒問 38 へ

問 38 問 37 で「2.ない」と回答した方に伺います。今後助産師出向システムを活用して出向したいご希望がありますか。

1. 希望がある 2. 希望はない 3. わからない

問 39 問 38 で「2. 希望はない」と回答した方に伺います。ご希望がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 業務上の余裕がない	2. 必要な知識・経験が不足している
3. 手当・評価につながらない	4. 家庭の事情(子育て、介護等)
5. その他	

問 40 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLOCMip)に掲げる以下のウィメンズヘルス関連業務について、あなたが実施しているものをお答えください。(あてはまるもの全て)

①家族計画の支援	1. 職場内で実施(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等) 2. 職場外で実施(個人への講演依頼、勤務先からの派遣等) 3. 「職場内」または「職場外」、または両方で実施していたが、感染症対応等のため休止中 4. 携わったことはない (あてはまるもの全て)
②不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
③性感染症の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
④月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑤女性に対する暴力予防の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑥予期せぬ妊娠をした女性の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑦多様な性の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑧産前・産後以外のメンタルヘルスケア	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑨産前・産後のメンタルヘルスケア	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑩妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑪妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑫その他	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>

「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLOCMip)については以下をご参照ください

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/CLOCMip_katsuyo.pdf

問 41 問 40 で全て「4. 携わったことはない」と回答した方に伺います。今後ウィメンズヘルス関連業務について、あなたご自身は携わってみたいとお考えですか。

1. 希望がある	2. 希望はない	3. わからない
----------	----------	----------

問 42 問 41 で「2. 希望はない」と回答した方に伺います。ご希望がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 業務上の余裕がない	2. 必要な知識・経験が不足している
3. 手当・評価につながらない	4. 家庭の事情(子育て、介護等)
5. 組織の方針でウィメンズヘルス関連業務自体が実施されない	
6. その他	

5. ガイドラインの活用や今後の働き方について伺います。

問 43 加入している賠償責任保険をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 看護職賠償責任保険(日本看護協会)	2. 助産師賠償責任保険(分娩あり)(日本助産師会)
3. 助産師賠償責任保険(分娩なし)	4. その他
5. 加入している賠償責任保険はない	

問 44 助産に関する以下のガイドライン等をご存知ですか。

①助産業務ガイドライン 2019	1. 読んでおり、実際の業務に活用している 2. 読んだが、活用したことがない 3. 知っているが読んだことはない 4. 知らない・本アンケートで初めて知った
②産婦人科診療ガイドライン産科編 2020	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
②院内助産・助産師外来ガイドライン 2018	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
③2019 年「助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー；CLoCMiP) 活用ガイド	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>

問 45 あなたは今後助産に関わる仕事を続けたい・携わりたいと思いますか。

1. とてもそう思う	2. ややそう思う
3. あまりそう思わない⇒問 46 へ	
4. 全くそう思わない⇒問 46 へ	

問 46 問 45 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と回答された方に伺います。そのようにお考えになる理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 業務負荷が大きい	2. 専門性を活かせない
3. 医療事故に不安がある	4. 専門性に見合った処遇がない
5. 適切な研修・教育が不足	6. 助産以外の看護領域に関心がある
7. 看護以外の仕事に興味がある	8. その他(自由記載)

アンケートはこれで終了です
ご協力誠にありがとうございました

2022年病院看護・助産実態調査 ①フェイス項目(基本情報等)

問1 貴院の概要について伺います。

1) 所在都道府県 [選択は1つ] 北海道 / (中略) / 沖縄県

2) 所在する市区町村の分類 [選択は1つ] 政令指定都市 東京23区 市 町村

3) 設置主体の分類 [選択は1つ]

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 国立(労働者健康安全機構、地域医療機能推進機構を含む) | <input type="radio"/> 公益社団法人、公益財団法人 |
| <input type="radio"/> 公立(一部事務組合、地方独立行政法人、公立大学法人を含む) | <input type="radio"/> 私立学校法人 |
| <input type="radio"/> 日本赤十字社 | <input type="radio"/> 医療法人(社会医療法人を含む) |
| <input type="radio"/> 済生会 | <input type="radio"/> 社会福祉法人 |
| <input type="radio"/> 厚生農業協同組合連合会 | <input type="radio"/> 医療生協 |
| <input type="radio"/> 北海道社会事業協会 | <input type="radio"/> 会社 |
| <input type="radio"/> 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、
共済組合及びその連合会、国民健康保険組合) | <input type="radio"/> その他の法人(一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等) |
| | <input type="radio"/> 個人 |

4) 許可病床数 [整数] 床

5) 入院基本料の届出の有無(10月1日時点) [選択は1つ] 届出あり 届出なし ⇒ 7)へ

6) 入院基本料の届出又は算定状況(10月1日時点で届出をしているもの又は9月の1か月間で算定をしているもの)

[①～⑩のそれぞれで選択は1つずつ(該当しないものは選択不要です)]

※へき地等で複数届出している場合は、点数のもっとも高いものを選択

- | | |
|---------------------|--|
| ① 急性期一般入院基本料 | <input type="radio"/> 入院料1 <input type="radio"/> 入院料2 <input type="radio"/> 入院料3 <input type="radio"/> 入院料4 <input type="radio"/> 入院料5 <input type="radio"/> 入院料6 |
| ② 地域一般入院基本料 | <input type="radio"/> 入院料1 <input type="radio"/> 入院料2 <input type="radio"/> 入院料3 <input type="radio"/> 特別入院基本料 |
| ③ 療養病棟入院基本料 | <input type="radio"/> 入院料1 <input type="radio"/> 入院料2 <input type="radio"/> 特別入院基本料
<input type="radio"/> 療養病棟入院基本料 注11届出(入院料2の所定点数の100分の75を算定) |
| ④ 結核病棟入院基本料 | <input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 <input type="radio"/> 18対1 <input type="radio"/> 20対1 <input type="radio"/> 特別入院基本料 |
| ⑤ 精神病棟入院基本料 | <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 <input type="radio"/> 18対1 <input type="radio"/> 20対1 <input type="radio"/> 特別入院基本料 |
| ⑥ 特定機能病院入院基本料(一般病棟) | <input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 |
| ⑦ 特定機能病院入院基本料(結核病棟) | <input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 |
| ⑧ 特定機能病院入院基本料(精神病棟) | <input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 |
| ⑨ 専門病院入院基本料 | <input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 |
| ⑩ 障害者施設等入院基本料 | <input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 |

7) 特定入院料の届出の有無(10月1日時点) [選択は1つ] 届出あり 届出なし ⇒ 問2へ

8) 特定入院料の届出状況(10月1日時点で届出をしているもの又は9月の1か月間で算定をしているもの)

[あてはまるもの全てを選択]

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 救命救急入院料 | <input type="checkbox"/> 地域包括ケア病棟入院料(入院医療管理料) |
| <input type="checkbox"/> 特定集中治療室管理料 | <input type="checkbox"/> 特殊疾患病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> ハイケアユニット入院医療管理料 | <input type="checkbox"/> 緩和ケア病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 | <input type="checkbox"/> 精神科救急急性期医療入院料 |
| <input type="checkbox"/> 小児特定集中治療室管理料 | <input type="checkbox"/> 精神科急性期治療病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室管理料 | <input type="checkbox"/> 精神科救急・合併症入院料 |
| <input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室管理料 | <input type="checkbox"/> 児童・思春期精神科入院医療管理料 |
| <input type="checkbox"/> 新生児治療回復室入院医療管理料 | <input type="checkbox"/> 精神療養病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> 一類感染症患者入院医療管理料 | <input type="checkbox"/> 認知症治療病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> 特殊疾患入院医療管理料 | <input type="checkbox"/> 特定一般病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> 小児入院医療管理料 | <input type="checkbox"/> 地域移行機能強化病棟入院料 |
| <input type="checkbox"/> 回復期リハビリテーション病棟入院料 | <input type="checkbox"/> 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料 |

2022年病院看護・助産実態調査 ②病院看護実態調査項目

問2 新型コロナウイルス感染症への対応等について伺います。

1)指定状況 [あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 感染症指定医療機関(特定、第一種、第二種、結核含む) <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症重点医療機関 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関 <input type="checkbox"/> いずれにも当てはまらない
--

問3 2021年度の正規雇用の看護職員(看護師・保健師・助産師・准看護師)の採用・退職の状況について伺います。

1)2021年度の看護職員の採用・退職人数等 [整数]

※フルタイム勤務及び短時間勤務の正規雇用職員についてお答えください。(パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等は含みません。)
 ※該当者がいない場合(新卒者の採用がなかった場合等)は、「0」(ゼロ)と記入してください。
 ※同一法人内での人事異動は退職者・既卒採用者に含みません。

	看護師・保健師・助産師 (正規雇用)	准看護師 (正規雇用)
① 2021年度はじめ(2021年4月1日)の看護職員数 ※4月1日付の新規採用者を除いた人数	人	人
② 2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の新卒採用者数	人	人
③ うち、年度末までに退職した新卒採用者数	人	人
④ 2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の既卒採用者数 ※既卒＝新卒ではない看護職経験者	人	人
⑤ うち、年度末までに退職した既卒採用者数	人	人
⑥ 2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の総退職者数 ※定年退職者、新卒・既卒採用者の退職者を含む全退職者数	人	人
⑦ うち、2021年度の定年退職者数	人	人
⑧(⑥)のうち、新型コロナウイルス感染症に関連した退職者数(※)	人	人

※⑧は、新型コロナウイルス感染症対応による労働環境の変化や感染リスク等を理由とした退職者の数

2)2021年度の正規雇用看護職員の総退職者数が、例年と比べて増加又は減少したか、お答えください。[選択は1つ]

とも増加した
 やや増加した
 変わらない
 やや減少した
 とも減少した

【2)で「とも増加した」又は「やや増加した」を選択した方に伺います】

SQ 人数の増加への新型コロナウイルス感染症の影響をお答えください。[選択は1つ]

大いに影響している
 やや影響している
 あまり影響していない
 まったく影響していない
 わからない

【全員の方に伺います】

問4 正規雇用フルタイム勤務の看護職員(看護師・保健師・助産師・准看護師)の労働条件等について伺います。

1)就業規則で定められた、1週間あたりの所定労働時間 [整数]

時間
 分

2)2022年9月の1か月間における、1人あたりの月平均超過勤務時間

※どなたも超過勤務をされなかった場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

時間 [小数点第1位まで]

3)就業規則で定められた週休形態 [選択は1つ]

週休2日(1週に必ず2日の休日)
 月2回週休2日(4週に6日の休日)
 週休1日
 週休2日(4週に8日の休日)
 月1回週休2日(4週に5日の休日)
 その他(具体的に
 月3回週休2日(4週に7日の休日)
 週休1日半(土曜日等の半日勤務)
)

4)就業規則で定められた所定の年間休日総数 日〔整数又は小数点第1位まで〕 ※ 週休、国民の祝日、年末年始休暇、夏季休暇、病院創立記念日など就業規則に定める職員の所定の休日の合計(年次有給休暇、慶弔休暇は含みません)

5)2021年度の年次有給休暇の取得率 %〔小数点第1位まで〕 ※ 取得率＝総取得日数／各人の付与日数の総計(前年度からの繰越日数を含まず)×100

問5 正規雇用看護職員(看護師・保健師・助産師・准看護師)の傷病休暇の取得状況等について伺います。

1)2021年度の、傷病による連続休暇(7日間以上)を取得した正規雇用の看護職員数(フルタイム又は短時間勤務)〔整数〕
 ※該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

- ① 傷病による連続休暇(7日間以上)を取得した正規雇用の看護職員数 …… 人
- ② ①のうち、メンタルヘルス不調者 …………… 人

2)2021年度の、メンタルヘルス不調による連続休暇(7日間以上)を取得した正規雇用の看護職員数は、例年と比べて増加又は減少したか、お答えください。〔選択は1つ〕

とても増加した やや増加した 変わらない やや減少した とても減少した

【2)で「とても増加した」又は「やや増加した」を選択した方に伺います】

SQ 人数の増加への新型コロナウイルス感染症の影響をお答えください。〔選択は1つ〕

大いに影響している やや影響している あまり影響していない まったく影響していない わからない

【全員の方に伺います】

問6 看護職員(看護師・保健師・助産師・准看護師)の夜勤・交代制勤務について伺います。

1)病棟で採用されている夜勤・交代制勤務の勤務形態〔あてはまるもの全てを選択〕

三交代制(変則含む)
 二交代制(夜勤1回あたり16時間未満) → SQ1・SQ2をお答えください
 二交代制(夜勤1回あたり16時間以上) → SQ2をお答えください
 その他〔具体的に 〕

【1)で「二交代制(夜勤1回あたり16時間未満)」を選択した方に伺います】

SQ1 二交代制の具体的な夜勤時間の長さ(16時間未満)をお答えください。〔整数〕

時間 分 ※最も多くの看護職員に適用されている時間

【1)で「二交代制(夜勤1回あたり16時間未満)」又は「二交代制(夜勤1回あたり16時間以上)」を選択した方に伺います】

SQ2 業務開始から終了までが最も長い夜勤帯(二交代制)の勤務時間の長さをお答えください。〔整数〕

時間 分

【全員の方に伺います】

2)もっとも多くの看護職員に適用されている夜勤形態〔選択は1つ〕

※回答入力用のExcel調査票では、1)で選択いただいた勤務形態がプルダウンメニューに表示されます。

三交代制(変則含む)
 二交代制(夜勤1回あたり16時間未満)
 二交代制(夜勤1回あたり16時間以上) その他(具体的に)

【1)で「三交代制」又は「二交代制」を選択した方に伺います】

3)2022年9月の1か月間における1人あたりの月平均夜勤回数(※)〔小数点第1位まで〕

※平均夜勤回数は、夜勤を行わない看護職員(休業中の者を含む)は対象から除いて計算

三交代制(変則含む)	二交代制(変則含む)
<input type="text"/> 回	<input type="text"/> 回

【全員の方に伺います】

問7 貴院の看護師の月額給与について伺います。

1)以下の①・②の給与額〔2022年度実績〕をお答えください。〔整数〕

※ 設定した条件に該当する個人が実在しない場合は、そのような例を想定して記入してください。

※ 条件に該当する個人が実在し、個人によって給与額に幅がある場合はもっとも平均的な例を記入してください。

※ 「税込給与額」には、通勤手当、住宅手当、家族手当、夜勤手当、当直手当、看護職員処遇改善等事業に基づく手当等を含むものとします（時間外手当及び新型コロナウイルス感染症に係る危険手当等は含みません）。

但し新卒者については、家族手当は含まず、単身・民間アパート居住とします。

※ 夜勤をした場合には、当該の月に三交代で夜勤8回(二交代で夜勤4回)をしたものとします。

条件		基本給与額	税込給与総額
①今年度採用の新卒看護師の初任給	高卒+3年課程卒	円	円
	大卒	円	円
②勤続10年、31～32歳、非管理職の看護師の給与		円	円

問8 タスク・シフト/シェア(※)について伺います。

※本設問において「タスク・シフト/シェア」とは「従来、ある職種が担っていた業務を他職種に移管すること又は他職種と共同化すること」という意味を指します。

1)日本看護協会は、本年6月に「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」(下記URL参照)を発行しましたが、ご存じですか。〔選択は1つ〕

https://www.nurse.or.jp/nursing/shift_n_share/guideline/index.html

活用した 内容を読んだ 発行されたことを知っている 発行されたことを知らない

2)貴院におけるタスク・シフト/シェアに関する取り組み状況をお答えください。〔選択は1つ〕

既に取り組みを開始している 取り組みも検討もしていない
 検討には着手したが、まだ取り組んではいない 分からない

【2)で「既に取り組みを開始している」又は「検討には着手したが、まだ取り組んではいない」を選択した方に伺います】

→ SQ1 貴院には、タスク・シフト/シェアに関する組織の方針決定や取組み内容を決定する会議体やチーム等がありますか。〔選択は1つ〕

ある ない どちらともいえない

【SQ1で「ある」を選択した方に伺います】

SQ2 貴院の看護部門は、タスク・シフト/シェアに関する組織の方針決定や取組み内容を決定する会議体やチーム等に参加していますか。〔選択は1つ〕

参加している 参加していない

【全員の方に伺います】

3)貴院における以下の包括的指示(看護師が行うもの)のうち、活用しているものをお答えください。〔あてはまるもの全てを選択〕

- ①手順書 (特定行為研修制度に基づくもの)
- ②クリニカルパス (処置・検査・薬剤の使用を含めた詳細な診療計画)
- ③上記①・②以外のプロトコル (「対応可能な病態の変化の範囲」「実施する薬剤の投与、採血・検査の内容及びその判断の規準」「実施可能な範囲を逸脱した場合の医師への連絡等」を定めているもの)
- ④上記①～③以外の包括的指示 (「約束指示」「事前指示」「臨時指示」等を含む)
- どれも活用していない

4)厚生労働省医政局長通知「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト／シェアの推進について」(医政発0930第16号・令和3年9月30日)において医師から看護師へタスク・シフト／シェアが可能な業務の具体例が示されました。そこで示された以下のうち、貴院において、看護師がタスク・シフト／シェアの一環として行っているものをお選びください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/>	特定行為(38行為21区分)の実施
<input type="checkbox"/>	事前に取り決めたプロトコルに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施
<input type="checkbox"/>	救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコルに基づく採血・検査の実施
<input type="checkbox"/>	血管造影・画像下治療(IVR)の介助
<input type="checkbox"/>	注射、採血、静脈路の確保等
<input type="checkbox"/>	カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為
<input type="checkbox"/>	診察前の情報収集
<input type="checkbox"/>	その他 (タスク・シフト／シェアの一環として行っていることを具体的にお書きください)
<input type="checkbox"/>	いずれも行っていない

問9 2022年9月までの看護職員の処遇改善について伺います。

1)貴院は以下にあてはまりますか。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/>	救急医療管理加算を算定する救急搬送件数200件／年以上の医療機関
<input type="checkbox"/>	三次救急を担う医療機関
<input type="checkbox"/>	いずれにも該当しない

(1)で「救急医療管理加算を算定する救急搬送件数200件／年以上の医療機関」「三次救急を担う医療機関」のいずれか、又は、両方を選択した方に伺います】

2)看護職員等処遇改善事業補助金の申請状況をお答えください。[選択は1つ]

申請した 申請しなかった → 3)へお進みください

【2)で「申請した」を選択した方に伺います】

SQ1 どのように処遇改善を行ったかをお伺いします。

① 処遇改善の内容 [あてはまるもの全てを選択]

<input checked="" type="checkbox"/>	基本給の引上げ	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的に)
<input type="checkbox"/>	決まって支給する手当として支給		
<input type="checkbox"/>	一時金として支給		

【①で「基本給の引上げ」を選択した方に伺います】

(a) 看護職員の平均引き上げ額(月あたり)をお答えください。

円 [整数]

【①で「決まって支給する手当として支給」を選択した方に伺います】

(b) 手当の名目をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/>	勤務手当	<input type="checkbox"/>	特殊勤務手当
<input type="checkbox"/>	役職手当	<input type="checkbox"/>	地域手当
<input type="checkbox"/>	業績手当	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的に)
<input type="checkbox"/>	資格手当		
<input type="checkbox"/>	技能・技術手当		

② 処遇改善の対象範囲 [あてはまるもの全てを選択]

看護職員 看護補助者 コメディカル職種

③ 補助金総額のうち、看護職員の処遇改善に充てられた割合

% [小数点第1位まで]

④ 看護職員の中で処遇改善の対象とならなかった者の有無 [選択は1つ]

いなかった(全員が処遇改善の対象となった) いた

【引き続き、2)で補助金を「申請した」と答えた方に伺います】

⑤ 看護職員の処遇改善の方法 [選択は1つ]

一律(定額) (例:1人4,000円)
 一律(定率) (例:一律1%増)
 それ以外(差を設けた)

【⑤で「それ以外(差を設けた)」を選択した方に伺います】

(c) 看護職員間で差を設ける基準をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 役職・職位	<input type="checkbox"/> 勤務年数
<input type="checkbox"/> 能力・役割・責任	<input type="checkbox"/> 年齢
<input type="checkbox"/> 等級・号俸	<input type="checkbox"/> 雇用形態(非正規・パートタイムなど)
<input type="checkbox"/> コロナ患者対応の実績	<input type="checkbox"/> 勤務形態(短時間勤務など)
<input type="checkbox"/> 専門看護師、認定看護師等の資格	<input type="checkbox"/> その他 (具体的に)
<input type="checkbox"/> 配属部署	

【2)で補助金を「申請しなかった」と答えた方に伺います】

3)補助金を申請しなかった理由をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 手続きが煩雑だから	<input type="checkbox"/> その他 (具体的に)
<input type="checkbox"/> 職員間の不公平感が生じかねないから	
<input type="checkbox"/> 処遇改善の継続性を確保しづらいから	
<input type="checkbox"/> 2022年10月以降の診療報酬上の対応が不透明だったから	<input type="checkbox"/> 特に理由はない
<input type="checkbox"/> 地方議会で条例改正の手続きが間に合わなかったから	

【全員の方に伺います】

問10 看護職員の賃金表等について伺います。

1)看護職員の賃金表がありますか。[選択は1つ]

ある ない

【1)で賃金表が「ある」と答えた方に伺います】

SQ1 賃金表を看護職員に公開していますか。[選択は1つ]

公開している 公開していない

SQ2 賃金表は何を参考に作られていますか。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 国家公務員の医療職俸給表(三)	<input type="checkbox"/> コンサルタント会社等が提案した賃金表
<input type="checkbox"/> 地方公務員の医療職給料表	<input type="checkbox"/> その他 (具体的に)
<input type="checkbox"/> 近隣の病院の相場や賃金表	
<input type="checkbox"/> 地域の医師会による賃金表	<input type="checkbox"/> わからない・何も参考にしていない

【SQ2で「国家公務員の医療職俸給表(三)」を選択した方に伺います】

SQ3 国家公務員の医療職俸給表(三)のどの部分を参考としましたか。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 医療職俸給表(三)をそのまま使用
<input type="checkbox"/> 等級数
<input type="checkbox"/> 号俸数
<input type="checkbox"/> 等級と職位の組み合わせ
<input type="checkbox"/> 各等級の人数割合
<input type="checkbox"/> 昇給幅
<input type="checkbox"/> その他 (具体的に)

【SQ2で「地方公務員の医療職給料表」を選択した方に伺います】

SQ4 地方公務員の医療職給料表のどの部分を参考としましたか。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 医療職給料表をそのまま使用
<input type="checkbox"/> 等級数
<input type="checkbox"/> 号俸数
<input type="checkbox"/> 等級と職位の組み合わせ
<input type="checkbox"/> 各等級の人数割合
<input type="checkbox"/> 昇給幅
<input type="checkbox"/> その他 (具体的に)

【全員の方に伺います】

2)看護職員の賃金の決定にどのような基準を用いていますか。[あてはまるもの全てを選択]

年功を基準としている(年齢・勤続年数等を基準として賃金を決定)
 能力を基準としている(職務遂行能力のレベル及びその伸長等を基準として賃金を決定)
 職務を基準としている(業務、役割等を基準として賃金を決定)
 その他 (具体的に)

問11 専門看護師・認定看護師について伺います。

1)貴院では専門看護師を雇用していますか。[選択は1つ]

雇用している 雇用していない

【1)で専門看護師を「雇用している」と答えた方に伺います】

→ SQ1 専門看護師(非管理職)の基本給をどのように評価していますか。[選択は1つ]

非管理職のスタッフと同じ賃金表で等級を上げる評価をしている スタッフより上位の職位(主任や看護師長等)の賃金表で評価をしている
 非管理職のスタッフと同じ賃金表で号俸を上げる評価をしている
 賞与の算定において評価している その他(具体的に)
 賃金表では特別な評価をしていない 専門看護師(非管理職)はいない

SQ2 毎月支払われる専門看護師(非管理職)の手当てがありますか。[選択は1つ]

ある ない 専門看護師(非管理職)はいない

【SQ2で専門看護師(非管理職)の手当てが「ある」と答えた方に伺います】

→ SQ3 毎月支払われる専門看護師(非管理職)の手当の金額をお答えください。

※手当額が一律でない場合は、実際に支払われている最も高い手当額をご回答ください。

月額 円 [整数]

【全員の方に伺います】

2)貴院では認定看護師を雇用していますか。[選択は1つ]

雇用している 雇用していない

【2)で認定看護師を「雇用している」と答えた方に伺います】

→ SQ1 認定看護師(非管理職)の基本給をどのように評価していますか。[選択は1つ]

非管理職のスタッフと同じ賃金表で等級を上げる評価をしている スタッフより上位の職位(主任や看護師長等)の賃金表で評価をしている
 非管理職のスタッフと同じ賃金表で号俸を上げる評価をしている
 賞与の算定において評価している その他(具体的に)
 賃金表では特別な評価をしていない 認定看護師(非管理職)はいない

SQ2 毎月支払われる認定看護師(非管理職)の手当てがありますか。[選択は1つ]

ある ない 認定看護師(非管理職)はいない

【SQ2で認定看護師(非管理職)の手当てが「ある」と答えた方に伺います】

→ SQ3 毎月支払われる認定看護師(非管理職)の手当の金額をお答えください。

※手当額が一律でない場合は、実際に支払われている最も高い手当額をご回答ください。

月額 円 [整数]

【全員の方に伺います】

問12 日本看護協会は、看護職員の賃金について、働くことへの評価の仕組みやこれと連動する賃金制度のあり方についての考え方をまとめた「看護職の賃金モデル」を公表(2016年)し、これをわかりやすく解説した小冊子『看護職のキャリアと連動した賃金モデル～多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇～』(2018年)を発行しています。

1)この「看護職の賃金モデル」の内容をご存知ですか。[選択は1つ]

詳しく知っている ある程度知っている 聞いたことはあるが内容は知らない 聞いたことがない

2)この「看護職の賃金モデル」の骨格である「複線型等級制度」(複数のキャリアのコースに、能力や職務、役割等に応じた等級区分を組み合わせた賃金制度)もしくは類似した制度を導入されていますか。[選択は1つ]

導入している 導入を検討している 導入していない

問13 看護職員の夜勤報酬について伺います。

1) 貴院では看護職員の夜勤負担に応じた評価処遇の仕組み(夜勤手当を除く)がありますか。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 夜勤手当とは別の手当の支給	<input type="checkbox"/> 昇給の査定に際して評価する
<input type="checkbox"/> 一定の夜勤回数を超えた場合に手当を増額	<input type="checkbox"/> その他〔具体的に〕
<input type="checkbox"/> 賞与算定に際して評価する	<input type="checkbox"/> いずれも行っていない

問14 看護職員の夜勤負担の軽減策等について伺います。

1) 勤務計画表作成に関する基準や指針・ガイドライン等について伺います。

院内で夜勤・交代制勤務を行う部署に共通の、基本的な勤務計画表作成(編成)ルールがありますか。[選択は1つ]

<input type="radio"/> 院内ルールがあり、明文化されている
<input type="radio"/> 院内ルールがあるが、明文化されていない(一部明文化している部署がある場合を含む)
<input type="radio"/> 院内ルールはなく、各部署に任されている

【1)で「院内ルールがある」と答えた方に伺います(明文化の有無にかかわらず伺います)】

→ SQ1 夜勤負担の軽減に向けて以下のような取り組みは行っていますか。[選択はそれぞれ1つずつ]

① (原則として)同じ週に日勤と夜勤を混在させないようにする

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

② 1か月あたりの所定休日を10日以上とする

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

③ 連続夜勤の後は2連休(明け+2連休)

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

④ 夜勤に入る前には完全な1日以上の日がある

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

⑤ シフトの作成は1か月単位ではなく、3か月以上を単位として組む

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

⑥ シフトは2~3か月前に公表される

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

⑦ 勤務拘束時間は13時間以内とする

<input type="radio"/> 実施している	<input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> どちらともいえない
------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

【全員の方に伺います】

2) 夜勤中の仮眠の環境についてお答えください。[選択は1つ]

<input type="radio"/> 仮眠専用の個室が必要数ある	<input type="radio"/> 仮眠専用スペースはないが横になれる場所がある
<input type="radio"/> 仮眠専用の個室はあるが必要数はない	<input type="radio"/> 仮眠できる個室や専用スペース、場所はない
<input type="radio"/> 個室はないが仮眠専用スペースがある	<input type="radio"/> その他(具体的に)

3) 勤務表作成のための支援ソフトウェアの利用状況について伺います。

① 利用の有無 [選択は1つ]

<input type="radio"/> 利用している	<input checked="" type="radio"/> 利用していない
------------------------------	--

【①で「利用していない」を選択した方に伺います】

② 今後の利用予定 [選択は1つ]

<input type="radio"/> 利用の予定がある	<input type="radio"/> 利用の予定はない	<input type="radio"/> わからない
--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

【①で「利用している」を選択した方に伺います】

③ 勤務表作成の業務負担軽減に役立っているか [選択は1つ]

<input type="radio"/> 役立っている	<input type="radio"/> 少し役立っている	<input type="radio"/> どちらともいえない	<input type="radio"/> 役立っていない
------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------

【全員の方に伺います】

問15 看護職員(正規雇用フルタイム)の2021年度の育児休業取得率(男女別)について伺います。

1) 女性看護職員(正規雇用フルタイム)の育児休業取得率(2021年度)をお答えください。

女性看護職員(正規雇用フルタイム)の育児休業取得率(2021年度) % [小数点第1位まで]

2) 男性看護職員(正規雇用フルタイム)はいますか。いる場合は、男性の育児休業取得率(2021年度)もお答えください。

① 男性看護職員(正規雇用フルタイム)の有無 いる いない → 問16へお進みください

② 男性看護職員(正規雇用フルタイム)の育児休業取得率(2021年度) % [小数点第1位まで]

問16 看護職員の不妊治療と仕事の両立について伺います。

1) 貴院には、不妊治療を受ける看護職員が利用可能な、仕事との両立のための制度がありますか。[選択は1つ]

ある ない どちらともいえない

【1)で「ある」を選択した方に伺います】

SQ1 2021年度に貴院にて制度を利用した実績はありますか。[選択は1つ]

ある ない

【全員の方に伺います】

問17 貴院における感染防止に係る体制、加算算定状況、地域支援状況等について伺います。

1) 貴院の感染症看護専門看護師及び感染管理認定看護師の有無及び人数をお答えください。

① 配置している感染症看護専門看護師及び感染管理認定看護師 [あてはまるもの全てを選択]	【配置している専門看護師・認定看護師について】	
	② 該当看護師の人数 [整数]	
	全体	うち、感染関係専従 (いない場合は「0」と記入)
<input type="checkbox"/> 感染症看護専門看護師	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
<input type="checkbox"/> 感染管理認定看護師	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
<input type="checkbox"/> いずれも配置していない		

2) 感染対策向上加算の算定状況及び関連加算の算定状況をお答えください。

① 算定している感染対策向上加算 [選択は1つ]

感染対策向上加算1 感染対策向上加算2 感染対策向上加算3 どれも算定していない

【①で感染対策向上加算「1」を選択した方に伺います】

② 指導強化加算の算定状況 [選択は1つ] 算定あり 算定なし

【②で指導強化加算「算定あり」を選択した方に伺います】

SQ1 「感染対策向上加算2又は3を算定している病院」又は「外来感染対策向上加算を算定している診療所」への支援状況をお伺いします。直近の6か月(2022年4月～9月)に支援した施設数と支援延べ回数をご記入ください。[整数]

支援した施設数 施設

支援延べ回数 回

【①で感染対策向上加算「2」又は「3」を選択した方に伺います】

③ 連携強化加算の算定状況 [選択は1つ] 算定あり 算定なし

④ サーベイランス強化加算の算定状況 [選択は1つ] 算定あり 算定なし

【2】①で感染対策向上加算「1」～「3」を選択した方に伺います】

3) 自施設以外の医療機関、訪問看護ステーション、介護施設等(病院併設のものを含む)に赴き、院内感染対策等に関する助言を行った回数等についてお伺いします。

- ① 以下のうち、直近の6か月(2022年4月～9月)に赴いて助言を行った施設をお答えください。
- ② 赴いて助言を行った対象施設数と訪問延べ回数をご記入ください。

① 赴いて助言を行った施設 〔あてはまるもの全てを選択〕	【赴いて助言を行った施設について】	
	② 赴いて助言を行った実施状況〔整数〕	
	対象施設数	訪問延べ回数
<input type="checkbox"/> 感染対策向上加算や外来感染対策向上加算を算定していない医療機関	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 介護医療院	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 介護老人保健施設	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 認知症グループホーム	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> 通所介護(デイサービス)	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> ケア付き住宅 ※有料老人ホーム、軽費老人ホーム、 養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅など	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> その他〔具体的に〕	施設	延べ 回
<input type="checkbox"/> いずれにも行っていない		

【全員の方に伺います】

問18 患者の転院・退院等に伴う看護情報の提供についてお伺いします。

1) 令和4年度診療報酬改定により、退院時共同指導料を算定する際の参考となる「様式50」(他施設へ転院する患者や退院後在宅医療に移行する患者に対して作成する、いわゆる看護情報提供書)が見直されました。このことをご存じでしたか。〔選択は1つ〕

※様式50「看護及び栄養管理等に関する情報」(以下のURL参照)

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/housyu/pdf/2022/form50_t2h4pat.pdf

- 様式50が見直されたこと及び新様式の内容を知っている
- 様式50が見直されたことは知っているが、新様式の内容は見たことがない
- 様式50が見直されたことを知らなかった
- 様式50自体を知らなかった

【1)で「様式50が見直されたこと及び新様式の内容を知っている」を選択した方に伺います】

SQ1「様式50」の見直しに伴う、貴院の今後の対応についてお答えください。〔選択は1つ〕

- 看護情報提供書として、「様式50」を活用する予定(「様式50」を基本に、追加で必要な項目は補足する場合も含む)
- 今後、「様式50」を活用するか否か、検討中
- 改定前から、「様式50」の内容と同等だったため、現行の様式を見直す必要がない
- 同等の様式ではないが、見直す予定は無い
- 分からない

【全員の方に伺います】

問19 外来看護職員の研修・人材育成等について伺います。

1) 貴院には外来部門(救急外来を除く)がありますか。〔選択は1つ〕

※外来分離(病院から外来機能を切り離し、病院とは別に開設した診療所で外来患者には対応する等)をしている場合は、「ない」をご選択ください。

- ある → 2)へお進みください
- ない → 問20へお進みください

【1)で外来部門が「ある」と答えた方に伺います】

2) 外来部門の看護職員を対象とした研修として、どのような研修があるとよいと思いますか。

① 希望する研修内容 [あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/>	1. 地域包括ケアにおける外来看護に期待される役割について
<input type="checkbox"/>	2. 外来看護師に必要な療養支援の知識・スキルについて (患者のスクリーニング、アセスメント方法、セルフケア向上のための支援、症状マネジメント方法など)
<input type="checkbox"/>	3. 電話やICTを活用した、外来患者への遠隔での支援方法について
<input type="checkbox"/>	4. 患者・家族の精神的支援、意思決定支援について
<input type="checkbox"/>	5. 地域の他施設や多職種と連携した患者の療養支援の方法、連携のポイント
<input type="checkbox"/>	6. 病棟と連携した患者の在宅復帰支援の方法、連携のポイント
<input type="checkbox"/>	7. 外来看護に係る好事例・困難事例への対応について
<input type="checkbox"/>	8. 外来看護に係る事例検討(カンファレンス)の効果的な進め方について
<input type="checkbox"/>	9. 外来看護管理者に期待される役割と必要な知識・スキルについて
<input type="checkbox"/>	10. 外来看護に係る診療報酬について
<input type="checkbox"/>	11. 外来看護の質評価の方法について
<input type="checkbox"/>	12. その他 [具体的に

② 上記①のうち、特に必要だと考えるもの [選択は3つまで]

--	--	--

③ 研修の形態 [選択は1つ]

<input type="radio"/> 集合研修	<input type="radio"/> 研修内容に応じて集合研修とオンライン(e-learning)による研修
<input type="radio"/> オンライン(e-learning)による研修	<input type="radio"/> を組み合わせた研修

④ 研修の所要時間 [選択は1つ]

<input type="radio"/> 半日(3時間程度)	<input type="radio"/> 1日(6時間程度)	<input type="radio"/> 2~3日	<input type="radio"/> 1~2週間
---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	-----------------------------

【全員の方に伺います】

問20 貴院における訪問看護の実施状況について伺います。

1) 貴院では、訪問看護部門・訪問看護ステーションを設置・併設(※)していますか。 [選択は1つ]

※「併設」とは、同一敷地内又は隣接する敷地内(公道をはさんで隣接している場合を含む)に開設していることを言う。

<input type="radio"/> 院内に訪問看護部門(訪問看護室)がある	<input type="radio"/> 訪問看護部門・訪問看護ステーションの設置・併設はない
<input type="radio"/> 病院に訪問看護ステーションを併設している	
<input type="radio"/> 併設ではないが同一・系列法人に訪問看護ステーションがある	

【1)で「訪問看護部門(訪問看護室)がある」又は「訪問看護ステーションを併設している」を選択した方に伺います】

2) 訪問看護部門及び併設訪問看護ステーションにおける、看護職員の人数(常勤換算人数)と、そのうち専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了看護師の人数(常勤換算人数)をお答えください。専従ではなく、兼務の場合も、常勤換算の上、人数に含めてください。

常勤換算人数 = 従事者の1週間の勤務時間(所定労働時間数)(残業は除く)
 ÷ 常勤専従の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)
 (1週間の時間数が32時間を下回る場合は、分母を32時間としてください)

常勤換算人数
(管理職を含む)
[小数点第1位まで]

① 看護職員数	人
② ①のうち専門看護師(認定看護師の資格も取得している者を含む)	人
うち、特定行為研修修了者	人
③ ①のうち認定看護師(専門看護師の資格も取得している者は除く)	人
うち、特定行為研修修了者	人
④ ①のうち特定行為研修修了者(専門看護師、認定看護師を除く)	人

【2)で訪問看護部門及び併設訪問看護ステーションに特定行為研修修了者が在籍していると答えた方に伺います】

SQ1 特定行為研修を修了した看護師が受講した指定研修機関をお答えください。 [あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 同一・系列法人の医療機関(併設含む)	<input type="checkbox"/> 医療関係団体
<input type="checkbox"/> 他の医療機関	<input type="checkbox"/> その他の研修機関
<input type="checkbox"/> 日本看護協会	

3)9月の1か月間に訪問看護を行った患者の数についてお答えください。〔整数〕

※該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

① 訪問看護を行った患者(延べ人数)	人
② ①のうち、緊急訪問(延べ人数)	人
③ ①のうち、ターミナルケア加算を算定した患者(実人数)	人
④ ①のうち、小児患者(実人数)	人
⑤ ①のうち、精神患者(実人数)	人
⑥ ①のうち、特掲診療料の施設基準等別表7に該当する者	人
⑦ ①のうち、特掲診療料の施設基準等別表8に該当する者	人

4)ターミナルケアについて伺います。

訪問看護部門又は併設訪問看護ステーションにおける在宅看取りの実施状況をお答えください。〔選択は1つ〕

実施している 実施していない

【4)で「実施している」を選択した方に伺います】

SQ1 令和3年度の在宅看取りを行った患者数をお答えください。

死亡診断を目的として医療機関に搬送し、24時間以内に死亡が確認された患者の人数を含みます。

令和3年度 人〔整数〕 ※該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

SQ2 在宅のターミナル患者のうち、病態変化や本人・家族等の希望により、在宅ではなく医療機関での看取りとなった患者数をお答えください。

令和3年度 人〔整数〕 ※該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

【1)で「訪問看護ステーションを併設している」を選択した方に伺います】

5)併設訪問看護ステーションについて伺います。

① 機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況及び今後の予定〔それぞれ選択は1つずつ〕

機能強化型1	(a) 現在の算定状況 …	<input type="radio"/> 算定している <input type="radio"/> 算定していない
	(b) 今後の予定 ……	<input type="radio"/> 算定する <input type="radio"/> 算定しない <input type="radio"/> 未定
機能強化型2	(a) 現在の算定状況 …	<input type="radio"/> 算定している <input type="radio"/> 算定していない
	(b) 今後の予定 ……	<input type="radio"/> 算定する <input type="radio"/> 算定しない <input type="radio"/> 未定
機能強化型3	(a) 現在の算定状況 …	<input type="radio"/> 算定している <input type="radio"/> 算定していない
	(b) 今後の予定 ……	<input type="radio"/> 算定する <input type="radio"/> 算定しない <input type="radio"/> 未定

② 貴院以外の医療機関からの訪問看護指示書に対応していますか。〔選択は1つ〕

対応している 対応していない

③ 貴院と併設訪問看護ステーションとの関係についてあてはまるものをお選びください。〔あてはまるもの全てを選択〕

- 病院と訪問看護ステーションの間で人の異動を行っている
※短期間(1~3か月程度)の交流は含まない
- 病院と訪問看護ステーションの間で短期間(1~3か月程度)の人事交流を行っている
- 病院の看護職員が訪問看護ステーションで訪問看護を学ぶ機会(研修・教育等)を設けている
- 訪問看護ステーションの看護職員が病院で医療・看護技術等を学ぶ機会(研修・教育等)を設けている
- 病院の看護職員(認定看護師・専門看護師・特定行為研修修了看護師も含む)と訪問看護ステーションの看護職員で患者宅に同行訪問している
- 病院に所属する認定看護師・専門看護師・特定行為研修修了看護師が訪問看護ステーションへの支援を行っている
- いずれにもあてはまらない

④ 貴院及び併設訪問看護ステーションと、地域の他の訪問看護ステーションとの関係について伺います。地域の訪問看護ステーションに対して、以下のことを行っていますか。〔あてはまるもの全てを選択〕

- 人事交流(出向等)
- 専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師等による訪問・支援
- 看護職員の研修・教育
- 電話・メール・SNS等による相談への対応
- いずれも行っていない

【全員の方に伺います】※この質問は訪問看護部門又は併設訪問看護ステーションの有無によって質問文が変わります。

6)訪問看護に地域で求められる機能について伺います。

【訪問看護部門又は併設訪問看護ステーションがある方】

今後、貴院の訪問看護部門又は併設訪問看護ステーションが、地域のニーズに対応して訪問看護の機能を強化するとして、地域でどのような機能が求められるかを選択ください。[あてはまるもの全てを選択]

【訪問看護部門や併設訪問看護ステーションが無い方】

今後、貴院が地域のニーズに対応して、訪問看護部門又は併設訪問看護ステーションを作るとして、地域でどのような機能が求められるかを選択ください。[あてはまるもの全てを選択]

分類	地域で求められる機能
在宅への訪問看護機能	<input type="checkbox"/> 24時間対応 <input type="checkbox"/> 小児患者への訪問 <input type="checkbox"/> ターミナル患者への訪問 <input type="checkbox"/> 重症患者(小児・ターミナル患者以外)への訪問 <input type="checkbox"/> 在宅看取り <input type="checkbox"/> 在宅で特定行為の実施が必要な患者への訪問
在宅以外への訪問看護機能	<input type="checkbox"/> 地域の介護施設(特養、老健等)の入所者等への訪問 <input type="checkbox"/> 地域の介護施設以外の施設(学校、児童福祉施設等)の利用者等への訪問
その他の機能	<input type="checkbox"/> 専門性の高い看護師(認定看護師・専門看護師・特定行為研修修了看護師)の地域への派遣による支援 <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談対応・情報提供
	<input type="checkbox"/> いずれにもあてはまらない

問21 貴院の分娩取り扱い状況等について伺います。

1)貴院は分娩取り扱い施設ですか。[選択は1つ]

はい いいえ → SQ1へお進みください

【1)で「いいえ」を選択した方に伺います】

SQ1 分娩取り扱いの経緯をお答えください。取り扱いを中止した場合は、時期もお答えください。[選択は1つ]

もともと分娩取り扱いはしていない 分娩を取り扱っていたが中止した → SQ2へ

【SQ1で「分娩を取り扱っていたが中止した」を選択した方に伺います】

SQ2 中止した時期をお答えください。[選択は1つ]

5年以上前 最近5年の間 → SQ3へ わからない

【SQ2で「最近5年の間」に分娩取り扱いを中止したと答えた方に伺います】

SQ3 分娩取り扱い中止に伴い、貴院周辺地域の出産体制はどのように変化しましたか。[あてはまるもの全てを選択]

オープンシステム・セミオープンシステム
 妊婦健診等は自施設で実施し、分娩は分娩取り扱い施設で実施
 他の分娩取り扱い施設に集約
 その他 { 具体的に _____ }

SQ4 分娩取り扱い中止に伴い、貴院の助産師の就業状況はどのように変化しましたか。[あてはまるもの全てを選択]

病院で分娩以外の助産師業務を担当(ウイメンズヘルスや助産師外来等)
 貴院で助産業務以外の業務を担当
 退職(分娩を取り扱っている病院又は診療所に転職等)
 その他 { 具体的に _____ }

看護業務の効率化や、タスク・シフト/シェアの推進、外来看護の機能強化等について、日本看護協会へのご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

2022年病院看護・助産実態調査 ③助産実態調査項目

■ **はじめにお読みください**

この調査票は、下記に該当する方にご回答をお願いするものです。

調査票②病院看護実態調査項目 問21「貴院は分娩取り扱い施設ですか」に「はい」とお答えの方

該当する方におかれましては、お手数をおかけしますがご回答をお願いいたします。

他方、上記に該当しない方は、調査票①と調査票②を調査専用サイトよりご送信ください。

1. 貴院の分娩取り扱い状況について伺います。

問22 分娩取り扱いの経緯についてお答えください。[選択は1つ]

- 従来から分娩対応している 従来分娩対応していなかったが直近5年間で新たに対応しはじめた

【問22で「従来から分娩対応している」を選択した方に伺います】

問23 今後の分娩取り扱い予定についてお答えください。[選択は1つ]

- 分娩取り扱い継続予定 分娩取り扱い中止予定 検討中

【全員の方に伺います】

問24 周産期に係る病院機能をお答えください。[選択は1つ]

- 総合周産期母子医療センター 地域周産期母子医療センター その他の病院

問25 周産期に係る加算の算定状況についてお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 入退院支援加算1 | <input type="checkbox"/> ハイリスク妊娠管理加算 |
| <input type="checkbox"/> 入退院支援加算2 | <input type="checkbox"/> ハイリスク分娩管理加算 |
| <input type="checkbox"/> 入退院支援加算3 | <input type="checkbox"/> ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰ |
| <input type="checkbox"/> 乳腺炎重症化予防ケア・指導料 | <input type="checkbox"/> ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅱ |
| <input type="checkbox"/> ハイリスク妊産婦連携指導料1 | <input type="checkbox"/> 地域連携分娩管理加算 |
| <input type="checkbox"/> ハイリスク妊産婦連携指導料2 | <input type="checkbox"/> 妊産婦緊急搬送入院加算 |
| | <input type="checkbox"/> いずれも算定していない |

【問25で「入退院支援加算3」を選択した方に伺います】

問26 NICUに助産師を配置していますか。[選択は1つ]

- している していない

【全員の方に伺います】

問27 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の貴院の分娩取り扱い件数をお答えください。[整数]

件

問28 2019年から現在までの3年間の、貴院の分娩取り扱い件数の変化をお答えください。[選択は1つ]

- 増加している 変わらない 減少している

問29 貴院の助産師数・産科医師数についてお答えください。[整数]

※ 常勤、非常勤の合計をお答えください。

※ 実人数をお答えください。

※ 該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

助産師として働いている人数	人
うち、周産期関連(NICU/MFICU/GCU、産科外来等含む)に配属されている人数	人
うち、分娩の直接介助を行っている人数	人
うち、周産期関連以外の部署(婦人科、救急、看護部等)に配属されている人数	人
産科医師数(婦人科医師、婦人科のみを担当している産科医師は除きます)	人

問30 周産期領域に特化した災害発生時の対策マニュアルがありますか。[選択は1つ]

ある ない 作成中

問31 陰圧機能のある分娩室を設けていますか。[選択は1つ]

設けている 設けていない

問32 感染制御チームに助産師を配置または、感染制御チームの検討メンバーに参加していますか。[選択は1つ]

はい いいえ

【引き続き全員の方に伺います】

2. 新型コロナウイルス感染症関連の分娩について伺います。

問33 新型コロナウイルス感染症の国内での発生(2020年3月頃)から現在までの間に、新型コロナウイルス感染症に感染した患者の出産を受け入れましたか。[選択は1つ]

受け入れた 受け入れたことはない

【問33で「受け入れた」を選択した方に伺います】

問34 新型コロナウイルス感染症の国内での発生(2020年3月頃)から現在までの間における、新型コロナウイルス感染症に感染した患者の分娩時間の短縮を目的とした帝王切開の実施の有無についてお答えください。[選択は1つ]

実施している 実施していない

【全員の方に伺います】

3. 産科関連病棟の状況について伺います。

問35 産科外来と産科関連病棟の助産師配置は一元管理ですか。[選択は1つ]

一元管理である 産科外来と病棟の助産師配置は別である

問36 貴院の産科関連病棟は以下のどれにあてはまりますか。
NICU、MFICU、GCU、産科外来は除いてお考えください。[あてはまるものを全てを選択]

産科単科病棟
 産科と婦人科のみの混合病棟
 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟

【問37～問48は、問36で「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」を選択された方に伺います】

※問36で「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」を選択していない方は、問49にお進みください。

4. 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の状況について伺います。

産婦人科以外の診療科も含む混合病棟が複数ある場合には、
2022年10月1日時点で最も産科患者の入院数の多い病棟についてお答えください。

問37 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の病床数・入院者数をお答えください。[整数]

産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の病床数 ※ 複数ある場合には10月1日時点で最も産科患者の入院数の多い病棟について		床
うち、10月1日時点での産科患者の入院者数 ※ 規定の有無に関わらずお答えください。		人

問38 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の看護要員数(常勤換算)をお答えください。[小数点第1位まで]

※ 該当する病棟が複数ある場合には、10月1日時点で最も産科患者の入院数の多い病棟についてお答えください。

※ 該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

助産師 (産科関連業務を行う)		人
看護師		人
准看護師		人
看護補助者		人
その他 (保育士等)		人

問39 産科と他科患者の受け持ちについて、最も主なものをお答えください。[選択は1つ]

常に他科診療科の患者は受け持たない(産科患者のみ受け持つ)

同時に受け持つ

分娩介助の時のみ、他科の患者は受け持たない

分娩第1期の患者が入院した時点で、他科の患者は受け持たない

その他(具体的に: _____)

問40 正常新生児と他科患者の受け持ちについて、最も主なものをお答えください。[選択は1つ]

常に受け持たない 同時に受け持つことがある 常に同時に受け持っている

問41 産科区域の特定をしていますか。[選択は1つ]

している していない

【問41で産科区域の特定を「していない」と答えた方に伺います】

問42 産科関連病棟における男性患者受け入れについて伺います。

(1) 産科関連病棟に男性患者が入院することがありますか。[選択は1つ]

男性患者を受け入れていない

男性患者を受け入れている

原則として受け入れないが、男性患者が入院する場合もある

【(1)で「男性患者を受け入れている」又は「原則として受け入れないが、男性患者が入院する場合もある」を選択した方に伺います】

(2) 産科関連病棟に男性患者が入院する場合、妊産婦と同室になることがありますか。[選択は1つ]

同室になることはない 原則としてないが、同室になる場合もある 同室になる

【引き続き、「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」の状況について伺います】

問43 病棟で看取りの実施がありますか。[選択は1つ]

ある ない

問44 助産師の夜勤形態をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 三交代制	<input type="checkbox"/> 日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制
<input type="checkbox"/> 変則三交代制	<input type="checkbox"/> 夜間のみ分娩時オンコール体制
<input type="checkbox"/> 二交代制	<input type="checkbox"/> 管理夜勤・当直
<input type="checkbox"/> 変則二交代制	<input type="checkbox"/> 夜勤はない(日勤のみ)
<input type="checkbox"/> 夜勤専従	

問45 1勤務帯における配置状況をお答えください。

① 夜勤1勤務帯の看護職員数(原則) [選択は1つ]

2人 3人 4人 5人以上

② 1勤務帯の助産師数 [選択はそれぞれ1つずつ]

日勤帯	<input type="radio"/> 常に2人以上配置	<input type="radio"/> 助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)
	<input type="radio"/> 常に1人いる	
夜勤帯(準夜勤)	<input type="radio"/> 常に2人以上配置	<input type="radio"/> 助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)
	<input type="radio"/> 常に1人いる	
夜勤帯(深夜勤)	<input type="radio"/> 常に2人以上配置	<input type="radio"/> 助産師が病棟に不在の場合がある (オンコール体制含む)
	<input type="radio"/> 常に1人いる	

問46 現在の病棟の看護管理者の職種についてお答えください。[選択は1つ]

看護師 助産師

問47 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の正常分娩について、対応者をお答えください。

	対応者 [各項目についてあてはまるもの全てを選択]		
妊娠 期	①妊婦へのケア(切迫流産・早産等)	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	②電話での来院指示	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	③分娩開始時の入院判断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
分娩 第 1 期	①産婦の全身状態の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	②分娩開始の診断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	③破水の診断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	④分娩経過の診断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	⑤胎児の健康状態の診断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	⑥内診・内診所見の判断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	⑦CTGモニターの装着・評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
分娩 第 2 期	①産婦の全身状態の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	②分娩経過の診断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	③胎児の健康状態の診断	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	④分娩介助	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
分娩 第 3 期	①産婦の全身状態の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	②胎盤娩出	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	③新生児の全身状態の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
分娩 第 4 期	①産婦の全身状態の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	②産道裂傷の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
	③新生児の全身状態の評価	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師
産 褥 期	①褥婦へのケア	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> その他
	②正常新生児のケア	<input type="checkbox"/> 産科医	<input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> その他

問48 産科混合病棟における正常分娩の安全な実施に向け工夫していることは何ですか。[あてはまるもの全てを選択]

- 分娩対応時の助産師と看護師の役割分担をあらかじめ定めている
- 助産師が分娩対応に入る際の分娩室と病棟の連絡方法や内容を定めている
- 病棟師長や主任、夜勤のリーダーに混合病棟におけるケアの注意点や助産師の役割について教育している
- 分娩対応時の他病棟からの応援体制を定めている
- その他 { 具体的に _____ }
- 特にない

【全員の方に伺います】

5. 助産師と看護師の業務範囲等の状況について伺います。

問49 助産師と看護師の業務範囲の区分について伺います。また、助産師の資格名称を明示していますか。
[選択はそれぞれ1つずつ]

- ① 保健師助産師看護師法における看護師と助産師の資格や業の違いを踏まえ、助産師の業務を看護師と区分・役割分担している

実施している 実施していない どちらともいえない

- ② 助産師と看護師の役割と責任を明文化している

実施している 実施していない どちらともいえない

- ③ 助産師の資格名称を明示している(名札、ユニフォーム等)

実施している 実施していない

【引き続き全員の方に伺います】

6. 助産師の地域における活用について伺います。

問50 院内助産を明示していますか。[選択は1つ]

院内助産とは：日本看護協会「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」をご参照ください。

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/innaijosan_2018.pdf

患者に明示した上で実施している
 患者に明示はしていないが院内助産の実施はしている
 院内助産を実施していない

【問50で「患者に明示した上で実施している」又は「患者に明示はしていないが院内助産の実施はしている」を選択した方に伺います】

問51 院内助産に携わる助産師数(常勤換算)についてお答えください。

※ 常勤換算数をお答えください。

担当助産師数 人 [小数点第1位まで]

問52 実施のための財源をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

自治体からの委託・補助 その他
 病院の予算 [具体的に]

【問50で「院内助産を実施していない」を選択した方に伺います】

問53 今後の実施予定はありますか。[選択は1つ]

実施の予定がある 検討中 実施の予定はない

【問53で「実施の予定はない」を選択した方に伺います】

問54 実施の予定がない理由をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

助産師数が不足しているため 医師との合意が得られない
 助産師の知識・経験が不足しているため 助産師に必要な研修・教育がないため
 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため ハイリスク分娩が多いため
 病院の方針 その他 [具体的に]

【全員の方に伺います】

問55 昨年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の助産師の下記の業務の状況についてお答えください。

(1) 各業務の実施状況 [それぞれについてあてはまるもの全てを選択]

	院内で実施 (外来、両親学級 のような集合形 式、個別指導等)	院外で実施 (個人への講演依 頼、勤務先からの 派遣等)	「院内」または 「院外」、または 両方で実施して いたが、感染症 対応等のため 休止中(※)	実施したことは ない
①助産師外来	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②疾病がある等療養支援が 必要な母児に対する、 助産師が参加した退院支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③母乳外来	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④2週間健診(母児含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤新生児健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥産婦健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦新生児訪問	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧産後ケア事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨母乳、育児に関する電話相談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩青少年等を対象とした出前授業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※院内・院外のいずれか一方を休止し、一方を継続している場合は、継続しているもの(「院内で実施」または「院外で実施」)と「休止中」の双方をチェックしてください。

助産師外来とは： 日本看護協会「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」をご参照ください。

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/innaijosan_2018.pdf

産後ケア事業とは： 改正母子保健法にうたわれている、出産後1年を経過しない女子及び乳児に対して、心身のケアや育児のサポート等(産後ケア)を市町村による実施または委託で行うもの

【(1)で「院内で実施」又は「院外で実施」を選択した業務について伺います】

(2) 実施のための財源 [それぞれについてあてはまるもの全てを選択]

回答入力用のExcel調査票では
(1)で「院内で実施」又は
「院外で実施」を選択した
業務が表示されます。

	自治体からの 委託・補助	患者負担	病院の予算	その他	「その他」の内容を 具体的にお書きく ださい。
①助産師外来	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②疾病がある等療養支援が 必要な母児に対する、 助産師が参加した退院支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③母乳外来	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④2週間健診(母児含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤新生児健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥産婦健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦新生児訪問	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧産後ケア事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨母乳、育児に関する電話相談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑩青少年等を対象とした出前授業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【(1)で「実施したことはない」を選択した業務について伺います】

(3) 各業務の今後の実施意向 [選択はそれぞれ1つずつ]

※ 回答入力用のExcel調査票では、(1)で「実施したことはない」を選択した業務が表示されます。

①助産師外来	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
②疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
③母乳外来	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
④2週間健診(母児含む)	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
⑤新生児健診	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
⑥産婦健診	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
⑦新生児訪問	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
⑧産後ケア事業	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
⑨母乳、育児に関する電話相談	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない
⑩青少年等を対象とした出前授業	○ 実施の予定がある ○ 検討中 ○ 実施の予定はない

【(3)で「実施の予定はない」を選択した業務について伺います】

(4) 実施の予定がない理由 [それぞれについてあてはまるもの全てを選択]

回答入力用のExcel調査票では(3)で「実施の予定はない」を選択した業務が表示されます。	助産師数が不足しているため	助産師の知識・経験が不足しているため	妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	病院の方針	助産師に必要な研修・教育がないため	その他	「その他」の内容を具体的に書きください。		
								①助産師外来	②疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

【全員の方に伺います】

問56 助産師の出向システムを活用していますか。[あてはまるもの全てを選択]

助産師出向システムとは: <https://www.nurse.or.jp/nursing/josan/shukko/index.html>

<input type="checkbox"/> 他施設への出向を行っている(実施したことがある)(出向元)
<input type="checkbox"/> 他施設からの出向受け入れを行っている(実施したことがある)(出向先)
<input type="checkbox"/> 活用していない

【問56で「他施設への出向を行っている(実施したことがある)(出向元)」又は「他施設からの出向受け入れを行っている(実施したことがある)(出向先)」を選択した方に伺います】

問57 助産師の出向システムの財源をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 自治体からの委託・補助	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 出向元の支出	〔 具体的に 〕
<input type="checkbox"/> 出向先の支出	

問58 出向先・出向元施設についてお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

※ 出向を行っている(実施したことがある)方は「出向先」をお答えください。
出向受け入れを行っている(実施したことがある)方は「出向元」をお答えください。
回答入力用のExcel調査票では、問56のご回答状況に応じて、表示項目が変わります。

出向先	<input type="checkbox"/> 同一法人内の病院	<input type="checkbox"/> 左記以外の病院
	<input type="checkbox"/> 公立病院	<input type="checkbox"/> 診療所
	<input type="checkbox"/> 国立大学法人の病院	<input type="checkbox"/> 助産所
	<input type="checkbox"/> 私立学校法人の病院	<input type="checkbox"/> その他〔 具体的に 〕

出向元	<input type="checkbox"/> 同一法人内の病院	<input type="checkbox"/> 左記以外の病院
	<input type="checkbox"/> 公立病院	<input type="checkbox"/> 診療所
	<input type="checkbox"/> 国立大学法人の病院	<input type="checkbox"/> 助産所
	<input type="checkbox"/> 私立学校法人の病院	<input type="checkbox"/> その他〔 具体的に 〕

【問56で「活用していない」を選択した方に伺います】

問59 出向元となること、出向先となること(出向を受け入れること)を含めて、助産師の出向システムの今後の活用意向はありますか。[選択は1つ]

<input type="radio"/> 意向がある	<input type="radio"/> 検討中	<input checked="" type="radio"/> 意向はない
-----------------------------	---------------------------	--

【問59で「意向はない」を選択した方に伺います】

問60 意向がないのは出向元になることでしょうか、出向先となること(出向を受け入れること)でしょうか。それとも両方でしょうか。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 出向元になる意向がない ⇒(1)へ	<input type="checkbox"/> 出向先になる意向がない ⇒(2)へ
--	--

(1)出向元になる意向がない理由をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 助産師数が不足しているため	<input type="checkbox"/> 医師との合意が得られない
<input type="checkbox"/> 助産師の知識・経験が不足しているため	<input type="checkbox"/> 助産師に必要な研修・教育がないため
<input type="checkbox"/> 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	<input type="checkbox"/> ハイリスク分娩が多いため
<input type="checkbox"/> 病院の方針	<input type="checkbox"/> その他〔 具体的に 〕

(2)出向先になる(出向を受け入れる)意向がない理由をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

<input type="checkbox"/> 助産師の知識・経験が不足しているため	<input type="checkbox"/> 医師との合意が得られない
<input type="checkbox"/> 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため	<input type="checkbox"/> その他〔 具体的に 〕
<input type="checkbox"/> 病院の方針	

【全員の方に伺います】

問61 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー;CLoCMip)」に掲げる以下のウィメンズヘルス関連業務について、院内で実施しているもの(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)、院外で行っているもの(地域貢献として助産師を講師として派遣する等)を含めてお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー;CLoCMip)」については以下をご参照ください

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/CLoCMiP_katsuyo.pdf

- 家族計画の支援
- 不妊・不育の悩みを持つ女性の支援
- 性感染症の支援
- 月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)
- 女性に対する暴力予防の支援
- 予期せぬ妊娠をした女性の支援
- 多様な性の支援
- 産前・産後以外のメンタルヘルスケア
- 産前・産後のメンタルヘルスケア
- 妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援
- 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援
- その他
- 実施しているものはない

【問61で「実施しているものはない」を選択した方に伺います】

問62 今後実施の意向はありますか。[選択は1つ]

意向がある
 検討中
 意向はない

【問62で「意向はない」を選択した方に伺います】

問63 実施の意向がない理由をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

- 助産師数が不足しているため
- 病院の方針
- 助産師の知識・経験が不足しているため
- 助産師に必要な研修・教育がないため
- 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため
- その他

【全員の方に伺います】

7. 助産師の処遇について伺います。

問64 助産師に特化した教育目標を設けていますか。[選択は1つ]

はい
 いいえ

問65 助産師に特化した研修を受講する機会を設けていますか。[あてはまるもの全てを選択]

- 院内研修がある
- 院外研修の受講を推奨している
- 特にない

問66 アドバンス助産師の認証を推奨していますか。[選択は1つ]

はい
 いいえ

問67 貴院におけるアドバンス助産師の認証者数を、常勤・非常勤の合計(実人数)でお答えください。[整数]

人

問68 アドバンス助産師の認証を得た場合、給与や手当の増はありますか。[選択は1つ]

- 原則として増がある
 経験年数や配属先等によって増となる場合とならない場合がある
 増はない

問69 助産に関する以下のガイドライン等をご存知ですか。[選択はそれぞれ1つずつ]

① 助産業務ガイドライン2019

- 読んでおり、実際の業務に活用している 知っているが、読んだことはない
 読んだが、活用したことがない 知らない・本アンケートで初めて知った

② 院内助産・助産師外来ガイドライン2018

- 読んでおり、実際の業務に活用している 知っているが、読んだことはない
 読んだが、活用したことがない 知らない・本アンケートで初めて知った

③ 2019年「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー;CLoCMiP)活用ガイド」

- 読んでおり、実際の業務に活用している 知っているが、読んだことはない
 読んだが、活用したことがない 知らない・本アンケートで初めて知った

問70 助産師の育成にあたり、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー;CLoCMiP)を導入していますか。[選択は1つ]

- している していない

問71 助産師の業務・専門性に配慮した手当がありますか。[選択は1つ]

- ある ない

問72 助産師に対し、日本看護協会や日本助産師会の賠償責任保険への加入促進をしていますか。[選択は1つ]

- している していない

問73 産科医療補償制度・再発防止報告書を活用していますか。[選択は1つ]

- している していない

問74 助産に関する以下の手引き等をご存知ですか。[選択はそれぞれ1つずつ]

① 日本看護協会「“母子のための地域包括ケア病棟”推進に向けた手引き」

- 読んでおり、実際の業務に活用している 知っているが、読んだことはない
 読んだが、活用したことがない 知らない

② 日本看護協会「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の手引き」

- 読んでおり、実際の業務に活用している 知っているが、読んだことはない
 読んだが、活用したことがない 知らない

【引き続き、全員の方に伺います】

8. 助産師の今後の確保のご意向について伺います。

問75 今後の助産業務、切れ目のない母子支援、ウィメンズヘルス支援に関する貴院の意向を踏まえた助産師の採用意向をお答えください。[選択は1つ]

- 採用を増やしたい 採用を現状維持したい 検討中
 採用を減らしたい 採用予定はない

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査

回答専用ページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

<回答にあたってのお願い>

- ・この調査は 33 問から構成されており、20 分程度の時間を要します。
- ・設問によっては、回答に応じて表示される設問が異なる場合があるため、設問番号が連番にならない場合があります。
- ・ご回答は、該当する選択肢を選択するか、もしくは文字、または数字をご入力ください。
- ・質問によって、ご回答いただく選択肢は、単数回答と複数回答があります。
- ・期日や期間の指定のない質問については、2022 年 9 月 1 日時点の状況をご回答ください。
- ・9 月 1 日時点の状況が把握しづらい場合は、直近の状況についてご記入ください。
- ・回答を途中で中断しても、回答内容は保存され、後日回答を再開することができます(再開するには ID・パスワードの入力が必要です)
- ・その他不明な事項等については、「よくある質問(FAQ)」のページをご確認ください。

【ID・パスワードについて】

- ・回答される前に、ID とパスワードをご用意ください。
 - ※ID・パスワードは、「ご協力のお願い」と共にお送りした「回答入力方法」に記載されています。
 - ※ID・パスワードは半角で入力ください。
 - ※ID・パスワードは、回答内容を保存し、回答を中断した場合にも途中から回答を再開したり、別の回答に差し替え(上書き)できるようにするためのものであり、個人が特定されることはございません。
 - ※ID・パスワードは、調査業務の外部委託業者においてのみ管理し、日本看護協会が照会・照合することはありません。

ID とパスワードを忘れた方はこちらの URL にアクセスし、再発行手続きをお願いいたします。

<https://>

【倫理的配慮について】

- ・本調査は日本看護協会研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。
- ・ご記入いただいた内容は全て統計的に処理いたしますので、回答者が特定されることはございません。
- ・ご回答いただきました内容は、本会と個人情報保護(機密保持)の契約を締結している委託業者によって集計され、個人を特定できないよう統計処理いたします。
- ・本調査は自由意思によるご協力であり、ご協力いただけない場合にも、不利益が生じることはございません。
- ・回答に同意後であっても、いつでも回答を中止することができます。

【調査結果の公表】

調査結果は本会公式ホームページや協会ニュース、学会発表等を通じて公表いたします。これ以外の目的でデータを使用することはありません。

【調査票】

- ・調査内容をご覧いただけるよう調査票(PDF)を掲載いたします。記入のご参考にご利用ください。なお、web 調査画面とは表示が異なります。

PDF 掲載

◆ 調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける場合は、以下の「同意します」を選択ください。

調査の趣旨を理解し、協力します

同意しない

※注意事項

前の設問に戻る場合は、必ず画面下部の「戻る」ボタンをご利用ください。

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

ID、パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査(分娩取り扱い診療所 看護職員代表者票)(案)

1. 貴院について伺います。

問 1 貴院の所在地をお答えください

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 岡山県 |
| <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 広島県 |
| <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 山口県 |
| <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 徳島県 |
| <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 香川県 |
| <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛媛県 |
| <input type="radio"/> 福島県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 高知県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 三重県 | <input type="radio"/> 福岡県 |
| <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 佐賀県 |
| <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 熊本県 |
| <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 大分県 |
| <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 宮崎県 |
| <input type="radio"/> 神奈川県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 沖縄県 |
| <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 島根県 | |

問 2 貴院の開設者をお答えください。

- | | | |
|---------|-------|--------|
| 1. 医療法人 | 2. 個人 | 3. その他 |
|---------|-------|--------|

問 3 昨年度(2021年4月1日~2022年3月31日)の貴院の分娩取り扱い件数をお答えください。

() 件

問 4 2019年から現在までの3年間の、貴院の分娩取り扱い件数の変化をお答えください。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 増加している | 2. 変わらない | 3. 減少している |
|-----------|----------|-----------|

問 5 貴院の病床数をお答えください。

() 床

問 6 貴院の看護要員数をお答えください。該当者がいない場合には「0」をご記入ください。

※常勤換算数をお答えください

※小数点第1位までお答えください

助産師(産科関連業務を行う)	() 人
看護師	() 人
准看護師	() 人
看護補助者	() 人
その他(保育士等)	() 人

問 7 貴院の産科医師数をお答えください。

※常勤、非常勤の合計をお答えください(実人員)。

※婦人科医師、婦人科のみを担当している産科医師は除きます。

() 人

問 8 産科外来と産科関連病棟の助産師配置は一元管理ですか。

1. 一元管理である	2. 産科外来と病棟の助産師配置は別である
------------	-----------------------

問 9 助産師の夜勤形態をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 三交代制	2. 変則三交代制	3. 二交代制
4. 変則二交代制	5. 夜勤専従	6. 日中・夜間を通じて分娩時オンコール体制
7. 夜間のみ分娩時オンコール体制	8. 管理夜勤・当直	
9. 夜勤はない(日勤のみ)		

問 10 夜勤1勤務帯における配置状況をお答えください。

1 勤務帯の助産師数

日勤帯	1. 常に2人以上配置 2. 常に1人いる 3. 助産師が病棟に不在の場合がある(オンコール体制含む)
夜勤帯(準夜勤)	1. 常に2人以上配置 2. 常に1人いる 3. 助産師が病棟に不在の場合がある(オンコール体制含む)
夜勤帯(深夜勤)	1. 常に2人以上配置 2. 常に1人いる 3. 助産師が病棟に不在の場合がある(オンコール体制含む)

問 11 助産師と看護師の業務範囲の区別について伺います。また、助産師の資格名称を明示していますか。

①保健師助産師看護師法における看護師と助産師の資格や業の違いを踏まえ、助産師の業務を看護師と区分・役割分担している	1. 実施している 2. 実施していない 3. どちらともいえない
②助産師と看護師の役割と責任を明文化している	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>
③助産師の資格名称を明示している(名札、ユニフォーム等)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/>

2. 助産師の地域における活用について伺います。

問 12 昨年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の助産師の下記の業務の状況についてお答えください。

	1. 院内で実施(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等) 2. 院外で実施(個人への講演依頼、勤務先からの派遣等) 3. 「院内」または「院外」、または両方で実施していたが、感染症対応等のため休止中 4. 実施したことはない (あてはまるもの全てを選択)	(「1. 院内で実施(外来や両親学級のような集合形式等)」「2. 院外で実施(個人への講演依頼、勤務先からの派遣等)」と回答した方) 実施のための財源 (あてはまるもの全てを選択)
①助産師外来	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1 自治体からの委託・補助 2. 患者負担 3. 貴院の予算 4. その他
②疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
③母乳外来	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
④2週間健診(母児含む)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑤新生児健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑥産婦健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑦新生児訪問	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑧産後ケア事業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑨母乳、育児に関する電話相談	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
⑩青少年等を対象とした出前授業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>

助産師外来とは：日本看護協会「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」をご参照ください

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/innaijosan_2018.pdf

産後ケア事業とは：改正母子保健法にうたわれている、出産後1年を経過しない女子及び乳児に対して、心身のケアや育児のサポート等（産後ケア）を市町村による実施または委託で行うもの

問 13 問 12 で「4. 実施したことはない」と回答した方に伺います。今後実施するご予定がありますか。ご予定がない場合にはその理由をお答えください。

	今後の実施意向	実施の予定がない理由 (あてはまるもの全てを選択)
①助産師外来	1. 実施の予定がある 2. 検討中 3. 実施の予定はない	1. 助産師数が不足しているため 2. 助産師の知識・経験が不足しているため 3. 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため 4. 貴院の方針 5. 助産師に必要な研修・教育がないため 6. その他
②疾病がある等療養支援が必要な母児に対する、助産師が参加した退院支援	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
③母乳外来	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
④2 週間健診(母児含む)	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
⑤新生児健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
⑥産婦健診	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
⑦新生児訪問	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
⑧産後ケア事業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
⑨母乳、育児に関する電話相談	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>
⑩青少年等を対象とした出前授業	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/>	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/> 6. <input type="checkbox"/>

問 14 助産師の出向システムを活用していますか。(あてはまるもの全て)

1. 他施設への出向を行っている(実施したことがある)⇒問 15 へ
2. 他施設からの出向受け入れを行っている(実施したことがある)⇒問 15 へ
3. 活用していない⇒問 17 へ

問 15 問 14 で「1. 他施設への出向を行っている(実施したことがある)」「2. 他施設からの出向受け入れを行っている(実施したことがある)」と回答した方に伺います。助産師の出向システムの財源をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 自治体からの委託・補助	2. 出向元の支出	3. 出向先の支出	4. その他
----------------	-----------	-----------	--------

問 16 問 14 で「1. 他施設への出向を行っている(行ったことがある)」「2. 他施設からの出向受け入れを行っている(行ったことがある)」と回答した方に伺います。出向先・出向元施設についてお答えください。(あてはまるもの全てを選択)

出向先	1. 同一法人内 2. 公立病院 5. 1～4 以外の病院	3. 国立大学法人 6. 診療所	4. 私立学校法人 7. 助産所 8. その他
出向元	1. 同一法人内 2. 公立病院 5. 1～4 以外の病院	3. 国立大学法人 6. 診療所	4. 私立学校法人 7. 助産所 8. その他

問 17 問 14 で「3. 活用していない」と回答した方に伺います。出向元となること、出向を受け入れることを含めて、助産師の出向システムの今後の活用意向はありますか。

1. 意向がある⇒問 19 へ 2. 検討中⇒問 19 へ 3. 意向はない⇒問 18 へ

問 18 問 17 で「3. 意向はない」と回答した方に伺います。意向がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 助産師数が不足しているため 3. 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため 4. 貴院の方針 6. 助産師に必要な研修・教育がないため 8. その他 (自由記載)	2. 助産師の知識・経験が不足しているため 5. 医師との合意が得られない 7. ハイリスク分娩が多いため
--	---

問 19 日本看護協会「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMip)に掲げる以下のウィメンズヘルス関連業務について、院内で実施しているもの(外来、両親学級のような集合形式、個別指導等)、院外で行っているもの(地域貢献として助産師を講師として派遣する等)を含めてお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 家族計画の支援 3. 性感染症の支援 5. 女性に対する暴力予防の支援 7. 多様な性の支援 9. 産前・産後のメンタルヘルスケア 10. 妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援 11. 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援 12. その他	2. 不妊・不育の悩みを持つ女性の支援 4. 月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む) 6. 予期せぬ妊娠をした女性の支援 8. 産前・産後以外のメンタルヘルスケア 13. 実施しているものはない⇒問 20 へ
---	--

「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMip)については以下をご参照ください

https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/guideline/CLoCMiP_katsuyo.pdf

問 20 問 19 で「13. 実施しているものはない」と回答した方に伺います。今後実施の意向はありますか。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 意向がある⇒問 22 へ | 2. 検討中⇒問 22 へ |
| 3. 意向はない⇒問 21 へ | |

問 21 問 20 で今後の実施について「3. 意向はない」と回答した方に伺います。実施の意向がない理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 助産師数が不足しているため | 2. 助産師の知識・経験が不足しているため |
| 3. 妊産婦の希望や地域の出産数等からニーズがないため | |
| 4. 貴院の方針 | 5. 助産師に必要な研修・教育がないため |
| 6. その他 | |

3. 助産師の処遇について伺います。

問 22 助産師に特化した教育目標を設けていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 23 助産師に特化した研修を受講する機会を設けていますか。(あてはまるもの全て)

- | | | |
|------------|-------------------|---------|
| 1. 院内研修がある | 2. 院外研修の受講を推奨している | 3. 特にない |
|------------|-------------------|---------|

問 24 アドバンス助産師の認証を推奨していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 25 貴院におけるアドバンス助産師の認証者数をお答えください。

※常勤、非常勤の、実人員の合計をお答えください

()人

問 26 アドバンス助産師の認証を得た場合、給与や手当の増はありますか。

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| 1. 原則として増がある | 2. 経験年数や配属先等によって増となる場合とならない場合があり異なる |
| 3. 増はない | |

問 27 助産に関する以下のガイドライン等をご存知ですか。

①助産業務ガイドライン 2019	1. 読んでおり、実際の業務に活用している 2. 読んだが、活用したことがない 3. 知っているが読んだことはない 4. 知らない・本アンケートで初めて知った
②院内助産・助産師外来ガイドライン 2018	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>
③2019年「助産実践能力習熟段階」 (クリニカルラダー；CLoCMiP) 活用ガイド	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/>

問 28 助産師の育成にあたり、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー；CLoCMiP)を導入していますか。

1. している 2. していない

問 29 助産師の業務・専門性に配慮した手当がありますか。

1. ある 2. ない

問 30 助産師に対し、日本看護協会や日本助産師会の賠償責任保険への加入促進をしていますか。

1. している 2. していない

問 31 貴院では、産科医療補償制度・再発防止報告書を活用していますか。

1. している 2. していない

4. 今後の分娩取り扱い予定や助産師の確保のご意向について伺います。

問 32 今後の分娩取り扱い予定についてお答えください。

1. 分娩取り扱い継続予定 2. 分娩取り扱い中止予定 3. 検討中
--

問 33 今後の助産業務、切れ目のない母子支援、ウィメンズヘルス支援に関する貴院の意向を踏まえた助産師の採用意向をお答えください。

1. 採用を増やしたい 2. 採用を減らしたい 3. 採用を現状維持したい
4. 採用予定はない 5. 検討中

アンケートはこれで終了です。
ご協力誠にありがとうございました。

助産師の専門性発揮のあり方に関する実態調査

2023年3月31日発行

発行 公益社団法人 日本看護協会

〒150-0001 渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル

健康政策部助産師課 TEL : 03(5778)8843

禁無断転載

